

年報

第50号 令和3年度

No. 50

鳥取県立博物館 年報

Annual Report of the Tottori Prefectural Museum



鳥取県立博物館
TOTTORI PREFECTURAL MUSEUM

目 次

■令和3年度の鳥取県立博物館

- 1 総 論…………… 1
- 2 各課の概況…………… 3

■管理運営の概況

- 1 組 織…………… 5
- 2 博物館協議会…………… 6
- 3 予算・決算…………… 8
- 4 利用状況…………… 9

■事業の概要

- 1 調査研究…………… 11
 - (1) 調査研究…………… 11
 - (2) 研究報告等の刊行…………… 11
- 2 資料収集・保管…………… 12
 - (1) 博物館資料保有状況…………… 12
 - (2) 購入(製作)資料…………… 12
 - (3) 寄贈資料…………… 12
 - (4) 採集・拾得等資料…………… 13
 - (5) 保管換資料…………… 13
- 3 展 示…………… 13
 - (1) 常設展示…………… 13
 - (2) 企画展…………… 19
- 4 教育普及活動…………… 38
- 5 博物館交流事業…………… 47
- 6 ボランティア活動…………… 48
- 7 県民との連携・地域への貢献…………… 49
- 8 その他の事業…………… 53
- 9 学芸員の業績…………… 55

◎附録

- 1 沿 革…………… 69
- 2 施設の概要…………… 73
- 3 昭和47年度～令和3年度利用統計…………… 76
- 4 昭和47年度～平成18年度催物展(企画展)開催状況…………… 88
- 5 条例・規則…………… 91

令和3年度の鳥取県立博物館

1 総 論

令和3年度は前年度に続き、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染防止対策を行いながら、博物館資料の収集・保存、展示、館内外での普及活動などに取り組んだ。新型コロナの感染拡大に伴い、政府が発令する緊急事態宣言、鳥取県が発令する新型コロナ警報等の状況に応じて、対応を柔軟に変化させながら館運営を行った。

鳥取県新型コロナウイルス感染症対策本部会議での議論により、職員には前年度以上に県外出張の制限（原則禁止）、出勤者を減らすための在宅勤務などが求められ、会議や打ち合わせは原則オンラインとするなど、感染拡大防止のため様々な対策を引き続き実施した。館内においても、検温、入館・退館時の経路分け、手指消毒剤の設置等、感染拡大防止対策を継続実施した。

企画展については、平成20年度以降毎年5本ずつ開催しており、コロナ禍においても自然分野1本、歴史・民俗分野1本、美術分野3本を実施した。

歴史・民俗分野の企画展「とっとりの乱世—因幡・伯耆からみた戦国時代—」については、近年刊行された『新鳥取県史』の成果を反映し、掲載資料と新知見を数多く展示紹介した。コロナ禍で中国地方以外の資料は借用できなかったが、その代わり今まで展示されることがなかった当館の所蔵品や県内資料を多く出品することができた。展覧会の準備の中で発見した「鳥取加須屋家文書」をはじめとする新出資料も展示した。

なお、広報を強化し企画展の来館者を増やすため、平成28年度からマスコミに参画いただいて実行委員会を組織し企画展を開催しており、令和3年度も4本の企画展を実行委員会方式で開催することができた。さらに館独自でもSNS（Facebook、Instagram、Twitter、YouTube）を使った情報発信も取り組み続けており、博物館事業のPRを行った。

コロナ禍にあっても感染対策を講じながら開館・展示を行うことにも努めた結果、多くの県内小中学校が修学旅行先として当館を選択され、また、特別支援学校にはICTによる企画展の観覧や説明を行うなど新しい取り組みを行うことができた。さらに、自然分野の企画展「QooDZILLA!! クジラとイルカの世界」と歴史・民俗分野の企画展「とっとりの乱世—因幡・伯耆からみた戦国時代—」については、目標入数を上回る来場者で賑わった。

一方で、中国河北博物院、韓国江原道国立春川博物館、ロシアアルセーニエフ極東歴史博物館との交流事業については、新型コロナのため前年度に続き実施できなかった。

普及活動では、移動博物館・移動美術館などのアウトリーチ事業のほか、館内外で講演会・観察会・各種講座・ワークショップなどを計画していたが、こちらについても新型コロナの影響で中止となったものがあり、年間の講座参加者数は2,300人程度となった。

(1) 組 織

変更なし。

(2) 資料の収集・調査研究

自然部門では鳥取県産の動物、植物、化石などの標本の寄贈や、学芸員による採集などにより、様々な貴重な資料を収集した。また、仮保管されていた動物遺体などを標本化した。これらの標本の整理や鳥取県の自然史に関する調査研究を実施し、その成果を『鳥取県立博物館研究報告』に発表した。

人文部門では、徳川秀忠書状（宮部継潤宛）、色絵松竹梅文皿（御菩薩焼池田家家紋）、近現代

に鳥取県で発行された絵葉書・パンフレット、民俗資料として打吹人形（はこた人形）・湯かむり人形を購入した。また、新たに県の無形民俗文化財に指定された「ため池における魚伏籠（ウグイ）漁」関係資料をはじめとする民俗資料の寄贈を受けた。調査事業では、鳥取県内文化財 状況調査（2年目）として、若桜町諸鹿の総合調査を行った。

美術部門では、企画展に関する調査を行うとともに、鳥取県の美術に関する調査を継続して行い、土方稻嶺《東方朔図》、西村莊一郎《牛牧童嵌木硯箱》などの県ゆかりの作家の作品や、長谷川利行《婦人像（前田寛治婦人像）》など県ゆかりの作家と関連のある作家の作品を新たに収集した。また、新しい収集方針「国内外の優れた美術」として、原口典之《East No. a 9》他2点、村岡三郎《Standing Bed》、小林正人《画く力》を、同じく新しい収集方針「同時代の美術の動向を示す作品」として、竹川宣彰《群落》を収集した。さらに、倉吉市在住の垣田堅二郎氏から、ジョルジュ・ルオーや菅井汲などの近現代の版画作品を中心に多数の優れた美術作品の寄贈を受けた。

(3) 展 示

企画展5本（自然分野1本、人文分野1本、美術分野3本）を開催し、博物館全体の事業に約10万人の来館者があった。

〈企画展の概要〉

自然分野：企画展「QooDZILLA!! クジラとイルカの世界」では、シロナガスクジラ実物大写真やシャチ全身骨格をはじめ、様々な実物標本や貴重な映像資料を用いてクジラ類の知られざる魅力を紹介した。水中生活への適応や形態の多様性についての話題の他、食性や繁殖行動といった野生動物としての生々しい側面にもスポットをあてた。鳥取の海岸におけるクジラ類の漂着記録をまとめ、代表的なものを標本や写真とともに紹介するとともに、漂着したクジラ類を調査することでわかるクジラ類の生態や海洋プラスチックごみの問題についてとりあげた。また来館が困難な鳥取養護学校の生徒に対し、オンラインでの展示解説を行った。コロナ禍により4日間の臨時休館措置を余儀なくされたが、目標を上回る入場者でにぎわった。

人文分野：企画展「とっとりの乱世—因幡・伯耆からみた戦国時代—」は、現在の鳥取県を構成した因幡・伯耆国の戦国時代を紹介する展覧会で、あまり知られていない因幡・伯耆の戦国時代を重要資料を紹介して読み解く展示を心がけた。鳥取藩池田家やその藩士たちの戦国時代の歴史にも光を当てて、近年発見された新出史料を多く初公開した。

展示手法や広報では、新たな客層の開拓のため、鳥取県所縁の武将たちのイラストの制作、甲冑のディスプレイ展示、山城の空撮動画の放映など、新しい取り組みを行った。来館者のTwitter投稿によりSNS上で評判となり、目標に到達する入館者数（5,000人）があった。

美術分野：美術部門では3つの企画展を開催した。「受贈記念 垣田堅二郎コレクション展」では、倉吉市在住の垣田堅二郎氏から受贈した近現代の版画等167点の優れた作品を展示紹介し、これまでは鳥取県ゆかりの作家のものしか無かった当館の近現代版画作品の枠が大きく広がり、県立美術館に向けてその魅力を増したことを県民に実感いただくことができた。「東郷青児と前田寛治、ふたつの道」は、鳥取県と損保ジャパンとの包括連携協定に基づく取り組みとして開催したもので、SOMPO美術館のコレクションから45点の作品と、約390点の前田寛治作品および前田と関係のあった画家たちの作品を積極的に収集してきた当館のコレクションから55点の作品を選

び、併せて紹介した。「小早川秋聲 旅する画家の鎮魂歌」では、個人コレクションを中心に小早川秋聲の代表作、初公開の作品含め初期から晩年までの作品 100 点あまりと関連資料を展示し、秋聲の生涯を概観するとともに、「抒情ロマンチズム」と評された抒情的で異国情緒漂う作品の数々により、従軍画家という一側面に留まらない豊かな画業を紹介した。

(4) 教育普及

普及関係では、県民の生涯学習を支援するため、移動博物館・移動美術館などのアウトリーチ事業のほか、館内外で講演会・観察会・各種講座・ワークショップなどを開催した。

移動博物館・移動美術館・学芸員派遣は、81 回実施し延べ 3,018 人が参加した。また、各種講座や講演会は、年間を通して 84 回開催し、延べ 2,299 人の参加があった。

美術の普及講座では、令和 3 年度も「毎週土曜はアートの日！」と題して、毎週土曜日に美術に関する事業を実施し、アートにふれあう機会を充実させた。また、移動美術館は南部町で開催する予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のためやむなく中止となった。

広報に関しては、Facebook、Instagram のほか令和 3 年度から Twitter の運用を開始し、企画展の告知や普及講座の開催前後に随時情報発信して、ファン層の拡大に努めた。併せて、各種広報系 Web ページにも登録して、幅広い情報発信を行った。Web 以外のメディアについても、対象年代や広報手段について検討し、より効果的な広報を実施するとともに、県民の方へより広く博物館について知っていただくために、ニュースレター「鳥取県立博物館ニュース」を年 2 回配布した。

(5) 来館者サービス

平成 21 年度から実施している開館時間の延長について、令和 3 年度は企画展 QooDZILLA!! クジラとイルカの世界」(会期：7 月 17 日(土)～8 月 29 日(日))の会期中の土曜日を午後 7 時まで延長し、県民の来館の機会拡大を図った。

2 各課の概況

(1) 総務課

- ・博物館の運営に関して館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関である鳥取県立博物館協議会を 2 回開催した。

(2) 学芸課

●自然担当

- ・企画展「QooDZILLA!! クジラとイルカの世界」を 7 月 17 日から 8 月 29 日まで開催し、実物標本や映像資料等を用いてクジラ類の知られざる魅力を紹介した。
- ・収蔵資料等の整理事業として、「貝類標本整理事業(1 年目/3 か年事業)」を実施した。
- ・その他、教育普及活動として自然講座や観察会、移動博物館、学芸員派遣等を実施し、調査研究活動として研究成果を『鳥取県立博物館研究報告』等に発表した。

●人文担当

- ・企画展「とっとりの乱世一因幡・伯耆からみた戦国時代」を 10 月 9 日から 11 月 7 日まで開催し、イラストや山城のドローン映像を活用して、知られざる鳥取地域の戦国史を展示紹介した。

- ・令和元年に博物館が寄託を受けた「安達清風文書」整理・研究事業（3か年計画）の最終年次であり、報告書を刊行し、記念シンポジウムを開催した。
- ・藩政資料整備事業（第3次32か年計画）の初年目。
- ・収蔵資料保存・修復事業〈刀剣研磨〉を実施した。
- ・「鳥取藩政資料」解説事業〈町奉行日記〉を推進した。
- ・その他、教育普及活動として歴史講座や移動博物館、学芸員派遣等を実施した。

●普及担当

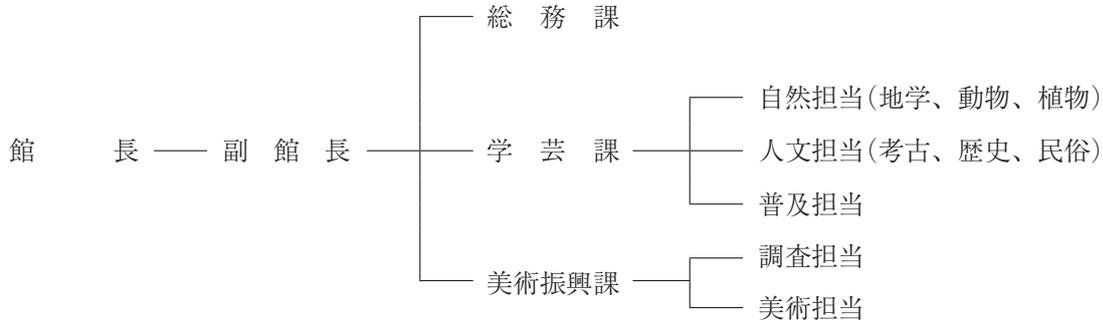
- ・県民の生涯学習や学校教育を支援するために、新型コロナウイルス感染拡大防止に努めながら各種の講座や体験学習会、移動博物館や移動美術館、学芸員派遣等の事業を実施した。
- ・情報発信では、SNSの活用や民間等の運営するWebサイト、情報誌等への情報提供に積極的に取り組んだ。また、普及誌「鳥取県立博物館ニュース」No.32、33、リーフレット「2022.4－2023.3 展覧会・イベントのご案内」を発行した。12月よりTwitterとYouTubeを開始した。企画展「とっとりの乱世」が開催された10月は、1万9千人以上に投稿が拡散され、国内だけでなくアジア圏にまで多く広まった。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和3年度の普及講座24件を中止とした。
- ・県立4館合同のデジタルアーカイブシステム「とっとりデジタルコレクション」のアクセス件数が公開1年で20万件を超えた。

(3) 美術振興課

- ・美術部門では3つの企画展を企画・開催した。垣田堅二郎氏から受贈した近現代の優れた版画作品を紹介する展覧会と、SOMPO美術館のコレクション45点と当館蔵の前田寛治代表作等55点からなる展覧会「東郷青児と前田寛治、ふたつの道」、そして従軍画家という一側面に留まらない豊かな画業を遺した小早川秋聲の全国巡回の回顧展であり、油彩画から版画、日本画まで、幅広く鳥取と国内外の作家たちの優れた美術作品を紹介することができた。
- ・2階近代美術展示室における夏のテーマ展示では、多様なアートと出会える場を提供する「シリーズ：美術をめぐる場をつくる」の3年目の企画として、土地のイメージや展示空間の特徴から着想し、様々な手法を用いて素材の集積や粗密を生み出すことにより、空間全体を異なる色彩や質感に変化させ、非日常的な空間を作り出すアーティスト・瀧澤潔による光のインスタレーション作品の制作・展示を行った。
- ・当館のコレクションを中心に構成するテーマ展示では、様々な対立軸を設定して作品を比較する「ならべてくらべて ―近世絵画・近現代日本画を中心に―」と、近代以降の郷土ゆかりの画家や彫刻家らが残した様々な素描を紹介する「線を引かざる日なし ―鳥取ゆかりの美術家による素描―」の2つの展示を開催した。
- ・鳥取県ミュージアムネットワーク連携事業・共同企画展として「木下翠雨の里帰りと同時代を生きた郷土の日本画家たち」と題した展示を行い、当館および渡辺美術館、倉吉博物館、米子市美術館、日南町美術館等が所蔵する近代の県ゆかりの日本画家たちの作品を紹介した。
- ・このほか、年間を通じて毎週土曜日に美術の普及活動を展開する「毎週土曜はアートの日！」を本年度も実施し、ワークショップ、アートセミナー、アートシアター、ギャラリートーク、企画展関連事業等を通して美術に関する教育普及に努めた。また、新しい県立美術館が担うアート・ラーニング・ラボ（A.L.L.）の充実に向けて、バス招待事業を拡充し、県内の9校の小学校より延べ498名の児童を博物館に招待し、対話型鑑賞を行いながら展覧会を楽しんでいただいた。

管理運営の概況

1 組 織 (令和4年3月31日現在)



職員名簿 (令和4年3月31日現在)

職名	氏名	職名	氏名	職名	氏名
館長	尾崎 信一郎	副館長 (美術館整備局次長兼務)	漆原 芳彦	副館長 (総務課長兼務)	藤原 浩

総務課

職名	氏名	職名	氏名	職名	氏名
総務課長	藤原 浩	主事	岩谷 智恵	会計年度任用職員 (事務)	石井 桃子
課長補佐	森田 佳代	主事	若松 杏奈	会計年度任用職員 (事務)	池田 貴子
課長補佐	岩成 安雄	主事	梶谷 理咲		

学芸課

職名	氏名	職名	氏名	職名	氏名
学芸課長	川上 靖	自然担当 主任学芸員	田邊 佳紀	会計年度任用職員 (貝類標本専門員)	渡邊 克典
自然担当 主幹学芸員	一澤 圭	自然担当 学芸員	鶴 智之	会計年度任用職員 (資料管理専門員)	本庄 孝行
		山陰海岸ジオパーク海と大地の自然館専門員 (自然担当併任)	安藤 和也	会計年度任用職員 (事務補助)	三田 三千枝
		山陰海岸ジオパーク海と大地の自然館学芸員 (自然担当併任)	太田 悠造		
		山陰海岸ジオパーク海と大地の自然館学芸員補 (自然担当併任)	金山 恭子		
人文担当 主幹学芸員	福代 宏	人文担当 専門員兼主任学芸員	小山 浩和	会計年度任用職員 (史料補修専門員)	濱橋 明代
		人文担当 主任学芸員	来見 田博基	会計年度任用職員 (史料補修専門員)	齋江 仁美
		人文担当 主任学芸員	大嶋 陽一	会計年度任用職員 (史料補修専門員)	山根 美智代

職名	氏名	職名	氏名	職名	氏名
		人文担当 学芸員	山本隆一朗	会計年度任用職員 (複写機オペレータ)	清水信生
普及担当 専門員兼主任学芸員	茶谷満	普及担当 学芸員 (自然担当兼務)	清末幸久	会計年度任用職員 (広報・普及専門員)	植村明美

美術振興課

職名	氏名	職名	氏名	職名	氏名
美術振興課 課長	三浦努	調査担当 専門員兼主任学芸員	佐藤真菜	会計年度任用職員 (アーカイヴ資料整理員)	伊達文
		調査担当 専門員	外村文		
		調査担当 学芸員	山田修平		
		美術担当 主任学芸員	赤井あずみ		
		美術担当 専門員	山本亮		
		美術担当 主任学芸員	友岡真秀		

2 博物館協議会

鳥取県立博物館協議会は、「鳥取県立博物館協議会に関する条例」に基づき設置され、博物館の運営に関して館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関である。

委員13名で構成し、全体会のほか、運営・自然・美術及び人文の各専門部会を設けて、適宜開催している。

(1) 協議会開催状況（令和3年度）

全体会（第1回） 令和3年6月25日（書面表決）

- 報告事項
- ① 令和2年度博物館事業に係る決算について
 - ② 令和3年度博物館・美術館整備局の予算について
 - ③ 博物館事業の実施状況について
 - ④ 鳥取県立美術館整備の進捗状況について
 - ⑤ 人事異動に伴う委員及び事務局職員の変更について

全体会（第2回） 令和3年12月10日

- 報告事項
- ① 令和3年度博物館事業の実施状況について
 - ② 令和4年度博物館事業の計画案について
 - ③ 博物館法の改正（予定）について
 - ④ 鳥取県立美術館整備の進捗状況について

協議事項 博物館改修について

全体会（第3回） 全国で新型コロナウイルス感染拡大のため中止

(2)鳥取県立博物館協議会委員名簿（任期 令和2年4月1日～令和4年3月31日）

氏名	団体名及び職名	所属部会		区分	備考
谷口博繁	元鳥取県立博物館長	運営	議部会長	社会教育	
岡本千鶴	鳥取市立逢坂小学校校長			学校教育	
宮崎百合	鳥取短期大学幼児教育保育学科准教授				
山口朝子	鳥取県家庭教育アドバイザー			家庭教育	
鶴崎展巨	鳥取大学名誉教授	自然	部会長	学識 経験者	
碓京子	高梁市成羽美術館化石担当学芸員				
矢田貝繁明	大山自然歴史館館長				
岸本覚	鳥取大学地域学部長	人文	部会長		
李素妍	鳥取大学地域学部地域学科国際地域文化コース兼地域学部地域環境学科准教授				
野地恒有	愛知教育大学理事 [教育・学生担当]・副学長・附属図書館長				
石谷孝二	鳥取大学名誉教授	美術	部会長		
中尾廣太郎	鳥取洋画家協会会長				
山下真由美	大阪市立美術館学芸員				

※部会順、五十音順。団体名及び職名は、令和3年度当時のもの。

3 予算・決算

(一般会計 現年)

(単位：千円)

(目 業 名)	予 算 額		決算額の財源内訳					備 考					
	当初予算	補正額	流用額	計	決算額	国庫	使用料		財産収入	諸収入	債 起	繰越金	一般財源
(博物館費)													
企画展開催費	79,048	△ 1,176	0	77,872	77,621		369	14,130	63,122				
[垣田堅二郎コレクション展	5,430	△ 488		4,942	4,895		369	140	4,386				
[QooDZILLA ! ! クジラとイルカの世界	21,732	△ 165		21,567	21,557			3,996	17,561				
[とっりの乱世—因幡・伯耆からみた戦国時代—	19,914	△ 269		19,645	19,618			6,985	12,633				
[東郷青児と前田寛治、ふたつの道	14,477	△ 118		14,359	14,277			2,869	11,408				
[小早川秋聲 旅する画家の鎮魂歌	16,166	△ 136		16,030	15,945			140	15,805				
[三蔵法師が伝えたもの	1,329			1,329	1,329				1,329				
博物館運営費	110,471	△ 1,820		108,651	106,222		2,035	695	94,542	8,000			
博物館交流事業	1,168			1,168	1,168				1,168				
自然事業費	5,363	△ 512		4,851	2,391				2,391				
人文事業費	11,263			11,263	10,544				10,544				
美術事業費	14,802			14,802	11,770				11,770				
博物館普及事業費	7,319	△ 1,569		5,750	5,000				5,000				
美術館・博物館等ネットワーク強化推進事業	1,410			1,410	1,144				1,144				
鳥取県美術品取得基金買戻金	0	18,900		18,900	18,900								
小 計	230,844	13,823	0	244,667	234,760		2,404	950	14,825	8,000		208,581	

4 令和3年度利用状況

(1) 利用者数

常設展示	企画展	普及活動		研究 相談	小計	許可利用			カフェ・ レストラン	合計
		館内	館外			展示室	講堂 会議室	小計		
29,579	26,674	[273] 1,790	3,254	155	[273] 61,452	29,978	1,512	31,490	11,366	[273] 104,308

※〔 〕は常設展・企画展におけるギャラリートーク参加者数(内数)であり、記載欄においては外数(常設展又は企画展の入館者数中に含まれる。)

(2) 常設展示入館者数

(単位：人)

月別	開館 日数	幼 児			小中学生			高 校 生			学 生			一 般			合 計			1 日 当 た り の 入 館 者 数
		個人	団体	計	個人	団体	計	個人	団体	計	個人	団体	計	個人	団体	計	個人	団体	計	
4月	26	80	0	80	105	203	308	15	48	63	18	0	18	(637) 795	(0) 131	(637) 926	(637) 1,013	(0) 382	(637) 1,395	54
5月	28	134	6	140	112	0	112	20	0	20	28	0	28	(669) 916	(2) 221	(671) 1,137	(669) 1,210	(2) 227	(671) 1,437	51
6月	26	110	77	187	129	5	134	35	14	49	38	2	40	(108) 608	(0) 80	(108) 688	(108) 920	(0) 178	(108) 1,098	42
7月	29	985	19	1,004	1,602	96	1,698	74	54	128	39	0	39	(2,866) 3,207	(0) 142	(2,866) 3,349	(2,866) 5,907	(0) 311	(2,866) 6,218	214
8月	26	1,120	0	1,120	1,919	44	1,963	290	0	290	317	0	317	(4,101) 4,461	(0) 154	(4,101) 4,615	(4,101) 8,107	(0) 198	(4,101) 8,305	319
9月	28	74	0	74	112	247	359	23	0	23	79	0	79	(150) 858	(0) 154	(150) 1,012	(150) 1,146	(0) 401	(150) 1,547	55
10月	29	89	31	120	119	711	830	20	176	196	40	0	40	(810) 1,013	(0) 112	(810) 1,125	(810) 1,281	(0) 1,030	(810) 2,311	80
11月	28	166	56	222	140	360	500	35	0	35	15	0	15	(999) 1,244	(0) 190	(999) 1,434	(999) 1,600	(0) 606	(999) 2,206	79
12月	26	57	0	57	81	224	305	39	90	129	61	0	61	(1,617) 1,780	(22) 139	(1,639) 1,919	(1,617) 2,018	(22) 453	(1,639) 2,471	95
1月	24	93	0	93	128	6	134	7	0	7	37	0	37	(145) 357	(71) 232	(216) 589	(145) 622	(71) 238	(216) 860	36
2月	24	50	0	50	58	0	58	15	0	15	40	0	40	(177) 285	(1) 89	(178) 374	(177) 448	(1) 89	(178) 537	22
3月	27	97	0	97	122	2	124	53	0	53	106	0	106	(378) 643	(1) 171	(379) 814	(378) 1,021	(1) 173	(379) 1,194	44
合計	321	3,055	189	3,244	4,627	1,898	6,525	626	382	1,008	818	2	820	(12,657) 16,167	(97) 1,815	(12,754) 17,982	(12,657) 25,293	(97) 4,286	(12,754) 29,579	92

()は入館料減免者で内数である。

(3) 企画展入館者数

(単位：人)

区分 展覧会名	期間 開館 日数	幼 児			小・中学生			高 校 生			学 生			一 般			合 計			の1 日 当 た り の 入 館 者 数	
		個人	団体	計	個人	団体	計	個人	団体	計	個人	団体	計	個人	団体	計	個人	団体	計		
垣田堅二郎 コレクション展	R3.4.10~ R3.5.9	27	47	0	47	67	203	270	8	84	92	33	0	33	(455) 1,427	(5) 109	(460) 1,536	(455) 1,582	(5) 396	(460) 1,978	73
QooDZILLA !! クジラとイル カの世界	R3.7.17~ R3.8.29	40	2,083	82	2,165	3,394	44	3,438	361	61	422	0	0	0	(522) 6,921	(0) 455	(522) 7,376	(522) 12,759	(0) 642	(522) 13,401	335
とっとりの乱世 -因幡・伯耆から みた戦国時代-	R3.10.9~ R3.11.7	29	149	0	149	462	464	926	42	167	209	0	0	0	(340) 3,427	(20) 294	(360) 3,721	(340) 4,080	(20) 925	(360) 5,005	173
東郷青児と前田寛治、 ふたつの道	R3.11.20~ R3.12.26	36	42	0	42	547	93	640	43	156	199	0	0	0	(259) 2,514	(0) 288	(259) 2,802	(259) 3,146	(0) 537	(259) 3,683	102
小早川秋聲 旅する画家の鎮魂歌	R4.2.11~ R4.3.21	34	40	0	40	63	0	63	71	0	71	0	0	0	(197) 2,233	(0) 200	(197) 2,433	(197) 2,407	(0) 200	(197) 2,607	77
合 計			2,361	82	2,443	4,533	804	5,337	525	468	993	33	0	33	16,522	1,346	17,868	23,974	2,700	26,674	

()は入館料減免者で内数である。

(4) 館外主催展

展覧会名	期間	内容	入館者数	主催者
第60回鳥取市美術展	5月23日～5月30日	絵画・書道・写真等	2,172	鳥取市 (文化交流課)
木梨憲武展 Timing - 瞬間の光 -	6月5日～7月4日	絵画・映像・オブジェ等	19,184	新日本海新聞社
第65回鳥取県美術展覧会	9月18日～9月27日	絵画・書道・写真等	3,956	鳥取県 (文化政策課)
シニア作品展	11月14日～11月20日	絵画・書道・写真等	484	鳥取県 (長寿社会課)
第19回鳥取県ジュニア美術展覧会 東部地区展	1月8日～1月16日	絵画・書道・写真等	2,355	鳥取県 (文化政策課)
あいサポートアートとっとり展 東部巡回展	1月21日～1月30日	絵画・書道・写真等	808	鳥取県 (障がい福祉課)
鳥取県文化功労賞 受賞記念巡回展	1月22日～1月30日	七宝・日本建築史等	611	鳥取県 (文化政策課)
第43回鳥取県書道連合会展	3月29日～3月31日	書道	408	鳥取県書道連合会
合 計			29,978	

事業の概要

1 調査研究

(1) 調査研究

分野	事項
地学	鳥取県の地形地質と化石に関する調査研究
動物	鳥取県の動物相および動物の分類に関する調査研究 鳥取県沿岸の漂着動物に関する調査研究
植物	鳥取県の植物相および植物の分類に関する調査研究
考古	館蔵品の調査研究 鳥取県内の原始・古代の遺跡に関する調査研究
歴史	鳥取県内の石造物調査研究 山陰地方ゆかりの宸筆の研究 鳥取県の貿易陶磁に関する調査研究 鳥取県の酒造業に関する調査研究 鳥取県内の釈迦十六善神像及び大般若経の調査
民俗	鳥取県内の社寺の棟札に関する調査研究
美術	鳥取県に関係した美術資料、作家や作品等に関する調査研究 令和3年度企画展(「受贈記念 垣田堅二郎コレクション展」「東郷青児と前田寛治、ふたつの道」「小早川秋聲 旅する画家の鎮魂歌」)、および令和4年度企画展(「安岡信義 1888 - 1933 近代洋画の黎明期を生きる画家」)
教育普及	教育プログラムの開発に関わる研究

(2) 研究報告等の刊行

刊行物の名称(発行時期)	発行部数	規格
鳥取県立博物館年報 No. 49(令和4年1月)	300部	A 4 119ページ
鳥取県立博物館ニュース No. 32 (令和3年9月)	10,000部	A 4 8ページ
研究報告 No. 59 (令和4年3月)	400部	A 4 102ページ
鳥取県立博物館ニュース No. 33 (令和4年3月)	10,000部	A 4 8ページ

2 資料収集・保管

(1) 博物館資料保有状況

部 門	前年度末 保有点数	本 年 度 中 増 加 点 数					本年度中 減少点数	本年度末 保有点数
		購 入	寄 贈	採 集	保管換	分類換		
地 学	8,040			103				8,143
動 物	36,271	4	6	137				36,418
植 物	55,665			58				55,723
歴 史	55,340	2						55,342
近 現 代	8,275	21						8,296
民 俗	4,120	2	9					4,131
考 古	8,292							8,292
美 術	9,989	10	314		1			10,314
そ の 他	123							123
合 計	186,115	39	329	298	1		0	186,782

※地学の「採集」の点数は、過去の学芸員が採集し未整理であった標本を整理・登録した点数である(鳥取県立博物館研究報告第59号参照)。

(2) 購入(製作)資料

部 門	資 料 名
地 学	なし
動 物	ハシブトガラス剥製・骨格標本計2点、ニホンアナグマ剥製・骨格標本計2点
植 物	なし
歴 史	徳川秀忠書状(宮部継潤宛)1点、色絵松竹梅文皿(御菩薩焼池田家家紋)1点
近 現 代	鳥取県関係パンフレット類4点、鳥取県関係絵葉書17点
民 俗	打吹人形(はこた人形)1点、湯かむり人形1点
考 古	なし
美 術	土方稲嶺《東方朔図》(三幅対)3点、西村莊一郎《牛牧童嵌木硯箱》1点、長谷川利行《婦人像(前田寛治婦人像)》1点、原口典之《East No. a 9》他2点、村岡三郎《Standing Bed》1点、小林正人《画く力》1点、竹川宣彰《群落》1点

(3) 寄贈資料

部 門	資 料 名
地 学	地学標本(岩石・鉱物・化石)約5,000点【整理後に登録予定】
動 物	小型サンショウウオ液浸標本1点、イボトビムシ類プレパラート標本5点、クロシジミ乾燥標本2点【整理後に登録予定】
植 物	なし
歴 史	なし
近 現 代	なし
民 俗	鳥取県指定無形文化財「ため池における魚伏籠(ウグイ)漁」関係資料7点、護符(俵詰め)1式、葉液散布機1点
考 古	なし
美 術	ジョルジュ・ルオー《道化役者》他版画・資料22点、アントニ・クラージェ《西瓜をもつ道化師》他油彩・版画11点、ジョルジュ・ブラック《静物》版画1点、アントニ・タピエス《黒と赤(カトレディターデス)》版画1点、菅井汲《無題》他油彩・版画19点、深澤幸雄《双子座》他ガラス絵・版画32点、前田寛治《裸婦》素描1点、国吉康雄《煙草を吸う女》他油彩・版画4点、萩原英雄《沼地》他版画4点、猪熊弦一郎《楽しき地形》油彩1点、相笠昌義《都市に魅かれて》他版画2点、浜口陽三《突堤》他版画4点、オノサトシノブ《ダイヤモンドの円》油彩1点、小野木学《風景XD》他版画12点、宇佐美圭司《版画集「顔」(7点組)》版画7点、

美術	加納告保《作品 76-6》他版画 6 点、中林忠良《師・駒井哲郎に捧ぐ碑》他版画 6 点、李禹煥《線より 4》他版画 8 点、加納光於《ウルビーノ頌》他版画 7 点、原裕治《yasuri5》アクリル 1 点、井上有一《月》書 1 点、黒崎彰《二つの時の間に 3》版画 1 点、篠田桃紅《ELAPSE》他版画 2 点、田淵安一《月静々 菱の風景》他版画 5 点、舟越桂《緑のスフィンクス》他版画 2 点、野田哲也《Diary : May 6 花束》版画 1 点、関野洋作《朝焼け》他版画 3 点、今井俊満《無題》版画 1 点、林美紀子《幸福の王子のために》他版画 2 点、安藤真司《風を感じて (春)》版画 1 点、フェリックス・ゴンザレス＝トレス《Untitled(Bloodwork Steady Decline)》1 点、清水九兵衛《FIGURE IV》1 点、佐藤剛《角皿》他陶器 18 点、酒井博司《藍色志野徳利》他陶器 7 点、玉置保夫監修《織部 竹紋ちがい鉢》陶器 1 点、黒岩卓実《織部 割山椒》他陶器 2 点、塚本治彦監修《織部 面取り茶碗》陶器 1 点、七代加藤幸兵衛監修《黒織部 向付》陶器 1 点、清水酔月《万古焼 萬古盛絵急須》陶器 1 点、富田美樹子《色絵大皿》他磁器 2 点、清水六兵衛監修《草花画変 長四方皿》他磁器 17 点、金重有邦《伊部火襷沓鉢》他陶器 12 点、伊勢崎紳《角小皿》他陶器 6 点、兼田昌尚《白釉刎貫茶碗》陶器 1 点、七代兼田三左衛門監修《粉引き徳利》他陶器 10 点、般若雲舟《盛皿「もみじ」》他漆器 2 点、須賀正紀原型《文鎮「靈芝」》銅器 1 点、本間昇《秘密箱「半天」》他寄木細工 3 点、根本幸雄《ぐい呑み》他ガラス器 6 点、下井百合昭《赤間硯「松」》硯 1 点、兼田昌尚萩焼制作工程資料他現代日本工芸関係資料 51 点、安岡信義《自画像》他 油彩・スケッチ 70 点、安岡信義関連資料 9 件
----	--

(4) 採集・拾得等資料

部 門	資 料 名
地 学	なし（過去に採集された化石標本 103 点の整理が済み、登録した。）
動 物	ヤドカリ類 25 点、棘皮類 112 点
植 物	維管束植物 50 点、コケ植物 4 点、菌類 4 点

(5) 保管換資料

部 門	資 料 名
美 術	杵谷精一《少女坐像（仮題）》石膏像 1 点（鳥取県議会事務局より保管換え）

3 展 示

(1) 常 設 展 示

常設展示を構成する資料

(単位：点)

区 分	実物資料・標本	ジオラマ・ 模型・機器	計
自 然	2,210	15	2,225
歴 史・民 俗	820	88	908
美 術	435	0	435
合 計	3,465	103	3,568

■自然展示室 (515㎡)

〈鳥取県の地質〉

- 鳥取県の地質の歴史を岩石・化石標本とパネルで紹介
- 鳥取県の地質地形を模型で紹介

〈鳥取県の“県の石”、日本の“国の石”〉

- 日本地質学会選の鳥取県の“県の石”と、日本鉱物科学会選の日本の“国の石”を展示

〈山陰沖海底産の哺乳類化石〉

- 山陰沖から産出したナウマンゾウやセイウチなどの化石を展示

〈鳥取県の化石〉

- 鳥取市国府町宮下の魚類化石、佐治町辰巳峠の植物・昆虫化石などを展示

〈鳥取砂丘〉

- 鳥取砂丘の地形と形成過程を剥ぎ取り標本、地形模型、映像などで紹介

〈地球の歴史と生物の進化〉

- 各地質時代の古生物をジオラマ7景で紹介
- 古生代、中生代、新生代の化石などを展示

〈鉱物と岩石〉

- 鉱物の分類と特徴・性質を標本とパネルで紹介
- 蛍光を発する鉱物を展示
- 岩石の分類と特徴を標本とパネルで紹介

〈鳥取砂丘の生物・大山の生物・中国山地の生物〉

- 鳥取砂丘、大山および中国山地に生息する生物について、それぞれ標本・ジオラマとパネルで紹介

〈鳥取県の漂着動物〉

- 鳥取県沿岸に漂着した海洋動物の標本を展示（ダイオウイカ、リュウグウノツカイ、クジラ類、マンボウ類、ウミガメ類など）

〈鳥取県における動物の地理的変異〉

- 鳥取県において地理的分化のみられる動物を標本とパネルで紹介（カワトンボ類、フキバッタ類、ザトウムシ類など）

〈人間活動と野生生物〉

- 鳥取県の外来種問題や環境問題を標本とパネルで紹介

〈鳥取の植物〉

- 鳥取県にみられる植物の押し葉標本と写真を展示

〈オオサンショウウオ・コーナー〉

- 国の特別天然記念物オオサンショウウオ（メス1個体）の飼育展示
- オオサンショウウオの標本展示、およびクイズ・コーナー

〈動物の分類展示〉

- 甲殻類、イカ・タコ類、魚類、両生類、爬虫類、鳥類、哺乳類を標本とパネルなどで紹介
- ◆野鳥のさえずりをハンズ・オン展示で紹介
- 貝類、昆虫類を標本とパネルで紹介

〈キノコの世界〉

- 菌類をアクリル封入標本、パネルで紹介

〈海藻のなかま〉

- 海藻類をアクリル封入標本とパネルで紹介

〈「みて・さわって・調べよう」コーナー〉

- 食卓でもおなじみの魚類を剥製やレプリカ標本で紹介
- 身近な植物コーナーで「いちごのなかま」「木の葉の形や付き方を調べてみよう」「新収蔵注目資料：要注意植物メリケントキンソウと県内初記録ヒダボタン」「新年ミニ企画 集まれ虎の尾」を展示

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年5月よりハンズ・オン展示を中止

「自然の窓」コーナー

展 示 タ イ ト ル	展 示 期 間
チョウの翅が輝く秘密	令和3年2月12日～令和3年9月22日
Ancient Fishes 太古の魚類たち	令和3年9月23日～令和4年2月6日
それ、サギじゃない!?	令和4年2月8日～

■歴史・民俗展示室（515㎡）

〈鳥取県のあけぼの〉

- 重要文化財子持勾玉の展示
- 旧石器時代～縄文時代草創期のナイフ形石器・有舌尖頭器などを展示
- 縄文時代の石器・木器・骨角器等、生活の道具の展示
- 智頭枕田遺跡をはじめとする県内出土の縄文土器を時期順に解説展示

〈弥生時代〉

- 稲作文化の伝来を伝える農具、県内出土の弥生土器の展示
- 農耕のまつりに使われた青銅器や土製品の紹介
- 青谷上寺地遺跡出土の木製品・鉄器・土器の展示
- 「弥生の国邑」妻木晩田遺跡の地形模型と出土土器の展示
- 日本海を介した交流による県内出土品の紹介
- 山陰独特の墓「四隅突出型墳丘墓」とその出土土器の紹介
- ◆土器パズルコーナー ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため撤収

〈古墳時代〉

- 古郡家1号墳等、県内の主要古墳出土資料の展示
- 重要文化財三角縁神獣鏡をはじめとする県内古墳出土銅鏡の紹介
- 鉄刀、鉄鏃、馬具等、様々な古墳副葬品の展示
- 重要文化財伯耆長瀬高浜遺跡出土埴輪など、県内の代表的な埴輪の展示
- 山陰に特徴的な土師器と須恵器の展示
- 様々な玉類や子持勾玉の紹介
- 古墳時代終末期の梶山古墳および横穴墓の出土遺物の展示

〈古代～中世〉

- 因幡・伯耆国府出土資料の展示、古代寺院に関する資料の展示
- 県内の古代寺院出土軒丸瓦、鬼瓦の展示
- 上淀廃寺彩色壁画、山陰型鴟尾の復元レプリカの展示
- 大山寺と三仏寺の紹介
- 三徳山三仏寺投入堂模型の展示
- 東郷庄と「東郷庄下地中分図」の紹介
- 県内の経塚出土の経筒、瓦経などの展示
- 梵鐘（廃網代寺・国英神社）・宝篋印塔の展示
- 鎌倉時代～南北朝期の因幡・伯耆
- 因幡・伯耆の守護大名山名氏の勢力を示す資料の展示

〈近世〉

- 豊臣秀吉による鳥取城攻めの紹介と、山名豊国肖像（複製）、吉川経家文書（複製）など関連資料の展示

- 亀井茲矩書状など、亀井茲矩の事績の紹介
- ◆ 領地パズルコーナー ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため撤収
- 池田光仲肖像（複製）、領地判物、夫人など、鳥取池田家の解説展示
- 鳥取・米子などの城下町関連資料、城下町絵図と現代地図の重ね合わせ図の展示
- 元禄の国絵図レプリカの展示
- 武士の格式と暮らし、武具やたしなみ（琴、茶）などの展示
- 鳥取を代表する産物である鉄・紙・木綿に関する資料の展示
- 大山寺略絵図など、近世の大山寺に関する展示
- 鳥取藩と竹島との関わりの展示
- 幕末の鳥取藩を示す資料の展示
- 鳥取藩の参勤交代の展示
- 鳥取城の模型、出土瓦など、鳥取城関係の展示

〈近現代〉

- 鳥根県に併合されていた時代の地券、卒業証書などの展示
- 小学読本・教科書など、明治期の教育に関する展示
- 歩兵第四十連隊と日露戦争の関わりに関する展示
- 山陰線の開通など、鳥取県の近代化に関する展示

〈民俗〉

- 復元民家による昔の暮らしの紹介
- ◆ ランプ・行灯の明るさ体験
- 鳥取県独自のキリン獅子舞を装束一式と映像で紹介
- 「かすり」を作る道具の展示と、かすりの製作工程の紹介
- 小豆雑煮、松葉がに、二十世紀梨など鳥取県の食文化の展示
- はこた人形・土天神など、鳥取県の郷土玩具の展示
- サネモリさん・荒神さんとクチナワさん・サイノカミさんなどの民間信仰の解説展示（実物・映像）
- 無形民俗文化財・民俗行事を映像で紹介
- ◆ 棹ばかりを実際に使ってみる体験コーナー ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため撤収

〈歴史の窓〉

展示タイトル	展示期間
青谷古代山陰道と鹿野戦国クシナ城	令和3年3月2日～5月9日
新指定文化財 ため池における魚伏籠漁	令和3年5月11日～7月11日
トピック展示1 一蔵出し！平岡円四郎の手紙一	令和3年7月13日～8月11日
トピック展示2 一蔵出し！維新の元勳・北垣国道の刀一	令和3年8月13日～9月12日
池田賞 殿様がくれた教育賞	令和3年9月14日～11月25日
「不滅の刀」関連企画 東照大権現に捧げられた神剣	令和3年11月26日～令和4年1月10日
弥生の超絶技巧	令和4年1月15日～3月6日
天皇の政治と文書	令和4年3月8日～4月17日

■美術展示室(260㎡)

- 江戸時代から現代までの鳥取県を代表する日本画、洋画、工芸、版画等を展示。
令和3年度より臨時収蔵庫として使用中のため、展示実績なし。

■近代美術展示室(374㎡)

●美術部門テーマ展示Ⅰ「ならべて くらべて—近世絵画・近現代日本画を中心に—」

展示期間：令和3年4月17日～令和3年5月12日

作者名	作品名	所蔵先
沖 探容	花鳥図	鳥取県立博物館
沖 一峨	四季草花図	鳥取県立博物館
沖 探容	四季富士図	鳥取県立博物館
井江 耕宗	六歌仙	鳥取県立博物館
仁熊 一笑	六歌仙図	鳥取県立博物館
沖 一峨	旭日鶴亀図	鳥取県立博物館
片山 楊谷	東方朔図	鳥取県立博物館
鳥田 元旦	群鹿群鶴図屏風	鳥取県立博物館
沖 一峨	龍虎図	鳥取県立博物館
黒田 稲阜	雲龍之図	鳥取県立博物館
土方 稲嶺	猛虎図	鳥取県立博物館

作者名	作品名	所蔵先
片山 楊谷	滝虎図	鳥取県立博物館
黒田 稲阜	群鯉図	鳥取県立博物館
小畑 稲升	月と飛鯉図	鳥取県立博物館
中島 菜刀	麒麟獅子	鳥取県立博物館
濱田 台兒	花容	鳥取県立博物館
前田 直衛	京祇園	鳥取県立博物館
根本 幽峨	紫式部・清少納言図	個人
土方 稲嶺	枯木夜鳥図	鳥取県立博物館
菅 楯彦	春宵宜行	鳥取県立博物館
橋本 秀峰	因幡伯耆名勝図	鳥取県立博物館
根本 幽峨	賀露浜坂真景図屏風	個人

●美術部門テーマ展示 夏休み企画 シリーズ：美術をめぐる場をつくるⅢ

「瀧澤 潔 鳥取県立博物館のためのインスタレーション2021」

展示期間：令和3年7月17日～令和3年8月29日

作者名	作品名	所蔵先
瀧澤 潔	鳥取県立博物館のためのインスタレーション 2021	瀧澤 潔

●美術部門テーマ展示Ⅲ

「線を引かざる日なし／Nulla dies sine linea—鳥取ゆかりの美術家による素描」

展示期間：令和3年11月27日～令和4年1月10日

作者名	作品名	所蔵先
前田 寛治	男の像	鳥取県立博物館
前田 寛治	覚書	鳥取県立博物館
安岡 信義	裸婦	鳥取県立博物館
安岡 信義	裸婦	鳥取県立博物館
中井 金三	裸体男性座像	倉吉博物館
中井 金三	裸体男性立像	倉吉博物館
森岡 柳蔵	石膏マスク・石膏頭部 (スケッチブックより)	鳥取県立博物館

作者名	作品名	所蔵先
森岡 柳蔵	写生風景・背面観の三人の人物 (スケッチブックより)	鳥取県立博物館
木山 義喬	アトリエの情景	米子市美術館
中井 金三	ミロのヴィーナス半身像	倉吉博物館
中井 金三	ベルヴェデーレのトルソ	倉吉博物館
中井 金三	河神像	倉吉博物館
前田 寛治	布	鳥取県立博物館
前田 寛治	裸婦	鳥取県立博物館

木山 義喬	後ろ向きで両手をのばす男	米子市美術館
木山 義喬	壁にもたれる裸婦	米子市美術館
木山 義喬	うずくまる男	米子市美術館
前田 寛治	パリの街並(窓からの眺め)	個人
安岡 信義	加賀藩戸(スケッチブック「巡礼記念」より)	鳥取県立博物館
香田 勝太	箱根越生富士三津(画帖)	米子市美術館
森岡 柳蔵	人物九態(スケッチブックより)	鳥取県立博物館
森岡 柳蔵	ブルッセル行き汽車中所見(スケッチブックより)	鳥取県立博物館
安岡 信義	書齋の人物と部分習作(スケッチブックより)	鳥取県立博物館
浜田 宜伴	制作中の須田国太郎先生	鳥取県立博物館
浜田 宜伴	妻の像	鳥取県立博物館
浜田 宜伴	妻の像	鳥取県立博物館
遠藤 董	こともし	鳥取県立博物館
恩田 孝徳	5月20日上野広小路にて	鳥取県立博物館
恩田 孝徳	6月8日麻布十番より南山を望む	鳥取県立博物館
恩田 孝徳	10月14日日本橋通り三丁目より京橋を望む	鳥取県立博物館
恩田 孝徳	日記	鳥取県立博物館
尾崎悌之助	鳥取大火後の市街地(スケッチブックより)	個人
尾崎悌之助	長崎	個人
尾崎悌之助	木ノ根神社	個人
伊谷 賢蔵	二人の人物(中国関係素描)	鳥取県立博物館
伊谷 賢蔵	複数の兵士(中国関係素描)	鳥取県立博物館
伊谷 賢蔵	腰を屈める人物(中国関係素描)	鳥取県立博物館
山本 兼文	モンマルトル	個人
山本 兼文	モンマルトルの丘にて	個人
山本 兼文	フォンテーヌブロー森タぐれ	個人
山本 兼文	ロダン生家	個人
山本 兼文	レンブラント家の前アムステルダム	個人
前田 寛治	アインシュタイン像(1)	鳥取県立博物館
前田 寛治	アインシュタイン像(2)	鳥取県立博物館
福本 和夫	老鸚	個人
木山 義喬	立てる裸婦	米子市美術館

辻 晋堂	目と鼻の先の距離について(1)	個人
辻 晋堂	目と鼻の先の距離について(2)	個人
前田 寛治	腕・顔	鳥取県立博物館
中井 金三	ワイングラスを持つ女	倉吉博物館
安岡 信義	人物	鳥取県立博物館
國頭繁次郎	(タイトル無し)	米子市美術館
前田 寛治	ベッドの裸婦	鳥取県立博物館
前田 寛治	街角	鳥取県立博物館
前田 寛治	発電所の内部	鳥取県立博物館
香田 勝太	植物園	米子市美術館
香田 勝太	chun	米子市美術館
岡村吉右衛門	ニューデリー・ハンディクラフト・エンド・ハンドルーム・ミュージアム機織全体	鳥取県立博物館
岡村吉右衛門	衣服部分名称、部分名称器体の擬人法、住居部分名称	鳥取県立博物館
岡村吉右衛門	THAILAND ME0 族機織2態	鳥取県立博物館
岡村吉右衛門	松山市堀之内愛媛県立教育文化会館県立歴史民俗資料館5F蔵	鳥取県立博物館
岡村吉右衛門	LOMBOK PENUTAK 村野天焼川の畔の崖の下	鳥取県立博物館
岡村吉右衛門	THAILAND CHIANGMAI 郊外NONHOI 村所見苗族鍛冶	鳥取県立博物館
岡村吉右衛門	LOMBOK 鳥竹籐	鳥取県立博物館
岡村吉右衛門	TENGANAN Karangase BrPande(鍛冶)	鳥取県立博物館
前田 寛治	噴火口へ(東京美術学校時代のスケッチブックより)	個人
前田 寛治	傘を持つ男性	鳥取県立博物館
前田 寛治	ある彫刻家の肖像	鳥取県立博物館
前田 寛治	ものを喰う男	鳥取県立博物館
前田 寛治	母子像	鳥取県立博物館
前田 寛治	裸人二人	鳥取県立博物館
前田 寛治	発電機(《工場内部》の下図)	鳥取県立博物館
浜田 宜伴	《建設》の下絵	鳥取県立博物館
浜田 宜伴	《休憩どき》の下絵	鳥取県立博物館
木山 義喬	男性胸像	米子市美術館

國頭繁次郎	(タイトル無し)	米子市美術館
辻 晉堂	無題	鳥取県立博物館
辻 晉堂	空言	鳥取県立博物館

松田 晃八	武蔵野	鳥取県立博物館
大淵 晴雄	風景	個人

■エントランスホール展示

作品名	作者名	所蔵先
猫の頭	辻 晉堂	鳥取県立博物館
寒山	辻 晉堂	鳥取県立博物館
拾得	辻 晉堂	鳥取県立博物館
FIGURE IV	清水九兵衛	鳥取県立博物館
Pine Gate	中ハシクシゲ	個人

(2) 企画展

●「受贈記念 垣田堅二郎コレクション展」

会 期 令和3年4月10日(土)～5月9日(日)

※休館日：会期中4月の毎週月曜日 開館日数27日間

会 場 鳥取県立博物館 第1・2特別展示室

入館者数 1,978人

主 催 鳥取県立博物館

協 賛 日本通運株式会社、株式会社モリックスジャパン、株式会社吉備総合電設、三和商事株式会社、鳥取県情報センター

入館料 一般600円(前売・団体400円)

内 容 鳥取県立博物館では令和2年度に、倉吉市在住の垣田堅二郎氏より、版画作品を中心に167点の美術作品の寄贈を受けた。このことを記念し、受贈作品すべてを一堂に紹介する「受贈記念 垣田堅二郎コレクション展」を開催した。令和7年春の新しい県立美術館の開館に向けて、美術館においてもコレクションの主要な一角を占めることとなるこれらの作品を初めて公開し、新しい美術館の建設気運を盛り上げることとした。

寄贈を受けた作品は、菅井汲や宇佐美圭司、李禹煥、小野木学といったよく知られた美術家の代表的な作品であり、とりわけ銅版画において日本を代表する深澤幸雄の作品約30点や、日本でも人気のあるジョルジュ・ルオーの版画集「流れる星のサーカス」17点を含んでいる。これによって県立博物館の美術部門の近現代美術コレクションのうち、これまで所蔵作品が比較的少なかった近現代版画に関して一挙に作品の厚みが増すこととなった。

〈関連行事〉

(1) ギャラリートーク(担当学芸員による展示解説)

日 時 4月10日(土)、4月17日(土)、4月24日(土) 14:00～15:00

会 場 企画展会場

参加人数 合計89人

(2) ワークショップ「巨大な版画で鯉のぼりをつくっちゃおう！」

日 時 5月1日(土)14:00～16:00
 会 場 博物館前庭
 参加人数 24人

〈出品目録〉

I. ジョルジュ・ルオー

章番号	作家名	作品名	制作年	技法・素材
I-01	ジョルジュ・ルオー	道化役者	1926年	リトグラフ・紙
I-02	ジョルジュ・ルオー	自画像Ⅲ	1926年	リトグラフ・紙
I-03	ジョルジュ・ルオー	版画集「流れる星のサーカス」より I—扉絵 見世物小屋の呼び込み	1934年	アクアチント・紙
I-04	ジョルジュ・ルオー	版画集「流れる星のサーカス」より II—黒いピエロ	1935年	アクアチント・紙
I-05	ジョルジュ・ルオー	版画集「流れる星のサーカス」より III—苦いレモン	1935年	アクアチント・紙
I-06	ジョルジュ・ルオー	版画集「流れる星のサーカス」より IV—こびと	1934年	アクアチント・紙
I-07	ジョルジュ・ルオー	版画集「流れる星のサーカス」より V—曲芸師	1934年	アクアチント・紙
I-08	ジョルジュ・ルオー	版画集「流れる星のサーカス」より VI—小さな女曲馬師	1935年?	アクアチント・紙
I-09	ジョルジュ・ルオー	版画集「流れる星のサーカス」より VII—ルイゾン夫人	1935年	アクアチント・紙
I-10	ジョルジュ・ルオー	版画集「流れる星のサーカス」より VIII—悲しげな瘦っ骨	1934年	アクアチント・紙
I-11	ジョルジュ・ルオー	版画集「流れる星のサーカス」より IX—カルメンシータ夫人	1935年	アクアチント・紙
I-12	ジョルジュ・ルオー	版画集「流れる星のサーカス」より X—親代々の旅芸人	1935年	アクアチント・紙
I-13	ジョルジュ・ルオー	版画集「流れる星のサーカス」より XI—アーサー親方	1934年	アクアチント・紙
I-14	ジョルジュ・ルオー	版画集「流れる星のサーカス」より XII—苦い甘さ	1934年	アクアチント・紙
I-15	ジョルジュ・ルオー	版画集「流れる星のサーカス」より XⅢ—気むずかし屋	1935年	アクアチント・紙
I-16	ジョルジュ・ルオー	版画集「流れる星のサーカス」より XⅣ—ピエロ	1935年	アクアチント・紙
I-17	ジョルジュ・ルオー	版画集「流れる星のサーカス」より XⅤ—バレリーナたち	1934年	アクアチント・紙
I-18	ジョルジュ・ルオー	版画集「流れる星のサーカス」より XⅥ—オーギュスト	1935年	アクアチント・紙
I-19	ジョルジュ・ルオー	版画集「流れる星のサーカス」より XⅦ—眠れ、よい子よ	1935年	アクアチント・紙
I-20	ジョルジュ・ルオー	十字架のキリスト	1936年	アクアチント・紙

II. アントニ・クラークヴェと海外の版画

章番号	作家名	作品名	制作年	技法・素材
II-01	アントニ・クラークヴェ	西瓜をもつ道化師	1975年	油彩・カンヴァスボード
II-02	アントニ・クラークヴェ	水指	不詳	油彩・カンヴァスボード
II-03	アントニ・クラークヴェ	吟遊詩人	1970年	リトグラフ・紙
II-04	アントニ・クラークヴェ	吟遊詩人	1970年	リトグラフ・紙
II-05	アントニ・クラークヴェ	吟遊詩人	1970年	リトグラフ・紙
II-06	アントニ・クラークヴェ	吟遊詩人	1970年	リトグラフ・紙
II-07	アントニ・クラークヴェ	吟遊詩人	1970年	リトグラフ・紙
II-08	アントニ・クラークヴェ	吟遊詩人	1970年	リトグラフ・紙
II-09	アントニ・クラークヴェ	吟遊詩人	1970年	リトグラフ・紙
II-10	アントニ・クラークヴェ	吟遊詩人	1970年	リトグラフ・紙
II-11	アントニ・クラークヴェ	吟遊詩人	1970年	リトグラフ・紙
II-12	ジョルジュ・ブラック	静物	1922～23年	アクアチント・紙
II-13	アントニ・タピエス	黒と赤(カトレディターデス)	不詳	リトグラフ・紙

III. 菅井汲と深澤幸雄

章番号	作家名	作品名	制作年	技法・素材
III-01	菅井 汲	無題	1956年	油彩・カンヴァス
III-02	菅井 汲	紫	1959年	リトグラフ・紙
III-03	菅井 汲	青と黒	1960年	リトグラフ・紙
III-04	菅井 汲	青のインキ	1962年	リトグラフ・紙

Ⅲ-05	菅井 汲	嵐	1962年	リトグラフ・紙
Ⅲ-06	菅井 汲	青空	1963年	リトグラフ・紙
Ⅲ-07	菅井 汲	青空	1963年	リトグラフ・紙
Ⅲ-08	菅井 汲	月への道	1966年	リトグラフ・紙
Ⅲ-09	菅井 汲	バラ色	1967年	リトグラフ・紙
Ⅲ-10	菅井 汲	水平	1969年	リトグラフ・紙
Ⅲ-11	菅井 汲	ユー 黄色と青	1969年	リトグラフ・紙
Ⅲ-12	菅井 汲	緑と赤のフェスティバル	1970年	リトグラフ・紙
Ⅲ-13	菅井 汲	三つの球	1970年	リトグラフ・紙
Ⅲ-14	菅井 汲	10月：静けさ	1970年	リトグラフ・紙
Ⅲ-15	菅井 汲	出発前に	1970年	リトグラフ・紙
Ⅲ-16	菅井 汲	GUEST I	1980年	シルクスクリーン・紙
Ⅲ-17	菅井 汲	GUEST II	1980年	シルクスクリーン・紙
Ⅲ-18	菅井 汲	GUEST IV	1980年	シルクスクリーン・紙
Ⅲ-19	菅井 汲	GUEST V	1980年	シルクスクリーン・紙
Ⅲ-20	深澤 幸雄	双子座	不詳	ガラス絵
Ⅲ-21	深澤 幸雄	餓鬼	1955年	エッチング・紙
Ⅲ-22	深澤 幸雄	残涙	1955年	エッチング・紙
Ⅲ-23	深澤 幸雄	重金属の鳥	1955年	エッチング・紙
Ⅲ-24	深澤 幸雄	夜の顔	1955年	エッチング・紙
Ⅲ-25	深澤 幸雄	睡眠周波	1955年	エッチング・紙
Ⅲ-26	深澤 幸雄	ベルトラム・ダル・ボルニオ(ダンテ「神曲」〈地獄編〉より)	1957年	エッチング・紙
Ⅲ-27	深澤 幸雄	合わない視線	1957年	エッチング・紙
Ⅲ-28	深澤 幸雄	たまごの内側	1967年	エッチング・紙
Ⅲ-29	深澤 幸雄	扉と人	1968年	エッチング・紙
Ⅲ-30	深澤 幸雄	悲しき真珠とりの歌	1970年	エッチング・紙
Ⅲ-31	深澤 幸雄	月に吠える	1970年	エッチング・紙
Ⅲ-32	深澤 幸雄	旗ひるがえる町	1970年	エッチング・紙
Ⅲ-33	深澤 幸雄	カーニバル	1970年	エッチング・紙
Ⅲ-34	深澤 幸雄	遺伝(流れ) A	1972年	エッチング・紙
Ⅲ-35	深澤 幸雄	天秤座	1973年	エッチング・紙
Ⅲ-36	深澤 幸雄	蠍座	1973年	エッチング・紙
Ⅲ-37	深澤 幸雄	銀河からの便り	1979年	エッチング・紙
Ⅲ-38	深澤 幸雄	訪ねて来る人	1982年	エッチング・紙
Ⅲ-39	深澤 幸雄	愛	1985年	エッチング・紙
Ⅲ-40	深澤 幸雄	哄笑	1986年	エッチング・紙
Ⅲ-41	深澤 幸雄	風紋の不死鳥	1993年	エッチング・紙
Ⅲ-42	深澤 幸雄	中原中也A	1993年	エッチング・紙
Ⅲ-43	深澤 幸雄	月のマークのTシャツ	1993年	エッチング・紙
Ⅲ-44	深澤 幸雄	北方の聖なる詩人A	1993年	エッチング・紙
Ⅲ-45	深澤 幸雄	走れメロス	1994年	エッチング・紙
Ⅲ-46	深澤 幸雄	青春の碑	1993年	エッチング・紙
Ⅲ-47	深澤 幸雄	旅立ちの歌	1996年	エッチング・紙
Ⅲ-48	深澤 幸雄	夢の誕生	1996年	エッチング・紙
Ⅲ-49	深澤 幸雄	魅惑的な影	1997年	エッチング・紙
Ⅲ-50	深澤 幸雄	カンカン帽子のジェントルマン	2000年	エッチング・紙
Ⅲ-51	深澤 幸雄	青い壘のかたち	2001年	エッチング・紙

IV. 日本の現代版画とその周辺

章番号	作家名	作品名	制作年	技法・素材
IV-1	前田 寛治	裸婦	1928年頃	インク・紙
IV-2	国吉 康雄	煙草を吸う女	1929年	油彩、カンヴァス
IV-3	国吉 康雄	立っている半裸の女	1927年	リトグラフ・紙

IV-4	国吉 康雄	踊り	1928年	リトグラフ・紙
IV-5	国吉 康雄	シミーズを着る女	1928年	リトグラフ・紙
IV-6	萩原 英雄	沼地	1959年	木版・紙
IV-7	萩原 英雄	石の花F	1961年	木版・紙
IV-8	萩原 英雄	鎧へる人	1963年	木版・紙
IV-9	萩原 英雄	星月夜 No.1	1979年	木版・紙
IV-10	猪熊弦一郎	楽しき地形	1965年	油彩・紙
IV-11	相笠 昌義	都市に魅かれて	1965年	エッチング・紙
IV-12	相笠 昌義	日常生活・夜	1965年	エッチング・紙
IV-13	浜口 陽三	突堤	1965年	カラーメゾチント・紙
IV-14	浜口 陽三	びんとサクランボ	1971年	リトグラフ・紙
IV-15	浜口 陽三	26のさくらんぼ	1971年	リトグラフ・紙
IV-16	浜口 陽三	くるみ	1971年	リトグラフ・紙
IV-17	オノサトトシノブ	ダイヤカットの円	1973年	油彩・カンヴァス
IV-18	小野木 学	風景 XD	1973年	シルクスクリーン・紙
IV-19	小野木 学	風景 AOI	1974年	シルクスクリーン・紙
IV-20	小野木 学	風景 ATD	1974年	シルクスクリーン・紙
IV-21	小野木 学	風景 POC	1974年	シルクスクリーン・紙
IV-22	小野木 学	風景 COE	1974年	シルクスクリーン・紙
IV-23	小野木 学	風景 LTJ	1974年	シルクスクリーン・紙
IV-24	小野木 学	風景 IHA	1974年	シルクスクリーン・紙
IV-25	小野木 学	風景 LUL	1974年	シルクスクリーン・紙
IV-26	小野木 学	風景 ESB	1974年	シルクスクリーン・紙
IV-27	小野木 学	風景 BAG	1974年	シルクスクリーン・紙
IV-28	小野木 学	風景 NRH	1974年	シルクスクリーン・紙
IV-29	小野木 学	風景 SNF	1974年	シルクスクリーン・紙
IV-30	宇佐美 圭司	版画集「顔」(7点組)	1973~74年	シルクスクリーン・紙
IV-31	宇佐美 圭司	版画集「顔」(7点組)	1973~74年	シルクスクリーン・紙
IV-32	宇佐美 圭司	版画集「顔」(7点組)	1973~74年	シルクスクリーン・紙
IV-33	宇佐美 圭司	版画集「顔」(7点組)	1973~74年	シルクスクリーン・紙
IV-34	宇佐美 圭司	版画集「顔」(7点組)	1973~74年	シルクスクリーン・紙
IV-35	宇佐美 圭司	版画集「顔」(7点組)	1973~74年	シルクスクリーン・紙
IV-36	宇佐美 圭司	版画集「顔」(7点組)	1973~74年	シルクスクリーン・紙
IV-37	加納 告保	作品76-6	1976年	木版、シルクスクリーン・紙
IV-38	加納 告保	作品76-7	1976年	木版、シルクスクリーン・紙
IV-39	加納 告保	作品76-10	1976年	木版、シルクスクリーン・紙
IV-40	加納 告保	作品76-11	1976年	木版、シルクスクリーン・紙
IV-41	加納 告保	飛翔の形	1985年	木版、シルクスクリーン・紙
IV-42	加納 告保	樹間落日	1988年	木版、シルクスクリーン・紙
IV-43	中林 忠良	師・駒井哲郎に捧ぐ 碑	1976年	エッチング、アクアチント、ディープエッチング・紙
IV-44	中林 忠良	転位'09-地-I(光)	2009年	エッチング、アクアチント・紙
IV-45	中林 忠良	転位'82-地-III(冬)	1983年	エッチング、アクアチント・紙

IV-46	中林 忠良	転位 '86-地-III	1986年	エッチング、アクアチント・紙
IV-47	中林 忠良	転位 '89-地-I	1989年	エッチング、アクアチント・紙
IV-48	中林 忠良	転位 '89-地-VI	1989年	エッチング、アクアチント・紙
IV-49	李 禹煥	線より 4	1977年	リトグラフ・紙
IV-50	李 禹煥	廃墟へ 1	1986年	ドライポイント・紙
IV-51	李 禹煥	廃墟へ 2	1986年	ドライポイント・紙
IV-52	李 禹煥	廃墟へ 3	1986年	ドライポイント・紙
IV-53	李 禹煥	廃墟へ 4	1986年	ドライポイント・紙
IV-54	李 禹煥	廃墟へ 5	1986年	ドライポイント・紙
IV-55	李 禹煥	廃墟へ 6	1986年	ドライポイント・紙
IV-56	李 禹煥	廃墟へ 7	1986年	ドライポイント・紙
IV-57	加納 光於	ウルビーノ頌	1977年	カラーインタリオ・紙
IV-58	加納 光於	塩の柱、あるいは舞踏衣装のためのCODEX I	1978年	カラーインタリオ・紙
IV-59	加納 光於	塩の柱、あるいは舞踏衣装のためのCODEX I	1978年	カラーインタリオ・紙
IV-60	加納 光於	塩の柱、あるいは舞踏衣装のためのCODEX II	1978年	カラーインタリオ・紙
IV-61	加納 光於	塩の柱、あるいは舞踏衣装のためのCODEX II	1978年	カラーインタリオ・紙
IV-62	加納 光於	塩の柱、あるいは舞踏衣装のためのCODEX I	1978年	カラーインタリオ・紙
IV-63	加納 光於	Illumination-1986 PF-No. 8	1986年	カラーリトグラフ・紙
IV-64	原 裕治	yasuri 5	1980年	砂、アクリル・紙
IV-65	井上 有一	月	1983年	墨・和紙
IV-66	黒崎 彰	二つの時の間に 3	1984年	木版・紙
IV-67	篠田 桃紅	ELAPSE	1986年	シルクスクリーン・紙
IV-68	篠田 桃紅	DOWN	1986年	シルクスクリーン・紙
IV-69	田淵 安一	月静々 菱の風景	1991年	エッチング・紙
IV-70	田淵 安一	月静々 石花	1991年	エッチング・紙
IV-71	田淵 安一	月静々 水天渺々	1991年	エッチング・紙
IV-72	田淵 安一	月静々 風霊	1991年	エッチング・紙
IV-73	田淵 安一	月静々 五星界	1991年	エッチング・紙
IV-74	舟越 桂	走る柵	1994年	リトグラフ・紙
IV-75	舟越 桂	緑のスフィンクス	2008年	リトグラフ・紙
IV-76	野田 哲也	Diary : May 6 花束	2003年	木版、シルクスクリーン・紙
IV-77	関野 洋作	朝焼け	2003年	木版・紙
IV-78	関野 洋作	夜景	2005年	木版・紙
IV-79	関野 洋作	夜景(熱海満月の夜)	2007年	木版・紙
IV-80	今井 俊満	無題	不詳	リトグラフ・紙
IV-81	林 美紀子	幸福の王子のために	不詳	木版・紙
IV-82	安藤 真司	風を感じて(春)	不詳	エッチング・紙
IV-83	林 美紀子	川風	不詳	木版・紙

●「QooDZILLA!! クジラとイルカの世界」

会 期 令和3年7月17日(土)～8月29日(日)〔44日間〕

※会期中無休

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため8月11日～14日を臨時休館とした。

会 場 鳥取県立博物館 第1・第2特別展示室

入館者数 13,401人

主 催 クジラ展実行委員会(鳥取県立博物館、日本海テレビジョン放送株式会社)・読売新聞社

協 力 (一財)日本鯨類研究所、大阪市立自然史博物館、近畿大学農学部海棲哺乳類学研究室、(公

財) 動物臨床医学研究所、国立科学博物館、島根県立しまね海洋館アクアス、下関市立しものせき水族館「海響館」、太地町立くじらの博物館、東京海洋大学海洋科学部鯨類学研究室、東京海洋大学ミュージアム機構マリンサイエンスミュージアム、鳥取県立鳥取西高等学校、鳥羽水族館、長岡市寺泊水族博物館、福井県立恐竜博物館

協 賛 日本通運株式会社、株式会社モリックスジャパン、株式会社吉備総合電設、三和商事株式会社、株式会社鳥取県情報センター

入 館 料 一般 700 円 (団体・前売・大学生・70 歳以上 500 円)

※次の方は無料：高校生以下、学校教育活動での引率者、障がいのある方・難病の方・要介護者等及びその介護者

内 容 クジラ類(クジラとイルカ)は、陸上から海中生活への高度な適応を果たした哺乳類である。本展覧会では、シロナガスクジラ実物大写真やシャチ全身骨格をはじめ、様々な実物標本や貴重な映像資料を用いてクジラ類の知られざる魅力を紹介した。水中生活への適応や形態の多様性についての話題の他、食性や繁殖行動といった野生動物としての生々しい側面にもスポットをあてた。また鳥取県におけるクジラ類の漂着記録や関連資料を通し、漂着鯨類を調査することの意義について考えるきっかけづくりとした。

〈展 示〉

1 クジラって、なんですか？

[クジラは哺乳類です]クジラとシカは“いとこ同士”・おっぱいと毛・尾ビレの向き／ニホンジカ(剥製)、カマイルカ(剥製)、イノシシ(剥製)、カズハゴンドウのメス生殖器(プラスティネーション)、コマッコウ胎児(液浸標本)、イルカの出産・授乳(映像)ほか

[水の中でくらししています]流線形の体・ヒレになった前あし・短い首・頭上にある鼻の穴／ハセイルカ(全身骨格)、ハンドウイルカとニホンジカ(頭骨)、ミンククジラとニホンジカ(頭骨)、シロナガスクジラの「潮ふき」(映像)ほか

[2つのグループに分けられます]「ハクジラ」と「ヒゲクジラ」／世界の鯨類(ミニチュアモデル)

2 くじらのくらし(1)：たべる

[ハクジラの食事]食性と歯の形・吸い込み採餌と舌骨・エコーロケーション／ハクジラ類と陸生哺乳類と爬虫類(頭骨)、マッコウクジラの「虫歯」(歯牙標本)、ネズミイルカ(生体模型)、オウギハクジラとニホンジカ(頭骨および舌骨)、スナメリ(生体模型および全身骨格)、吸引摂餌行動とバブルリング(映像)、コマッコウ(全身骨格)、ハクジラ類の歯を使った工芸品ほか

[ヒゲクジラの食事]大きなクジラの小さなごちそう・摂餌方法とクジラヒゲ／シロナガスクジラ実物大高精細写真(パネル)、ナンキョクオキアミ(プラスティネーション)、3タイプのヒゲクジラ類(頭骨およびヒゲ板)、コククジラ摂餌行動(映像)、ヒゲクジラ類のヒゲ板を使った工芸品ほか

[食べたらどうなる?]奇妙な胃袋・超ながい腸・排泄物／ハクジラ類の胃袋(プラスティネーション)、ハクジラ類の排泄物(液浸標本)、ヒゲクジラ類の排泄物(写真)ほか

3 くじらのくらし(2)：むれる たたかう 恋をする

[むれるクジラ]むれる理由とむれない理由・複雑なシャチの群れ・たよりになる「おばあちゃん」・クジラの年齢・ふれあいと協力／シャチ(全身骨格)、ハクジラ類の歯(年齢査定標本)、ヒゲクジラ類の耳垢(年齢査定標本)、ザトウクジラの胸ビレ(模型)、ハクジラ類の個体間コミュニケーション行動(映像)

[恋するクジラ]歯でたたかう・歯をくらべる・交尾行動／オウギハクジラ類のオスとメス(頭骨)、イッカク(全身骨格)、イワシクジラのオス生殖器(乾燥標本)、ハクジラ類の繁殖関連行動(映像)

[クジラの上でくらす] 寄生生物/クジラジラミおよびフジツボ類 (液浸標本)

4 クジラをつくり方: 四つ足動物がクジラになるまで

[むかしむかし、クジラには「うしろあし」がありました] 初期鯨類の進化・偶蹄類との共通点/パキケタス、アンブロケタス、ドルドンの骨格 (写真)、パキケタスの耳骨 (写真) とハンドウイルカの耳骨 (標本)、パキケタスの距骨 (写真) とニホンジカの距骨 (標本)、ハンドウイルカの腰部椎骨とニホンジカの仙骨 (標本) ほか

[そして、小さな骨が残りました] クジラのふともも・「腹ビレ」のあるイルカ/セミクジラ (寛骨、大腿骨、脛骨)、マッコウクジラ (寛骨、大腿骨)、腹ビレのあるハンドウイルカ「はるか」(映像)

5 ながれつくクジラ

[とっとりにながれついたクジラたち] とつとりの鯨類漂着記録/オウギハクジラ (骨格の一部)、ツノシマクジラ (頭骨の一部)、コマッコウ胎児 (レプリカ)

[ながれついたクジラをしらべると] 胃内容物/漂着マッコウクジラの胃から出たイカ類顎板 (液浸標本)、漂着オウギハクジラの胃から出た人工ゴミ (乾燥標本) ほか

展示点数 263 点

〈関連行事〉

コラボ企画「鳥取西高校自然科学部 クジラ講座」

日 程 令和3年8月7日(土)・8日(日)

会 場 鳥取県立博物館第2特別展示室

講 師 鳥取県立鳥取西高等学校自然科学部

展示解説「ICT機器でつなぐ博物館の企画展見学」

日 程 令和3年8月26日(木)

会 場 鳥取県立博物館第1・第2特別展示室および鳥取県立鳥取養護学校

講 師 一澤 圭 (鳥取県立博物館)

参加人数 17 名

●「とつとりの乱世—因幡・伯耆からみた戦国時代—」

会 期 令和3年10月9日(土)～11月7日(日)

※休館日: 10月25日(月)、19日(月) 開館日数 29 日間

会 場 鳥取県立博物館 第1・第2特別展示室

入館者数 5,005 人

主 催 とつとりの乱世展実行委員会 (鳥取県立博物館・山陰中央テレビジョン放送株式会社)

協 賛 日本通運株式会社、株式会社モリックスジャパン、株式会社吉備総合電設、三和商事株式会社、株式会社鳥取県情報センター

協 力 鳥取県立公文書館、鳥取県埋蔵文化財センター、鳥取市歴史博物館

入 館 料 一般 700 円 (団体・前売・大学生・70 歳以上の方 500 円)

※次の方は無料: 高校生以下の方、障がいのある方・難病患者の方・要介護者等及びその介護者、学校教育活動での引率者

内 容 戦国時代の鳥取県域を構成した因幡・伯耆国について扱った展覧会である。近年、『新鳥取県史』が刊行され当県に関わる多くの文書が確認され、その成果を反映した新しい知見を数多く紹介した。また、古文書以外にも武具・甲冑・仏像・神像などの様々な種類の資料を幅広く展示した。加えて、展覧会の準備の中で新発見された「鳥取加須屋家文書」

をはじめとする新出資料や、当館が所蔵している鳥取藩主池田家と藩士家の名品も多数展示した。

展覧会では歴史系展覧会の新たな客層を開拓すべく、視角的に楽しめる会場づくりを目指した。展覧会の中で重要な役割を果たした武将たちを著名なイラストレーター・獅子猿氏の手でイラスト化し広報などにも活用した。また、甲冑のディスプレイ展示や県内山城の空撮映像の放映など、来館者が当県の戦国時代に興味を持つきっかけとなるような展覧会を目指した。また、鳥取県立公文書館との連携により気鋭の戦国時代の研究者を招聘し、質の高い講演会を開催し県民の啓蒙にも役割を果たした。

〈関連行事〉

(1) シンポジウム「因幡・伯耆国の戦国時代史の今」

期 日 10月17日(日) 14:00～15:30
会 場 鳥取県立博物館講堂
講 師 岡村吉彦(鳥取県立公文書館)・来見田博基(当館学芸員)・山本隆一朗(当館学芸員)
参加人数 57人

(2) 歴史講座&展示解説「二つの展覧会で見るととりの戦国時代」

(鳥取県立博物館×鳥取市歴史博物館 連携企画)

【市博編】

期 日 10月17日(日) 10:00～12:00
会 場 鳥取市歴史博物館
講 師 石井伸宏(鳥取市歴史博物館)、山本隆一朗(当企画展担当学芸員)
参加人数 20人

【県博編】

期 日 10月24日(日) 10:00～12:00
会 場 鳥取県立博物館講堂・企画展会場
講 師 石井伸宏(鳥取市歴史博物館)、山本隆一朗(当企画展担当学芸員)
参加人数 25人

(3) 歴史講座「はじめてのお抹茶体験」

期 日 10月31日(日) 14:00～15:30
会 場 鳥取県立博物館会議室
講 師 大嶋陽一(当館学芸員)
参加人数 17人

(4) 講演会「中国地域の戦国期戦争と「境目」地域の民衆」

期 日 11月3日(水・祝) 13:30～15:30
会 場 講堂
講 師 山本浩樹(龍谷大学教授)
参加人数 57人

(5) 歴史講座「花押のデザイン」

期 日 11月7日(日) 14:00～15:30

会 場 会議室
 講 師 山本 隆一郎(当館学芸員)
 参加人数 20人

〈出品目録〉

出品資料の一部は前期(10月9日(土)から10月24日(日))・後期(10月26日(火)から11月7日(日))で展示替を行い公開。

プロローグ：乱世のはじまりと因伯

No.	指定	前期	後期	資料名	年月日	所蔵
1	県指定	○	○	山名元之安堵状(「瑞仙寺文書」)	文明9年閏1月19日	瑞仙寺
2	県指定	○	○	山名政之安堵状(「瑞仙寺文書」)	文明14年閏7月5日	瑞仙寺
3		○	○	布勢天神山城図(『因幡民談記』所収)		館蔵
4	県指定	○	○	山名豊時感状(「北川家文書」)	長享3年9月14日	個人蔵(鳥取市歴史博物館寄託)
5	県指定	○	○	尼子経久像	16C	山口博物館
6		○	○	山田元勝書状(「経久寺文書」)		館蔵
7		○	○	宇田川神社棟札	永正13年11月	宇田川神社

I．乱世に翻弄される因伯

No.	指定	前期	後期	資料名	年月日	所蔵
8		○	○	旧若桜光福寺太鼓	天文11年4月6日	玉作湯神社
9	県指定	○	○	大内義隆書状(「宮本家文書」)	(天文16～19年)3月3日	館蔵
10		○	○	木造男神座像	永正17年11月1日	三徳山三佛寺
11	町指定	○	○	三徳山勝手権現騎馬像	天文11年6月	三徳山三佛寺
12		○	○	勝手権現騎馬像佩刀(銘広賀)	天文11年	三徳山三佛寺
13		○	○	三徳山三佛寺地藏堂狛犬(阿像・吽像)	天文11年10月27日	三徳山三佛寺
14		○	○	岩屋寺快円日記		館蔵
15	県指定	○	○	尼子晴久安堵状(「定光寺文書」)	天文23年6月10日	定光寺
16	県指定	○	○	尼子義久安堵状(「定光寺文書」)	永禄5年2月10日	定光寺
17		○	○	毛利元就感状(「山口県立山口博物館所蔵文書」)	永禄6年11月20日	山口博物館
18		○	○	渡辺出雲守房画像	天正16年4月	個人蔵(広島県立歴史博物館寄託)
19	県指定	○	○	平佐就之書状(「宮本家文書」)	(永禄7年)2月10日	館蔵
20		○	○	毛利元就書状(「山田家文書」)	(永禄7年)2月10日	個人蔵(山口県文書館寄託)
21		○	○	毛利元就書状(「山田家文書」)	(永禄7年)9月17日	個人蔵(山口県文書館寄託)
22		○	○	江美神社天文五年棟札	天文5年1月	江美神社
23		○	○	毛利元就書状(「日野文書」)	永禄7年8月25日	広島大学文学部
24		○	○	与布土光清・高橋久光連署状写(「経久寺文書」)	永禄8年4月10日	館蔵
25		○	○	(山名カ)与次郎安堵状(「経久寺文書」)	永禄8年4月10日	館蔵
26		○	○	八幡神社唐櫃(河岡久貞奉納)	永禄10年9月	八幡神社
27	県指定	○	○	杉原盛重寄進状(「瑞仙寺文書」)	永禄10年3月22日	瑞仙寺

II．乱世を克服する因伯

No.	指定	前期	後期	資料名	年月日	所蔵
28		○	○	尼子勝久安堵状(「経久寺文書」)	永禄12年10月1日	館蔵
29		○	○	吉川元春像	安土桃山時代	吉川史料館
30		○	○	尼子勝久感状(「鳥取県立博物館所蔵文書」)	元亀元年7月22日	館蔵
31		○	○	尼子勝久書状(「尼子家文書」)	(元亀2年カ)3月5日	個人蔵
32		○	○	毛利元秋書状(「野村家文書」)	(元亀2年カ)7月2日	古代出雲歴史博物館
33		○	○	毛利輝元書状(「野村家文書」)	(天正元年)9月26日	古代出雲歴史博物館
34	県指定	○	○	南条元統書状(「浅津文書」)	(天正3年)9月12日	館蔵

35		○	○	私都城絵図(「因伯古城跡図志」)	文政元年	館蔵
	県指定	○	○	尼子義久安堵状(「定光寺文書」)	永禄5年2月10日	定光寺
36		○	○	吉川元春書状(「中村家文書」)	(天正3年)10月21日	個人蔵(当館寄託)
37	重文	○		塩冶高書状(「吉川家文書」)	(天正3年カ)3月7日	吉川史料館
38	重文		○	山名豊国書状(「吉川家文書」)	(天正3年)3月21日	吉川史料館
39	重文	○		八木豊信・同信慶連署状(「吉川家文書」)	(天正3年)8月25日	吉川史料館
40	重文		○	垣屋豊統書状(「吉川家文書」)	2月24日	吉川史料館
41	重文		○	毛利輝元書状(「鰐淵寺文書」)	(天正4年カ)5月24日	鰐淵寺
42	重文	○		武田豊信書状(「鰐淵寺文書」)	(天正4年カ)7月4日	鰐淵寺
43		○	○	毛利豊元宛行状写(「因幡民談記」所収文書)	天正5年12月21日	館蔵
44	重文	○		山中幸盛書状(「吉川家文書」)	天正6年7月8日	吉川史料館
45	重文	○	○	鉄鑄十二間筋兜(伝山中幸盛所要)		吉川史料館
46		○	○	某感状(「進家文書」)	天正6年7月6日	個人蔵
参考			○	興幸感状(「進家文書」)	永禄13年2月25日	個人蔵
参考			○	興幸袖判日野秀清・進幸経連署書状(「進家文書」)	永禄13年3月14日	個人蔵
参考			○	某政幸感状(「進家文書」)	(天正8・9カ)7月24日	個人蔵
47		○	○	南条信正等連署状(「三朝区有文書」)	天正7年5月11日	三朝町(当館寄託)
48	県指定	○	○	森脇春親他二名連署状(「方見神社文書」)	(天正8年)9月22日	館蔵
49	県指定	○	○	南条元統書状(「浅津文書」)	天正8年12月11日	個人蔵(当館寄託)
50	県指定	○	○	吉川元春寄進状(「加知弥神社文書」)	天正9年2月9日	加知彌神社(当館寄託)
51	県指定	○	○	羽柴秀吉書状(「秋田政蔵所蔵文書」)	天正9年9月□日	館蔵
参考		○	○	吉川経家書状(レプリカ)		館蔵(元蔵吉川史料館)
52		○	○	鷲峯村古絵図		鳥取市鹿野総合支所(あおや郷土館寄託)
53		○	○	羽衣石城絵図(「因伯古城跡図志」)	文政元年	館蔵
54		○	○	木造三重小塔一基	応永13年	山口市歴史民俗資料館
55		○	○	毛利輝元書状(「古畑勉氏所蔵文書」)	(天正12年カ)10月16日	個人蔵
56	県指定	○	○	吉川元春書状(「宮本家文書」)	天正13年	館蔵
57		○	○	長田庄八幡宮棟札	天正13年10月	長田神社
58	県指定	○	○	刀銘守貞	天正2年2月12日	個人蔵
59		○	○	新興寺木造延命観音座像	天正13年	新興寺

Ⅲ．戦国期因伯の文化・経済

No.	指定	前期	後期	資料名	年月日	所蔵
60		○	○	脇差銘因州住景長		館蔵
61		○	○	槍銘因州小幡住景家作		館蔵
62		○	○	刀銘伯州住広賀作		館蔵
63		○	○	短刀銘伯州住廣賀作		館蔵
64		○	○	霞之要害出土遺物	16C	日南町教育委員会
65		○	○	呪符(前田遺跡出土)		鳥取市教育委員会
66		○	○	伯耆国久米郡曲り村(谷本)庄兵衛願書控		個人蔵
67		○	○	木原善棟讓状(「佐々木文書」)	文明12年2月15日	個人蔵(鳥取市歴史博物館寄託)
68		○	○	榊山八幡宮能面	天文4年11月日	榊山八幡宮
69		○	○	藤森藤兵衛売券(「永田家文書」)	天正17年12月27日	個人蔵(当館寄託)
70		○	○	御取納丁銀	永禄2年	古代出雲歴史博物館
71		○	○	宇井八郎左衛門尉苗代開発証状(「佐々木文書」)	天正9年3月10日	海とくらしの史料館
72		○	○	宮内遺跡埋蔵銭	16C～17C前半	日南町教育委員会
73		○	○	下坂本遺跡出土埋蔵銭(レプリカ)	16C	鳥取県埋蔵文化財センター

IV. 鳥取藩池田家・藩士たちの乱世

No.	指定	前期	後期	資料名	年月日	所蔵
74	県指定	○	○	池田恒興画像	近世	館蔵
75		○	○	銀箔頭巾形兜(伝池田恒興所用)		館蔵
76		○	○	黒蠟色塗異形張懸兜		館蔵
参考		○	○	床几(伝池田恒興所用)		館蔵
77		○	○	薙刀直し脇差 無銘(鯨尾之脇差)		館蔵
78		○	○	池田恒興宛行状写(「天野文書」)	天正9年10月2日	個人蔵
79		○	○	池田輝政書状(「臼井家資料」)	(天正12年) 5月3日	館蔵
80		○	○	臼井藤丸肖像画(「臼井家資料」)		館蔵
81	県指定	○	○	池田輝政画像		館蔵
82		○	○	池田輝政書状(「津田家文書」)	慶長6年11月3日	宝珠丸
83		○	○	甲冑(津田伝右衛門所有)		宝珠丸
84		○	○	豊臣秀吉朱印状(「菅家文書」)	(天正17年) 12月5日	個人蔵(当館寄託)
85		○	○	豊臣秀吉朱印状(「菅家文書」)	慶長3年1月17日	当館寄託
86		○	○	豊臣秀吉書状写(「天野家文書」)	(年未詳) 9月24日	当館借用
87		○	○	浦上政宗書状(「山田家資料」)	天文22年11月21日	館蔵
88		○	○	浦上則宗書状(「加須屋家文書」)	明応5年9月12日	個人蔵(当館寄託)
89		○	○	赤松政村感状(「加須屋家文書」)	(天文年間) 10月16日	個人蔵(当館寄託)
90		○	○	羽柴秀吉宛行状(「加須屋家文書」)	天正11年1月12日	個人蔵(当館寄託)
91		○	○	羽柴秀吉知行目録(「加須屋家文書」)	天正11年11月2日	個人蔵(当館寄託)
92		○	○	豊臣秀吉朱印状(「加須屋家文書」)	(年未詳) 9月22日	個人蔵(当館寄託)
93		○	○	豊臣秀吉朱印状(「加須屋家文書」)	(年未詳) 10月11日	個人蔵(当館寄託)
94		○	○	槍 銘 義助(糟谷武則所用)		個人蔵(当館寄託)
95		○	○	豊臣秀次宛行状(「尼子家文書」)	天正18年9月24日	個人蔵
96		○	○	後醍醐天皇綸旨(「名和家文書」)	建武2年5月28日	名和神社(当館寄託)
97		○	○	豊臣秀吉朱印状(「名和家文書」)		名和神社(当館寄託)
98		○	○	小早川隆景感状(「名和家文書」)	天正16年8月12日	名和神社(当館寄託)

●「東郷青児と前田寛治、ふたつの道」

会 期 令和3年11月20日(土)～12月26日(日)

休館日:12月6日(月)開館日数36日間

会 場 鳥取県立博物館 第1・2特別展示室

入館者数 3,683人

主 催 東郷・前田展実行委員会(鳥取県立博物館、山陰中央テレビジョン放送株式会社)

特別協力 SOMPO美術館、損保ジャパン

協 賛 日本通運株式会社、株式会社モリックスジャパン、株式会社吉備総合電設、三和商事株式会社、鳥取県情報センター

入館料 一般800円(前売・団体・大学生・70歳以上600円)

内 容 旧称を「東郷青児記念 損保ジャパン日本興亜美術館」とするSOMPO美術館は、その名のとおり洋画家・東郷青児(とうごう・せいじ 1897年～1978年)の作品約240点を核に、東郷に関係する日本・フランスの画家の作品を多数収蔵している。鳥取県と損保ジャパンとの包括連携協定に基づく取り組みとして開催した本展では、SOMPO美術館のコレクションから45点の作品と、約390点の前田寛治(まえた・かんじ 1896年～1930年)作品および前田と関係のあった画家たちの作品を積極的に収集してきた鳥取県立博物館のコレクションから55点の作品を選び、併せて紹介した。作風の全く異なる東郷と前田二人の仕事を実際立たせながら、彼らが出会った日本とフランスの画家たちの作品にも焦

点を当て、近代日本の洋画家たちが追い求め、築こうとしたものとは何だったのかをあらためて見つめ直す機会とした。

〈関連行事〉

(1) ギャラリートーク (担当学芸員による展示解説)

日 時 11月20日(土)、12月4日(土)、12月18日(土) 14:00～15:00
 会 場 企画展会場
 参加人数 合計97人

(2) アートシアター

「世界のグレートアーティスト／パリの特別美術展」シリーズより6つのプログラムを上映

日 時 11月27日(土)、12月11日(土)、12月25日(土) 14:00～15:00
 会 場 講堂
 参加人数 合計62人

〈出品目録〉

第1章 渡欧前、出会いの時代

No.	作家名	作品名	制作年代	技法・材質	収蔵先等
1	東郷 青児	自画像	1914	油彩・板	SOMPO美術館所蔵
2	東郷 青児	コントラバスを弾く	1915	油彩・キャンヴァス	SOMPO美術館所蔵
3	東郷 青児	パラソルさせる女	1916	油彩・キャンヴァス	SOMPO美術館収蔵(一般財団法人陽山美術館より寄託)
4	前田 寛治	花と子供等	1921	油彩・キャンヴァス	鳥取県立博物館所蔵
5	前田 寛治	立てる子供	1922	油彩・キャンヴァス	鳥取県立博物館所蔵
6	林 武	顔	1927	油彩・キャンヴァス	鳥取県立博物館所蔵
7	有島 生馬	黒衣の女	1909	油彩・キャンヴァス	SOMPO美術館所蔵
8	有島 生馬	宮の下残雪	1934	油彩・キャンヴァス	SOMPO美術館所蔵
9	森岡 柳蔵	巴里市外 セーブル公園にて	1922	油彩・キャンヴァス	鳥取県立博物館所蔵
10	森岡 柳蔵	山畑(ベトーユ村)	1923	油彩・キャンヴァス	鳥取県立博物館所蔵
11	中井 金三	休息	1909頃	油彩・キャンヴァス	鳥取県立博物館所蔵
12	中井 金三	浴衣の女	制作年不詳	油彩・キャンヴァス	鳥取県立博物館所蔵

第2章 滞欧期、交流の時代

No.	作家名	作品名	制作年代	技法・材質	収蔵先等
13	東郷 青児	巴里の女	1922	油彩・キャンヴァス	SOMPO美術館所蔵
14	東郷 青児	バンティミーユの女	1922	油彩・キャンヴァス	SOMPO美術館所蔵
15	東郷 青児	村の祭	1923	油彩・キャンヴァス	SOMPO美術館所蔵
16	東郷 青児	ビルヌーブ・ルーベ	1923	油彩・キャンヴァス	SOMPO美術館所蔵
17	東郷 青児	ラケット	1925	油彩・キャンヴァス	SOMPO美術館所蔵
18	東郷 青児	ピエロ	1926	油彩・キャンヴァス	SOMPO美術館所蔵
19	前田 寛治	ゴッホの墓	1923	油彩・キャンヴァス	鳥取県立博物館寄託
20	前田 寛治	静物	1923	油彩・キャンヴァス	鳥取県立博物館所蔵
21	前田 寛治	物を喰う男	1924	油彩・キャンヴァス	鳥取県立博物館所蔵
22	前田 寛治	男の像	1924	油彩・キャンヴァス	鳥取県立博物館所蔵
23	前田 寛治	街の風景	1924	油彩・キャンヴァス	鳥取県立博物館所蔵
24	前田 寛治	メーデー	1924頃	油彩・キャンヴァス	個人蔵
25	前田 寛治	ブルターニュの女	1925	油彩・キャンヴァス	個人蔵
26	前田 寛治	風景	1925	油彩・キャンヴァス	鳥取県立博物館所蔵
27	前田 寛治	セイヌ河畔の春	1925	油彩・キャンヴァス	鳥取県立博物館所蔵
28	前田 寛治	フランス風景	1925	油彩・キャンヴァス	鳥取県立博物館所蔵

29	前田 寛治	裸婦	1925	油彩・キャンヴァス	鳥取県立博物館所蔵
30	前田 寛治	西洋婦人像	1925頃	油彩・キャンヴァス	鳥取県立博物館所蔵
31	前田 寛治	仰臥裸婦	1925	油彩・キャンヴァス	鳥取県立博物館所蔵
32	ギュスターヴ・クールベ	まどろむ女(習作)	1852頃	油彩・キャンヴァス	鳥取県立博物館所蔵
33	ポール・ゴーギャン	アリスカンの並木道、アルル	1888	油彩・キャンヴァス	SOMPO美術館収蔵(損保ジャパンより寄託)
34	ピエール＝オーギュスト・ルノワール	帽子の娘	1910	油彩・キャンヴァス	SOMPO美術館収蔵(損保ジャパンより寄託)
35	モーリス・ド・ヴラマンク	赤い屋根	1912~ 14	油彩・キャンヴァス	鳥取県立博物館所蔵
36	モーリス・ユトリロ	モンマルトルのミニ＝パンソンの家とサクレ＝クール寺院、モン＝スニ通り(モンマルトルのサクレ＝クール寺院)	1925	油彩・キャンヴァス	SOMPO美術館収蔵(損保ジャパンより寄託)
37	里見 勝蔵	マリーヌの記念	1924	油彩・キャンヴァス	鳥取県立博物館所蔵
38	佐伯 祐三	オーヴェールの教会	1924頃	油彩・キャンヴァス	鳥取県立博物館所蔵
39	小島 善太郎	テレサの像	1924	油彩・キャンヴァス	鳥取県立博物館所蔵
40	児島 善三郎	鏡の前の裸婦	1925	油彩・キャンヴァス	鳥取県立博物館所蔵
41	伊原 宇三郎	フランス・ノルマンディー・エトルタ	1926	油彩・キャンヴァス	鳥取県立博物館所蔵
42	伊原 宇三郎	室内婦人像	1926~ 27	油彩・キャンヴァス	鳥取県立博物館所蔵
43	中山 巍	椅子に座る女	1927	油彩・キャンヴァス	鳥取県立博物館所蔵
44	ジョルジュ・ブラック	静物	1923	アクアティント、メゾチント・紙	鳥取県立博物館所蔵(垣田堅二郎コレクション)
45	パブロ・ピカソ	抱擁	1933	ドライポイント・紙	SOMPO美術館所蔵
46	ジョルジュ・ルオー	『悪の華』のために版刻された14図Ⅰ-悪魔	1926	エリオグラヴュール、シュガーアクアティント、ドライポイント・紙	SOMPO美術館所蔵
47	ジョルジュ・ルオー	『悪の華』のために版刻された14図Ⅱ-辱しめを受けるキリスト	1926	エリオグラヴュール、シュガーアクアティント、ドライポイント・紙	SOMPO美術館所蔵
48	ジョルジュ・ルオー	『悪の華』のために版刻された14図Ⅲ-キリスト	1927	エリオグラヴュール、シュガーアクアティント、ドライポイント・紙	SOMPO美術館所蔵
49	ジョルジュ・ルオー	『悪の華』のために版刻された14図Ⅳ-悪の華	1926	エリオグラヴュール、シュガーアクアティント、ドライポイント・紙	SOMPO美術館所蔵
50	ジョルジュ・ルオー	『悪の華』のために版刻された14図Ⅴ-横向きの裸婦	1926	エリオグラヴュール、シュガーアクアティント、ドライポイント・紙	SOMPO美術館所蔵
51	ジョルジュ・ルオー	『悪の華』のために版刻された14図Ⅵ-「肌黒きわが美女よ、君、眠りて…」	1927	エリオグラヴュール、ドライポイント・紙	SOMPO美術館所蔵
52	ジョルジュ・ルオー	『悪の華』のために版刻された14図Ⅶ-悪魔Ⅱ	1926	エリオグラヴュール、ドライポイント・紙	SOMPO美術館所蔵
53	ジョルジュ・ルオー	『悪の華』のために版刻された14図Ⅷ-悪魔Ⅲ	1926	エリオグラヴュール、エッチング、ドライポイント・紙	SOMPO美術館所蔵
54	ジョルジュ・ルオー	『悪の華』のために版刻された14図Ⅸ-骸骨	1926	エリオグラヴュール、シュガーアクアティント・紙	SOMPO美術館所蔵
55	ジョルジュ・ルオー	『悪の華』のために版刻された14図Ⅹ-「辻々に売春の灯がともる…」	1927	エリオグラヴュール、アクアティント、ドライポイント・紙	SOMPO美術館所蔵
56	ジョルジュ・ルオー	『悪の華』のために版刻された14図Ⅺ-「生者並みに誇高く、われとわが貴なる姿を誇りつつ…」	1927	エリオグラヴュール、アクアティント、シュガーアクアティント・紙	SOMPO美術館所蔵
57	ジョルジュ・ルオー	『悪の華』のために版刻された14図Ⅻ-悪魔Ⅳ	1926	エリオグラヴュール、シュガーアクアティント、ドライポイント・紙	SOMPO美術館所蔵
58	ジョルジュ・ルオー	『悪の華』のために版刻された14図Ⅼ-「<放蕩>と<死>は…」	1926	エリオグラヴュール、ドライポイント、エッチング・紙	SOMPO美術館所蔵

59	ジョルジュ・ルオー	『「悪の華」のために版刻された14図』XIV-「眉目美わしく、姿あでやかな女なり…」	1927	エリオグラヴュール、アクアティント、シュガーアクアティント、ドライポイント・紙	SOMPO美術館所蔵
60	ジョルジュ・ルオー	十字架のキリスト	1936	アクアティント・紙	鳥取県立博物館所蔵(垣田堅二郎コレクション)
61	ジョルジュ・ルオー	自画像Ⅲ	1926	リトグラフ・紙	鳥取県立博物館所蔵(垣田堅二郎コレクション)
62	モーリス・ドニ	抱き合うクレールとポール	1942	リトグラフ・紙	SOMPO美術館所蔵
63	マルク・シャガール	よく見る夢	1969	リトグラフ・紙	SOMPO美術館所蔵

第3章 帰国後のふたり、そして彼らの周辺の画家たち

No.	作家名	作品名	制作年代	技法・材質	収蔵先等
64	東郷 青児	超現実派の散歩	1929	油彩・キャンヴァス	SOMPO美術館所蔵
65	東郷 青児	窓	1929	油彩・キャンヴァス	SOMPO美術館所蔵
66	東郷 青児	黒い手袋	1933	油彩・キャンヴァス	損保ジャパン所蔵
67	東郷 青児	紫	1939	油彩・キャンヴァス	損保ジャパン所蔵
68	東郷 青児	渴	1953	油彩・キャンヴァス	SOMPO美術館所蔵
69	東郷 青児	漁村	1954	油彩・キャンヴァス	損保ジャパン所蔵
70	東郷 青児	花籠	1958	油彩・キャンヴァス	損保ジャパン所蔵
71	東郷 青児	モロッコの娘	1967	油彩・キャンヴァス	SOMPO美術館所蔵
72	古賀 春江	失題	1926頃	油彩・キャンヴァス	鳥取県立博物館所蔵
73	岡田 謙三	バルコン	1932	油彩・キャンヴァス	SOMPO美術館所蔵
74	岡田 謙三	少女	1933	油彩・キャンヴァス	SOMPO美術館所蔵
75	中川 紀元	東郷青児像	1952	油彩・キャンヴァス	SOMPO美術館所蔵
76	中川 紀元	風景	1963	油彩・キャンヴァス	SOMPO美術館所蔵
77	鍋井 克之	梅雨時の東郷湖	1937	油彩・キャンヴァス	鳥取県立博物館所蔵
78	藤田 嗣治	猫と少女	1951頃	油彩・キャンヴァス	SOMPO美術館収蔵(損保ジャパンより寄託)
79	藤田 嗣治	小川の橋	1960頃	油彩・板	SOMPO美術館収蔵(損保ジャパンより寄託)
80	香田 勝太	花模様のドレス	1926~29	油彩・ボードキャンヴァス	鳥取県立博物館所蔵
81	香田 勝太	ノートルダム・ド・パリ	1928	油彩・板	鳥取県立博物館所蔵
82	木下 孝則	婦人像	1926	油彩・キャンヴァス	鳥取県立博物館所蔵
83	里見 勝蔵	石膏のある静物	1927	油彩・キャンヴァス	鳥取県立博物館所蔵
84	前田 寛治	仰臥裸婦	1926	油彩・キャンヴァス	鳥取県立博物館所蔵
85	前田 寛治	福本和夫氏像	1927	油彩・キャンヴァス	鳥取県立博物館所蔵
86	前田 寛治	少女と子供	1927	油彩・キャンヴァス	鳥取県立博物館所蔵
87	前田 寛治	横臥裸婦	1928	油彩・キャンヴァス	鳥取県立博物館所蔵
88	前田 寛治	自画像	1928頃	油彩・キャンヴァス	鳥取県立博物館所蔵
89	前田 寛治	自画像	1928頃	油彩・キャンヴァス	鳥取県立博物館所蔵
90	前田 寛治	棟梁の家族	1928	油彩・キャンヴァス	鳥取県立博物館所蔵
91	前田 寛治	籠の静物	1929	油彩・キャンヴァス	鳥取県立博物館所蔵
92	前田 寛治	海	1929	油彩・キャンヴァス	鳥取県立博物館所蔵
93	木下 義謙	M氏の肖像	1927	油彩・キャンヴァス	鳥取県立博物館所蔵
94	長谷川 利行	婦人像(前田寛治婦人像)	1937	油彩・キャンヴァス	鳥取県立博物館所蔵
95	鈴木 千久馬	卓上静物	1926頃	油彩・キャンヴァス	鳥取県立博物館所蔵
96	鈴木 千久馬	モンマルトル風景	1928	油彩・キャンヴァス	鳥取県立博物館所蔵
97	川口 軌外	群像	制作年不詳	水彩・紙	鳥取県立博物館所蔵
98	川口 軌外	花	1932	油彩・キャンヴァス	鳥取県立博物館所蔵
99	林 武	裸婦	1931	油彩・キャンヴァス	鳥取県立博物館所蔵
100	林 武	静物	1952	油彩・キャンヴァス	鳥取県立博物館所蔵

●「小早川秋聲 旅する画家の鎮魂歌（レクイエム）」

会 期	令和4年2月11日（金）～3月21日（月）[34日間] 前期展示：2月11日（金）～27日（日）、後期展示：3月1日（火）～21日（月） ※休館日：2月14日（月）、21日（月）、28日（月）、3月7日（月）、14日（月） 開館日数34日間
会 場	鳥取県立博物館 第1・2特別展示室
入館者数	2,607人
主 催	小早川秋聲展実行委員会（鳥取県立博物館、山陰中央テレビジョン放送株式会社）、ライブエグザム
特別協力	京料理 濱登久
協 力	日南町美術館
オフィシャルロジステクspartner	TERRADA ART ASSIST 株式会社
協 賛	日本通運株式会社、株式会社モリックスジャパン、株式会社吉備総合電設、三和商事株式会社、鳥取県情報センター
入 館 料	一般800円（団体、大学生、70歳以上600円） ※次の方は無料：高校生以下、学校教育活動での引率者、障がいのある方・難病患者の方・要介護者等及びその介護者
内 容	日本画壇における代表的な従軍画家の一人として知られる小早川秋聲（1885-1974）の没後初となる全国巡回の大規模回顧展を行った。秋聲は日野郡黒坂村（現日野町）光徳寺住職の長男として神戸に生まれ、画家になることを志して谷口香嶠と山元春拳に師事。20代で中国へ渡って東洋美術を研究し、その後、1920年代に欧州各国を旅して西洋美術を学び、また、北米を横断するなど、世界中を渡り歩く傍ら、文展、帝展などで活躍した。1931年以後は戦争画制作に力を入れ、従軍画家として活動し、特に1944年の代表作《國之楯》は、近年各メディアで取り上げられ、注目を受けた。終戦後は展覧会への出品を控え、1974年に88歳で没した。本展は、個人コレクションを中心に、小早川秋聲の代表作、初公開の作品含め初期から晩年までの作品100点あまりと資料を展示した。秋聲の生涯を概観するとともに、「抒情ロマンチズム」と評された抒情的で異国情緒漂う作品の数々より、従軍画家という一側面に留まらない豊かな画業を紹介すること目的とした。

〈関連行事〉

- (1) 特別講演会①「小早川秋聲が尋ね求めたもの」
- | | |
|------|---------------------|
| 日 時 | 3月12日（土）14：00～15：30 |
| 会 場 | 鳥取県立博物館講堂 |
| 講 師 | 松竹京子氏（小早川秋聲研究家） |
| 参加人数 | 62人 |
- (2) 特別講演会②「小早川秋聲の画業と《國之楯》」
- | | |
|------|---------------------|
| 日 時 | 3月19日（土）14：00～15：30 |
| 会 場 | 鳥取県立博物館講堂 |
| 講 師 | 植田彩芳子氏（京都文化博物館学芸員） |
| 参加人数 | 45人 |

(3) ギャラリートーク (担当学芸員による展示解説)

日 時 2月12日(土)、3月12日(土) 14:00～15:00
会 場 企画展会場
参加人数 65人

(4) スペシャルアートツアー「小早川秋聲ゆかりの地を巡る旅 in 奥日野」

日 時 3月5日(土) 第一部「黒坂編」11:00～12:30
第二部「日南町美術館編」14:00～15:00

ナビゲーター 浅田裕子氏(日南町美術館主任学芸員)、青戸貴子氏(米子市美術館副館長)、
山田修平(当館担当学芸員)

参加人数 10人

〈出品目録〉

第1章 はじまり—京都での修行時代

No.	作品名	制作年	材質技法	員数	所蔵	
1	山中鹿之助三日月を拝する之図	1902(明治35)年頃	紙本着色	1面	日野町(鳥取県)	
2	露営之図	1906(明治39)年頃	絹本着色	1面	日野町(鳥取県)	
3	面合わせ	1905-09(明治38-42)年頃	紙本淡彩	1面	個人蔵	
4	するめといわし	1909(明治42)年頃	紙本着色	1面	個人蔵	
5	小督	明治末期-大正期	絹本着色	1幅	個人蔵	前期
6	譽之的	明治末期-大正期	絹本着色	1幅	個人蔵	後期
7	楠公父子	明治末期-大正期	絹本着色	2幅	個人蔵	
8	夜談	大正期	絹本着色	1幅	個人蔵	前期
t-1	静御前	1905-09(明治38-42)年頃	絹本着色	1幅	個人蔵	後期
9	清夢	明治末期-大正初期	絹本淡彩	1幅	個人蔵	後期
10	回廊	1914(大正3)年頃	絹本着色	1幅	鳥取県立博物館	前期
11	長江所見	1916(大正5)年	絹本着色	1幅	個人蔵	

第2章 旅する画家—異文化との出会い

No.	作品名	制作年	材質技法	員数	所蔵	
12	玩具絵巻	1916(大正5)年	絹本着色	3巻	鳥取県立博物館	
13	裏日本所見画譜	1918(大正7)年	絹本淡彩	22枚	個人蔵	
資料	『裏日本所見画譜』	1918(大正7)年	紙、印刷	1冊	個人蔵	
16	天	1919(大正8)年頃	絹本着色	1幅	個人蔵	
19	旧山河(フルサト)	1919(大正8)年	絹本着色	六曲一双	鳥取県立博物館	
資料	『蝦夷地の旅から』	1920(大正9)年	紙、印刷	1冊	鳥取県立博物館	
14	くままつり北海道巡歴中所見	1920(大正9)年	絹本淡彩	1幅	個人蔵	
15	追分物語	1929(昭和4)年	絹本着色	六曲一隻	個人蔵	
t-2	つぼみ	大正後期	絹本着色	1幅	個人蔵	
17	菊童子・東方朔	1919(大正8)年	絹本着色	2幅	個人蔵	
18	恋知り初めて	大正期	画布着色	1面	個人蔵	
t-3	犬(仮題)	大正期-昭和初期	絹本着色	1面	個人蔵	
t-4	早春(仮題)	大正期	絹本淡彩	1幅	個人蔵	
21	語られぬなやみ	1921(大正10)年	画布着色	二曲一隻	日南町美術館	
t-5	春宵	大正期-昭和初期	絹本着色	2幅	個人蔵	
20	絲綢之路	大正期	紙本墨画淡彩	六曲一双	鳥取県立博物館	
22	出山之釈尊	1921(大正10)年	絹本着色	1幅	個人蔵	
23	南欧スケッチ	1922(大正11)年, 1924(大正13)年補筆	絹本着色	1幅	個人蔵	
40	巴里所見	1925(大正14)年	絹本着色	1幅	個人蔵	

41	伊太利所見	大正後期-昭和初期	絹本着色	1幅	個人蔵	前期
t-6	平和	昭和初期	絹本着色	1幅	個人蔵	後期
24	満州吉林松花江 秋月	1923-24 (大正12-13)年頃	絹本着色	1枚	個人蔵	
25	蒙古ゴビ砂漠暁月 キャラバン隊	1923-24 (大正12-13)年頃	絹本着色	1枚	個人蔵	
26	台湾蕃社の月	1923-24 (大正12-13)年頃	絹本着色	1枚	個人蔵	
27	香港絃月	1923-24 (大正12-13)年頃	絹本着色	1枚	個人蔵	
28	印度ダジ・マハールの満月	1923-24 (大正12-13)年頃	絹本着色	1枚	個人蔵	
29	エジプトカイロ夕月	1923-24 (大正12-13)年頃	絹本着色	1枚	個人蔵	
30	エジプトミイラの回想	1923-24 (大正12-13)年頃	絹本着色	1枚	個人蔵	
31	エジプトカルナックアイシス宮殿趾の月	1923-24 (大正12-13)年頃	絹本着色	1枚	個人蔵	
32	ナポリベスピアスの夕月	1923-24 (大正12-13)年頃	絹本着色	1枚	個人蔵	
33	伊太利ナポリベスピアスの夕月	1923-24 (大正12-13)年頃	絹本着色	1枚	個人蔵	
34	伊太利ベスピアス山 夕月流浪楽人	1923-24 (大正12-13)年頃	絹本着色	1枚	個人蔵	
35	シシリー島ジェルジエンチ宮殿趾の月	1923-24 (大正12-13)年頃	絹本着色	1枚	個人蔵	
36	伊太利ローマコロセタ月	1923-24 (大正12-13)年頃	絹本着色	1枚	個人蔵	
37	伊太利ベニスカナルの月	1923-24 (大正12-13)年頃	絹本着色	1枚	個人蔵	
38	南欧ニースの曇月	1923-24 (大正12-13)年頃	絹本着色	1枚	個人蔵	
39	グリーンランドの氷山の月	1923-24 (大正12-13)年頃	絹本着色	1枚	個人蔵	
資料	本山彦一宛書簡	1919 (大正8)年5月30日	紙本墨書	1通	個人蔵	
資料	本山彦一宛書簡	1919 (大正8)年10月7日	紙本墨書	1通	個人蔵	
資料	小早川好古(景若丸)宛葉書	1921 (大正10)年5月27日	紙、インク	1枚	個人蔵	
資料	伊達弥助宛葉書	1922 (大正11)年6月17日	紙、インク	1枚	個人蔵	
資料	小早川好古(景若丸)宛葉書	不詳	紙、インク	1枚	個人蔵	
資料	小早川好古(景若丸)宛葉書	1923 (大正12)年2月27日	紙、インク	1枚	個人蔵	
42	孤鹿・ささやき(《文殻を焼いて》のうち)	1923 (大正12)年	絹本着色	2幅	個人蔵	
43	薫風	1924 (大正13)年	絹本着色	六曲一双	個人蔵	前期
t-7	薫風	1924 (大正13)年頃	絹本着色	六曲一双	鳥取県立博物館	後期
44	富士図扇面(東本願寺裏方結婚記念)	1924 (大正13)年	木製着色	1面	ギャラリー 鐵齋堂	
45	達磨	1924 (大正13)年	紙本淡彩	1幅	個人蔵	前期
59	微笑	1930-37 (昭和5-12)年頃	紙本淡彩	1幅	個人蔵	後期
57	平和	1928 (昭和3)年	絹本着色	1幅	個人蔵	
51	万相有情歌僧圓位	1927 (昭和2)年, 1962 (昭和37)年補筆	絹本着色	二曲一隻	個人蔵	
47	氷雨降る宵	大正後期	絹本着色	2幅	鳥取県立博物館	
46	紅頭嶼所見	1925 (大正14)年頃	絹本着色	1幅	個人蔵	
48	未来	1926 (大正15)年	絹本着色	1面	個人蔵	
49	玩具	大正期	紙本着色	1面	個人蔵	
50	法華経を説く聖徳太子像	1926 (大正15)年	紙本着色	1面	個人蔵	
55	米国グラントキャニオン暁月	昭和初期	絹本着色	1枚	個人蔵	前期
56	USAグラントキャニオン	昭和初期	絹本着色	1枚	個人蔵	後期
60	愷陣	1930 (昭和5)年	紙本着色	二曲一隻	個人蔵	
58	黙	1930 (昭和5)年	紙本着色	二曲一隻	個人蔵	
t-8	陵王(仮題)	昭和初期	紙本着色	二曲一隻	個人蔵	
61	春雨に煙る	昭和初期	絹本着色	1幅	個人蔵	
63	長崎へ航く	1931 (昭和6)年	絹本着色	1面	個人蔵	
62	五月晴	1931 (昭和6)年頃	絹本着色	1幅	個人蔵	
資料	『秋聲選集』		紙、印刷	1冊	鳥取県立博物館	
資料	『秋聲自選画集』		紙、印刷	5冊	鳥取県立博物館	
資料	『私の写真輯』			1冊	個人蔵	
資料	『秋聲ノート』			2冊	個人蔵	

第3章 従軍画家として—《國之楯》へと至る道

No.	作品名	制作年	材質技法	員数	所蔵	
65	神境高千穂	1932 (昭和7)年頃	絹本著色	1 幅	圓重寺	
t-9	夜景(仮題)	大正期	絹本着色	1 幅	個人蔵	前期
t-10	歓楽	昭和初期	絹本着色	1 幅	個人蔵	後期
53	風呂屋	1935 (昭和10)年	絹本著色	1 面	個人蔵	
64	絶目盡吾郷(成吉斯汗)	1932 (昭和7)年	紙本著色	1 面	個人蔵	
67	護国	1934 (昭和9)年	絹本著色	1 面	個人蔵	
68	回顧	1935 (昭和10)年	紙本著色	1 面	個人蔵	
71	寿老人之図	1935- 45 (昭和10- 20)年頃	絹本著色	1 幅	個人蔵	前期
72	細雨蕭々	1935- 45 (昭和10- 20)年頃	絹本著色	1 幅	個人蔵	後期
52	雪舟	昭和初期	絹本著色	1 幅	圓重寺	前期
54	寂支那客中所見	昭和初期	絹本著色	1 幅	日南町美術館	後期
70	終生不倒	1935- 45 (昭和10- 20)年頃	紙本墨画著色	1 面	日野町(鳥取県)	
66	弓ヶ浜之晴嵐	1933 (昭和8)年頃	紙本淡彩	1 幅	個人蔵	
69	御旗	1934 (昭和9)年	紙本著色	二曲一隻	京都靈山護国神社 (日南町美術館寄託)	
79	護之図	1937 (昭和12)年	紙本淡彩	1 幅	個人蔵	前期
74	軍艦	1935- 45 (昭和10- 20)年頃	絹本著色	1 幅	個人蔵	後期
77	噫荒木中尉	1935 (昭和10)年	絹本墨画	1 面	個人蔵	
78	従軍所見	1937- 38 (昭和12- 13)年頃	絹本著色	1 面	個人蔵	
80	疾風之図	1938 (昭和13)年	絹本著色	1 面	個人蔵	
73	満州夜営	1935 (昭和10)年頃	絹本著色	1 枚	個人蔵	
81	虫の音	1938 (昭和13)年	紙本著色	1 面	個人	
資料	『北満時局スケッチ』	1934 (昭和9)年	紙、印刷	1 冊	鳥取県立博物館	
資料	『秋聲軍事画之譜』		紙、印刷	1 冊	個人蔵	
76	護国の英霊	1935 (昭和10)年	絹本著色	1 面	京都靈山護国神社	
82	浄魂	1939 (昭和14)年	紙本著色	1 面	京都靈山護国神社 (日南町美術館寄託)	
83	日本刀	1940 (昭和15)年	紙本著色	二曲一隻	京都靈山護国神社 (日南町美術館寄託)	
85	三日月兜の譽尼子家之勇将山中鹿之介幸盛	1940 (昭和15)年頃	絹本著色	2 幅	個人蔵	
84	富士図	1940 (昭和15)年頃	紙本著色	二曲一雙	ギャラリー 鐵齋堂	
88	国旗は輝く	1941 (昭和16)年	紙本著色	1 幅	個人蔵	前期
75	戦友	1935- 45 (昭和10- 20)年頃	絹本著色	1 幅	個人蔵	後期
86	旭光静波	1940 (昭和15)年	絹本著色	1 幅	個人蔵	
87	祈願	1940 (昭和15)年頃	絹本著色	1 幅	個人蔵	
資料	絵葉書		紙、印刷		個人蔵	
89	業火シンガポールの最後	1942 (昭和17)年	紙本著色	1 面	京都靈山護国神社 (日南町美術館寄託)	
90	北条時宗	1942 (昭和17)年頃	絹本著色	1 面	個人蔵	
91	出陣の前	1944 (昭和19)年	紙本著色	1 面	京都靈山護国神社 (日南町美術館寄託)	
92	國之楯	1944 (昭和19)年, 1968 (昭和43)年改作	紙本墨書	1 通	個人蔵	
93	國之楯(下絵)	1944 (昭和19)年頃	紙本著色	1 枚	個人蔵	

第4章 戦後を生きる—静寂の日々

No.	作品名	制作年	材質技法	員数	所蔵	
104	山を出でます聖	1946 (昭和21)年	絹本著色	1 幅	個人蔵	
t-11	歓喜和楽之図	1947 (昭和22)年	絹本著色	1 幅	彩霞堂,小林 さえこ	

94	蓮如上人教化(御文製作)	1949 (昭和24)年	紙本著色	1面	個人蔵	
95	天下和順	1956 (昭和31)年	絹本著色	1幅	鳥取県立博物館	
99	延寿百歳	1945- 74 (昭和20- 49)年	紙本著色	1幅	圓重寺	前期
100	登龍	1945- 74 (昭和20- 49)年	紙本墨画	1幅	個人蔵	後期
96	聖火は走る	1964 (昭和39)年	紙本著色	1面	個人蔵	
97	聖母子像	1945- 74 (昭和20- 49)年	紙本著色	1面	圓重寺	
98	春寒賜浴	1960 (昭和35)年	絹本著色	1面	個人蔵	
101	吉羊黄初平	1945- 74 (昭和20- 49)年	絹本著色	1幅	圓重寺	
103	慈光	1969 (昭和44)年	紙本著色	1幅	個人蔵	前期
102	不動明王	1969 (昭和44)年	紙本著色	1幅	個人蔵	後期
109	春寒賜浴	1960 (昭和35)年	紙本著色	1幅	ギャラリー 鐵齊堂	前期
105	延寿	1947 (昭和22)年	絹本著色	1幅	圓重寺	後期
t- 12	延寿歎楽	1945- 74 (昭和20- 49)年	絹本著色	1幅	個人蔵	前期
106	慈光普護	1954 (昭和29)年	絹本著色	1幅	個人蔵	後期
107	延年益寿	1945- 74 (昭和20- 49)年	絹本著色	1幅	個人蔵	前期
110	猿候三訓	1945- 74 (昭和20- 49)年	紙本著色	1幅	個人蔵	後期
108	吉祥初平	1954 (昭和29)年	紙本著色	1幅	個人蔵	前期
111	菊花薫	1968 (昭和43)年	紙本著色	1幅	個人蔵	後期
112	書寂	1945- 74 (昭和20- 49)年	紙本墨書	1幅	個人蔵	

4 教育普及活動

※新型コロナウイルス感染症拡散防止の観点で中止した教育普及活動については、実績に“中止”と記載。

※定員欄が空欄のものは、定員の設定がないものである。

区分	部門	テーマ	場所	実施日	定員	実績	
01 移動博物館	計4件					1133	
	自然	計3件					278
		レッドデータブックとっとり	倉吉養護学校	6月2日(水)～ 6月14日(月)		18	
		鳥取県の化石	倉吉養護学校	9月16日(木)～ 9月24日(金)		60	
		レッドデータブックとっとり	気高中学校	12月7日(火)		200	
	人文	計1件					855
不滅の刀～よみがえる伯耆国の 赤羽刀～		北条みらい伝承館	11月27日(土)～ 12月19日(日)		855		
02 移動美術館	計1件(うち1件中止)					0	
	美術	もっと版画りましょう	キナルなんぶ	7月26日(月)～ 8月8日(日)		中止	
03-1 学芸員派遣 (教員用講師・指導助言)	計7件					126	
	自然	計3件					30
		とっとり生物多様性推進センター 一連絡協議会	鳥取県庁議会棟15会 議室	4月27日(火)		12	
		森の博物館を作ろう!	鳥取養護学校	9月14日(火)		15	
		生徒の研究に伴うコマチゴケ調 査	鳥取市栗谷	10月26日(火)	4	3	
	美術	計3件					75
		《ワークショップ》カラフルト ンネルで遊ぼう!	境港市幸神体育館	4月18日(日)		27	
		《教員研修》造形活動の意欲を 高め、子どもたちの気づきや学 びを生かすために大切なこと (ステンシルシートを使って)	米子養護学校	8月25日(水)		25	
		《教員研修》教育センター連携 全教科/対話的で深い学び	鳥取県立博物館講堂、 展示室	11月25日(木)		23	
	普及	計1件					21
令和3年度学校図書館司書研修 会		オンライン	11月16日(火)		21		
03 学芸員派遣	計79件(うち9件中止)					1759	
自然	計44件(うち3件中止)					789	
	馬の山ハイキング～馬の山の野 草を満喫～	湯梨浜町橋津	4月25日(日)	20	20		
	見て触って城山自然ツアー	米子市湊山公園	4月29日(木)	20	24		
	岩美町の自然・歴史巡り	岩美町中央公民館	5月15日(土)	15	中止		
	ハマナス見学会と保護活動	赤碕地区公民館	5月16日(日)		42		
	青谷学(地学)	青谷高校	5月26日(水)		14		
	自然観察会(城原海岸～鴨ヶ磯)	岩美町中央公民館	6月9日(水)	15	中止		
	青谷学(生物)	青谷高校	6月16日(水)		14		
	石の観察会	八頭郡若桜町浅井庄 ノ瀬川原	7月11日(日)	20	21		

区分	部門	テーマ	場所	実施日	定員	実績
03 学芸員派遣	自然	森のシンポジウム～西郷地区の植物たち～	鳥取市立西郷地区公民館	7月18日(日)	40	44
		明治地区野外学習講座～もっと知ろうよ明治の自然～「フィールドワークⅠ松上」	鳥取市立明治地区公民館	7月22日(木)	15	15
		昆虫観察会	禰谷公園	7月24日(土)		25
		植物標本の作り方講座	気高町図書館	7月30日(金)	8	10
		生き物観察会	船岡竹林公園	8月3日(火)		18
		石の観察会	鳥取砂丘子どもの国	8月7日(土)		20
		見て触って城山自然ツアー	米子市湊山公園	8月22日(日)	20	18
		青谷学(地学)	青谷高校	8月26日(木)		14
		ICT機器でつなぐ博物館の企画展見学	博物館展示室	8月26日(木)		17
		石の観察会	鳥取市河原町周辺	8月27日(金)		13
		青谷学(生物)	青谷高校	9月8日(水)		14
		オンライン授業「感じよう作ってみよう」	博物館実験室	9月21日(火)		12
		大滝山自然観察会	倉吉市関金町大滝山	9月25日(土)		14
		野外観察イベント「家族対抗トンボ取りレース」	とっとり出会いの森	9月26日(日)	20	21
		馬の山ハイキング～馬の山の山野草を満喫～	湯梨浜町馬の山	10月2日(土)	15	15
		鳥取で〇〇やってみた	鳥取市青島公園	10月7日(木)	5	5
		立体地図作り	浜坂小学校	10月13日(水)		9
		青谷学(生物)	青谷高校	10月13日(水)		11
		石の観察会	鳥取市河原町和奈見	10月15日(金)		8
		学芸員派遣(地学)	浜村小学校	10月21日(木)		24
		川のはたらきと浜村地区の地形・地質	浜村小学校	10月21日(木)		33
		明治地区森林ウォーク	鳥取市明治地区公民館	10月23日(土)		15
		生きもの観察会	空山ポニー牧場とその周辺	10月29日(金)		8
		野外観察イベント「おちばの中の虫さがし!」	とっとり出会いの森	11月6日(土)		12
		ふれあい部会で実施する植物鑑賞会	かちべ伝承館	11月16日(火)		12
		学芸員派遣(地学)	崎津小学校	11月17日(水)		26
		キャリアメッセージ2021	鳥取大学附属中学校	12月2日(木)		25
		野外観察会「日光池の謎解き観察会」	気高町日光池	12月5日(日)	20	21
		大地のつくりと変化	鳥取市立大正小学校	12月9日(木)		30
		見て触って城山自然ツアー	米子城跡	12月11日(土)		25
第4回山陰海岸ジオパークサイエンスカフェ「浦富海岸の植物と人々の暮らし」	鳥取環境大学英語村	1月23日(日)	20	中止		
冬の野鳥観察	湖山池情報プラザ	2月1日(火)		18		

区分	部門	テーマ	場所	実施日	定員	実績	
03 学芸員派遣	自然	隠岐ユネスコ世界ジオパーク、ガイドスキルアップ講座（オンライン）	オンライン	2月18日（金）		18	
		オシドリとアオネカズラの観察会	根雨神社等	2月19日（土）		12	
		見て触って城山自然ツアー	米子城跡	3月12日（土）		22	
		学芸員派遣（化石からわかること）	気高中学校	3月15日（火）		50	
	人文	計13件（うち4件中止）					280
		古文書解読ボランティア	博物館会議室、倉吉博物館、米子市旧市庁舎	4月 3日（土）・4日（日）		31	
		古文書解読ボランティア	博物館会議室、倉吉博物館、米子市旧市庁舎	5月 1日（土）・2日（日）		32	
		古文書解読ボランティア	博物館会議室、倉吉博物館、米子市旧市庁舎	6月 5日（土）・6日（日）		35	
		古文書解読ボランティア	博物館会議室、倉吉博物館、米子市旧市庁舎	7月 3日（土）・4日（日）		22	
		古文書解読ボランティア	博物館会議室、倉吉博物館、米子市旧市庁舎	8月 7日（土）・8日（日）		中止	
		古文書解読ボランティア	博物館会議室、倉吉博物館、米子市旧市庁舎	9月 4日（土）・5日（日）		中止	
		古文書解読ボランティア	博物館会議室、倉吉博物館、米子市旧市庁舎	10月 2日（土）		40	
		むきばんだ土曜講座	むきばんだ史跡公園	10月23日（土）		30	
		古文書解読ボランティア	博物館会議室、倉吉博物館、米子市旧市庁舎	11月 6日（土）・7日（日）		28	
		古文書解読ボランティア	博物館会議室、倉吉博物館、米子市旧市庁舎	12月 4日（土）・5日（日）		40	
		古文書解読ボランティア	博物館会議室、倉吉博物館、米子市旧市庁舎	1月 8日（土）・9日（日）		22	
		古文書解読ボランティア	博物館会議室、倉吉博物館、米子市旧市庁舎	2月 5日（土）・6日（日）		中止	
		古文書解読ボランティア	博物館会議室、倉吉博物館、米子市旧市庁舎	3月 5日（土）・6日（日）		中止	
		美術	計20件（うち2件中止）				
	コレクション宅配便		鳥取短期大学・鳥取看護大学	6月14日（月）		38	
対話型鑑賞ファシリテーション体験	鳥取短期大学・鳥取看護大学		6月29日（火）		38		

区分	部門	テーマ	場所	実施日	定員	実績	
03 学芸員派遣	美術	《ワークショップ》紙コップでアート	中浜公民館	8月 3日(火)		中止	
		《ワークショップ》ステンシルシート	余子公民館	8月 5日(木)		中止	
		《ワークショップ》ブラックライト	倉吉養護学校	9月10日(金)		26	
		《ワークショップ》不思議な絵の具で描いてみよう！	若桜学園(7年生)	9月15日(水)		13	
		コレクション宅配便	上小鴨コミュニティセンター	9月22日(水)		30	
		《Walk View 対話型鑑賞授業》絵の中に入ってみよう！	若桜学園(7年生)	9月29日(水)		13	
		《ワークショップ》線の森にはいっちゃお	船岡小学校	10月 7日(木)		51	
		コレクション宅配便	境港市立第二中学校	10月12日(火)		107	
		《アーティストとつくろう》デザイナーの世界に触れてみよう！	名和中学校	10月14日(木)		41	
		《ワークショップ》不思議な絵の具で描いてみよう！	船岡小学校	10月22日(金)		20	
		コレクション宅配便	三朝小学校	11月 2日(火)		45	
		コレクション宅配便	岸本中学校	11月18日(木)		70	
		《ワークショップ》不思議な絵の具で描いてみよう！	倉吉養護学校	11月19日(金)		8	
		《アーティストとつくろう》手びねりでお茶碗をつくろう！	浜村小学校	12月14日(火)		38	
		コレクション宅配便	米子工業高等専門学校	12月15日(水)		40	
		コレクション宅配便	鳥取短期大学・鳥取看護大学	12月21日(火)		40	
		《アーティストとつくろう》コラージュの技法を使って作品をつくろう	鳥取市教育センターすなはま	12月22日(水)		10	
		《アーティストとつくろう》手びねりでお茶碗をつくろう！	浜村小学校	3月 8日(火)		38	
	普及	計2件					24
		《ワークショップ》火起こし	空山ポニー牧場	11月 5日(金)		7	
	《ハイレベルセミナー》科学がつなぐ古と今―「とっとりデジタルコレクション」の世界	鳥取西高等学校	12月 7日(火)		17		
04 教員の日	計1件(うち1件中止)					0	
	教員のための博物館の日2021	博物館講堂・会議室・展示室	7月29日(木)		中止		
05 普及講座	計97件(うち13件中止)					2299	
自然	計16件(うち4件中止)					299	
	《野外観察会》鳥取県生物学会会員と歩く「生物観察会」in 21世紀の森	鳥取市河原町「21世紀の森」	5月 9日(日)	20	36		
	《天体観望会》春の星を見る会	多目的広場	5月15日(土)		中止		

区分	部門	テーマ	場所	実施日	定員	実績	
05 普及講座	自然	《野外観察会》自然観察さいしょの一步	倉吉市打吹山	5月29日(土)	20	15	
		《講演会》山陰海岸ジオパーク再発見～ジオサイト巡りを楽しむために～	博物館講堂	6月12日(土)	90	46	
		《野外観察会》昆虫観察入門～初夏の虫たち～	博物館講堂・会議室	6月13日(日)	20	中止	
		《野外観察会》スマホで変形菌撮影会	大山町大山寺地区	7月 3日(土)	12	9	
		《天体観望会》夏の星を見る会	多目的広場	8月 7日(土)		中止	
		《自然講座》標本をしらべる会	博物館会議室	8月 8日(日)		27	
		《自然講座》チリメンモンスターをさがそう!	博物館会議室	8月22日(日)	20	中止	
		《野外観察会》化石をさがせ!	日野郡日南町多里	9月26日(日)	15	21	
		《野外観察会》きのこを調べる会	大山町大山寺地区	10月16日(土)	15	17	
		《野外観察会》おちばの中のモンスターをさがそう!	倉吉市打吹山	10月24日(日)	15	16	
		《野外観察会》川原の石をしらべよう!	鳥取市河原町和奈見	11月 7日(日)	10	12	
		《野外観察会》あっと、ときめくコケ観察会	かちべ伝承館	11月 7日(日)	24	20	
		《講演会》とつとりの両生類ーカエル・サンショウウオ・イモリー	博物館講堂	12月 4日(土)	90	65	
		《野外観察会》はじめてのバードウォッチング	鳥取市湖山池	12月19日(日)	15	15	
	人文	計 31 件 (うち 3 件中止)					718
			《歴史講座》江戸時代鳥取藩の酒づくりについて	博物館会議室	4月10日(土)	25	20
			《歴史講座》因幡の古墳を観察してみよう	鳥取市内	5月23日(日)	10	10
			《歴史講座》山名氏の同族連合体制と伯耆山名氏	博物館会議室	6月12日(土)	25	25
			《歴史講座》鳥取藩内における瓦の普及について	博物館会議室	7月10日(土)	25	15
			《歴史講座》藩主菩提寺・興禅寺の書画について	博物館講堂	7月18日(日)	80	30
			《歴史講座》ふすまの下のお宝を探そう!	博物館会議室	8月 9日(月)	10	中止
		《歴史講座》近世中後期の朝廷と鳥取藩ー公家と関係を結ぶ人びとー	博物館会議室	8月15日(日)	20	中止	
		《民俗講座》鳥取県の民話を聞く会	展示室	8月22日(日)		中止	
		《講演会》幕末・明治の動乱ー北垣国道と鳥取人脈ー	博物館講堂	9月12日(日)	80	50	
		《歴史講座》中世因幡国と広元流大江氏	博物館会議室	10月 9日(土)	25	20	

区分	部門	テーマ	場所	実施日	定員	実績	
05 普及講座	人文	《講演会》山陰地域の戦国時代と東アジアの世界	博物館講堂	10月10日(日)	80	80	
		《シンポジウム》因幡・伯耆国の戦国時代史の今	博物館講堂	10月17日(日)	80	57	
		《歴史講座》二つの展覧会で見るととりの戦国時代	博物館講堂・展示室	10月24日(日)	25	25	
		《歴史講座》はじめてのお抹茶体験	博物館会議室	10月31日(日)	10	17	
		《講演会》中国地域の戦国期戦争と「境目」地域の民衆	博物館講堂	11月 3日(水)	80	57	
		《歴史講座》花押のデザイン	博物館会議室	11月 7日(日)	20	20	
		《歴史講座》芳心院の法華信仰	博物館会議室	11月13日(土)	25	18	
		《歴史講座》伯耆往来をあるく(大山口～淀江)	大山町～米子市	11月28日(日)	20	20	
		《歴史講座》鳥取県における文化財防災・防犯への取り組み	博物館会議室	12月11日(土)	25	13	
		《歴史講座》子どものための日本刀入門	博物館会議室	12月12日(日)	10	9	
		《民俗講座》鳥取県の民話を聞く会	展示室	12月19日(日)	15	30	
		《歴史講座》古文書講座「写された文書を解説する」	博物館会議室	1月 9日(日)	20	15	
		《歴史講座》社会観光と文化財保護 戦後文化財行政の成立と変容	博物館会議室	1月15日(土)	25	11	
		《歴史講座》ふちごまを作って回そう	博物館会議室	1月16日(日)	10	9	
		《歴史講座》厄よけのお守り「角大師」のオリジナルマスクをつくろう	博物館会議室	2月 6日(日)	20	14	
		《歴史講座》鳥取城研究の15年	博物館講堂	2月12日(土)	80	60	
		《歴史講座》江戸時代の古文書を楽しむ	博物館会議室	2月13日(日)	20	20	
		《歴史講座》江戸時代の古文書を楽しむ	博物館会議室	2月20日(日)	20	20	
		《歴史講座》古代の鏡を観察してみようⅡ	博物館会議室	2月27日(日)	12	10	
		《歴史講座》日本海航路のランドマークとしての伯耆・因幡の山岳について(仮)	博物館会議室	3月12日(土)	25	16	
	《シンポジウム》鳥取藩明治維新シンポジウム 安達清風とその時代	博物館講堂	3月21日(月)	80	27		
	美術	計50件(うち6件中止)					1282
		《ギャラリートーク》企画展「垣田堅二郎コレクション展」	博物館展示室	4月10日(土)		35	
		《ギャラリートーク》企画展「垣田堅二郎コレクション展」	博物館展示室	4月17日(土)		33	
		《ギャラリートーク》企画展「垣田堅二郎コレクション展」	博物館展示室	4月24日(土)		21	

区分	部門	テーマ	場所	実施日	定員	実績
05 普及講座	美術	《ワークショップ》巨大な版画でこいのぼりをつくっちゃおう！	博物館前庭	5月 1日(土)	20	24
		《ギャラリートーク》日本美術鑑賞入門	博物館展示室	5月 8日(土)		22
		《アートシアター》ドリス・ヴァン・ノッテン ファブリックと花を愛する男	博物館講堂	5月15日(土)	70	26
		《アートシアター》ドリス・ヴァン・ノッテン ファブリックと花を愛する男	博物館講堂	5月22日(土)	70	10
		《ワークショップ》夏の普及事業の作戦会議「ワークショップづくり隊！」ミーティング	博物館会議室	5月29日(土)		10
		《ワークショップ》らくがきばんざい！	博物館前庭	6月 5日(土)		168
		《アートシアター》エッシャー 視覚の魔術師	博物館展示室	6月12日(土)	40	31
		《ワークショップ》大人のはんきのものづくり - アトリエ探訪 & ワorkshop 手びねりでうつわをつくる(その1)	鳥取市内	6月19日(土)	10	9
		《館外普及事業》アートの種まきプロジェクト 美術館が建つ場所の、定点写真を一緒に撮ってみませんか？ - 「定点観測」始めます！	倉吉未来中心セミナールーム7	6月26日(土)	20	13
		《ワークショップ》色水であそぼう！ in くらよし	倉吉未来中心アトリウム	7月 3日(土)	60	51
		《アートシアター》美人画と物語絵画 - 美人に見ほれ物語に見ほれ	博物館講堂	7月10日(土)	70	8
		《スペシャルワークショップ》「瀧澤さんをつくる光の空間」会場設営編	博物館会議室・展示室	7月17日(土)	5	中止
		《スペシャルワークショップ》「瀧澤さんをつくる光の空間」作品制作編	博物館会議室・展示室	7月24日(土)	15	20
		《ワークショップ》「エンボシング」でオリジナルポストカードをつくろう！	キナルなんぶ	7月31日(土)	15	中止
		《ワークショップ》「ティピー」づくりに挑戦！	倉吉未来中心アトリウム、美術館建設地	8月 7日(土)	10	中止
		《アートシアター》ソング・オブ・ザ・シー 海のうた	博物館講堂	8月14日(土)	70	中止
		《アートシアター》ソング・オブ・ザ・シー 海のうた	博物館講堂	8月21日(土)	70	70
		《アートシアター》エリック・カール コレクション	博物館講堂	8月28日(土)	70	54
		《ワークショップ》泥でアート！	博物館地下バックヤード	9月 4日(土)		中止

区分	部門	テーマ	場所	実施日	定員	実績
05 普及講座	美術	《ギャラリートーク》TMN 共同企画展「木下翠雨の里帰りと同時代の郷土の日本画家たち」	日南町美術館	9月11日(土)		14
		《ワークショップ》らくがきばんざい! 秋編	博物館前庭	9月18日(土)		中止
		《ワークショップ》大人のほんきのものづくり - アトリエ探訪 & ワークショップ 手びねりでうつわをつくる(その2)	鳥取市内	9月25日(土)	10	9
		《アートシアター》ゴーギャンタヒチ、楽園への旅	博物館講堂	10月 2日(土)	70	28
		《アートシアター》ゴーギャンタヒチ、楽園への旅	博物館講堂	10月 9日(土)	70	25
		《レクチャー&ワークショップ》初めての「プログラミング」	博物館会議室	10月16日(土)	8	9
		《アートシアター》ミステリアスピカソ-天才の秘密	博物館講堂	10月23日(土)	70	70
		《ワークショップ》あなたもファシリテーターに!(その1)「初めての対話型鑑賞」	博物館展示室	10月30日(土)	6	7
		《ワークショップ》あなたもファシリテーターに!(その2)「対話型鑑賞勉強会」	博物館展示室	11月 6日(土)	6	6
		《ワークショップ》超カンタン & ステキ! ポスターやチラシを再利用してオリジナルマスクケースをつくろう!	1階休憩コーナー	11月13日(土)		10
		《ギャラリートーク》企画展「東郷青児と前田寛治、ふたつの道」	博物館展示室	11月20日(土)		28
		《アートシアター》「モネ/クールベ」	博物館講堂	11月27日(土)	70	31
		《ギャラリートーク》企画展「東郷青児と前田寛治、ふたつの道」	博物館展示室	12月 4日(土)		48
		《アートシアター》「ピカソ」	博物館講堂	12月11日(土)	70	20
		《ギャラリートーク》企画展「東郷青児と前田寛治、ふたつの道」	博物館展示室	12月18日(土)		21
		《アートシアター》「象徴主義/シャガール」	博物館講堂	12月25日(土)	70	11
		《スペシャルアートシアター》ゴッホとヘレーネの森/クレラー=ミュラー美術館の至宝	博物館講堂	1月15日(土)	250	43
		《スペシャルアートシアター》ゴッホとヘレーネの森/クレラー=ミュラー美術館の至宝	博物館講堂	1月22日(土)	250	43
		《アートシアター》「ZERO PROJECT SUISEI 43 TOTTORI」中ハシクシゲ ゼロプロジェクト 彗星43/鳥取	博物館講堂	2月 5日(土)	250	8
		《ギャラリートーク》企画展「小早川秋聲 - 旅する画家の鎮魂歌」	博物館展示室	2月12日(土)		30

区 分	部 門	テ ー マ	場 所	実施日	定員	実績
05 普及講座	美術	《館外普及事業》ミュージアム・サロン13 アートと社会と未来について	パープルタウン	2月20日(日)	20	25
		《レクチャー&ワークショップ》オリジナルの表装でミニ掛軸をつくろう!	博物館会議室・展示室	2月26日(土)	10	9
		《スペシャルアートツアー》「小早川秋聲ゆかりの地を巡る旅 in 奥日野」	黒坂駅、日南町美術館	3月 5日(土)	20	10
		《特別講演会》「小早川秋聲が尋ね求めたもの」	博物館講堂	3月12日(土)	70	62
		《ギャラリートーク》企画展「小早川秋聲 - 旅する画家の鎮魂歌」後期展示編	博物館展示室	3月13日(日)		35
		《特別講演会》「小早川秋聲の画業と《國之楯》」	博物館講堂	3月19日(土)	70	45
		《スペシャルアートレクチャー》「対話型鑑賞による学びの可能性ー本当に役に立つの?」	博物館講堂	3月26日(土)	250	23
		《館外普及事業》アートの種まきプロジェクト 「美術館ができるまでを伝えるフリーペーパー」の発送作業を一緒にやってみませんか? (公開発送作業)	倉吉未来中心ホワイエ	3月26日(土)		7

5 博物館交流事業

〈中国河北博物院との交流〉

平成10年6月に友好交流館として協定書を締結して以来、研修等の人的交流、企画展の開催などの友好交流を推進し、鳥取県と河北省の国際交流の一端を担っている。

令和3年度は当館職員3名が訪問し、歴史・民俗分野を中心に情報交換や次年度以降の職員交流について協議等を行うこととしていたが、新型コロナウイルス流行のため、前年度に続き訪問はキャンセルとなった。

〈韓国国立春川博物館との交流〉

平成14年度の春川博物館開館を契機に両館の相互訪問が始まり、平成16年度に交流内容について基本合意に至ったが、その後の政治情勢の影響で交流が中断した。

平成20年3月に春川博物館から交流再開についての具体的な提案を受け、同年5月に、平成16年の基本合意の内容で交流を進めたい旨回答したところ、平成21年9月に春川博物館から訪問団が来館され、再び交流に向けて協議を進めることとなり、平成22年12月に春川博物館から訪問団を受け入れた際に交流協定を締結した。

令和3年度は、春川博物館からの訪問を受け入れることとしていたが、新型コロナウイルス流行のため、前年度に続き訪問はキャンセルとなった。

〈ロシアアルセーニエフ名称沿海地方国立博物館との交流〉

平成21年9月、知事の「ロシア沿海地方における鳥取週間事業」での訪露の際、ロシア側の提案を受け、交流に向けて情報交換等を進めることとなった。11月にはアルセーニエフ博物館職員等の訪問を受け、交流に向けて協議を進めることとなり、平成22年9月には当館職員がアルセーニエフ博物館を訪問し、友好交流及び協力に関する協定を締結した。

令和3年度は当館職員3名が訪問し、教育普及分野等の交流に関する協議及び普及講座を行うこととしていたが、新型コロナウイルス流行のため、前年度に続き訪問はキャンセルとなった。

6 ボランティア活動

●広報ボランティア「ポスター貼ります隊」

当博物館の展覧会のPRのため、ポスターを店舗、事務所、自宅などの壁面や窓等に掲出。

期 間：令和3年4月1日～令和4年3月31日（随時受付）

登録者数：237人（271か所）

（令和4年3月31日現在）

地 区	人 数	内 訳
県 東 部	156人	鳥取市：133 岩美郡：3 八頭郡：20（若桜・智頭・八頭）
県 中 部	74人	倉吉市：18 東伯郡：56（湯梨浜・琴浦・北栄）
県 西 部	5人	米子市：4 境港市：1 西伯郡：0
県 外	2人	兵庫県：2 岡山県：0

●古文書解読ボランティア

博物館が所蔵する「鳥取藩政資料」のうち「町奉行御用日記」、「御目付日記」を解読。会員各自が各1か月分を分担、コピーを受取り、自宅で解読、パソコン入力を行う。

期 間：登録した日（申込みした日）～令和4年3月31日

登録者数：42人

例 会：毎月第1土曜日午前9時30分から正午まで、当館会議室

毎月第1日曜日午前10時から正午まで、倉吉歴史民俗資料館研修室

毎月第1日曜日午後2時30分から4時30分まで、米子市旧庁舎会議室

内容はいずれも、「古文書解読基礎講座」と解読原稿の読み合わせ。

例会開催日	参加者	古文書解読基礎講座内容
4月3日(土)・4日(日)	31名	鳥取藩災害史序説 地震
5月1日(土)・2日(日)	32名	同上
6月5日(土)・6日(日)	35名	鳥取藩災害史序説 飛砂
7月3日(土)・4日(日)	22名	野間宗蔵『因州記』にみる一年②
8月7日(土)・8日(日)	0名	新型コロナウイルス拡散防止のため中止
9月4日(土)・5日(日)	0名	新型コロナウイルス拡散防止のため中止
10月2日(土)・3日(日)	40名	鳥取藩災害史序説 火事 ～享保五年鳥取城下の大火～
11月6日(土)・7日(日)	28名	野間宗蔵『因州記』にみる一年③
12月4日(土)・5日(日)	40名	家紋考 ～社寺における葵と蝶と～
1月8日(土)・9日(日)	22名	野間宗蔵『因州記』にみる一年④
2月5日(土)・6日(日)	0名	新型コロナウイルス拡散防止のため中止
3月5日(土)・6日(日)	0名	新型コロナウイルス拡散防止のため中止

7 県民との連携・地域への貢献

(1) 協力等対象団体の承認

令和3年度の新規の承認なし

(2) 協力等の実績

ア 鳥取民俗懇話会

(ア) 総会・講演会

月 日 令和3年4月11日(土)

会 場 さざんか会館 アクティブ鳥取

概 要 総会では事務局から令和2年度の事業報告・会計報告をし、承認された。続いて、令和3年度の事業計画と予算を提案し、承認された。この後、公開講座「佐治谷話のルーツを探る」(講師 有本喜美男さん)を聴講した。

(イ) 例会

令和3年5月9日(日) / 会場: さざんか会館アクティブ / 概要: 福代宏会員による「『因州記』年中行事を読む(3月～5月)」の発表を聴く。

令和3年6月6日(日) / 会場: さざんか会館アクティブ / 概要: 大田勝也さん(外部講師)による「記録に残された千葉重太郎の生涯」の発表を聴く。

令和3年7月4日(日) / 会場: さざんか会館アクティブ / 概要: 福代宏会員による「『因州記』年中行事を読む(6月～9月)」の発表を聴く。

令和3年9月5日(日) / 会場: さざんか会館アクティブ / 概要: 福代宏会員による「『因州記』年中行事を読む(10月～12月)」の発表を聴く。

令和3年10月3日(日) / 会場: さざんか会館アクティブ / 概要: 伊藤康晴さん(外部講師)による「近藤喜博の研究活動とその履歴」の発表を聴く。

令和3年11月7日(日) / 会場: さざんか会館アクティブ / 概要: 福代宏会員による「『因州記』年中行事を読む(暮れ～正月)」の発表を聴く。

令和3年12月5日(日) / 会場: 鳥取市歴史博物館 / 概要: 常設展示、特別展「日本初女性外交官 山根敏子」を見学し、同館学芸員・横山展宏さんの解説を聴く。

令和4年2月6日(日) / 会場: さざんか会館アクティブ / 概要: 大田勝也さん(外部講師)による「安場敬之丞-勝海舟の側にいた鳥取藩士-」の発表を聴く。

令和4年3月6日(日) / 会場: さざんか会館アクティブ / 概要: 福代宏会員による「『因州記』年中行事を読む(補遺)」の発表を聴く。

(8月の例会は新型コロナウイルス感染症拡散防止の観点から休止)

イ いわみガイドクラブ

(ア) オカヒジキもどってこいこいプロジェクト

①月 日 令和3年5月30日(日)

②会 場 岩美町熊井浜

③概 要 在来種のおかひじきと生育場所が競合する外来種のおニハマダイコンを抜き取り、おかひじきを呼び戻す環境保全プロジェクトを実施。

④共 催 くまやの自然を守る会、環境省近畿地方事務所浦富自然保護官事務所

ウ 自然観察指導員鳥取連絡会

(ア) 自然観察会

月 日	会 場	概 要
4月29日(木・祝)	米子市湊山公園	一般から参加者を募った定点の自然観察会 共催：米子市文化振興課
5月23日(日)	倉吉市打吹山	野外観察会「自然観察さいしょの一步」の下見
5月29日(土)	倉吉市打吹山	野外観察会「自然観察さいしょの一步」の下見 共催：鳥取県立博物館、倉吉博物館
5月30日(日)	鳥取市鹿野町中津北尾根湿原	ミツガシワ湿原の現状確認と周辺環境の調査
6月27日(日)	鳥取県用瀬町赤波 杉森集落	自然回復が進む廃村での自然観察、ユクノキ、ホソクシタケ等確認
7月23日(金・祝)	日野郡江府町(象山・鏡ヶ成湿原)	ヒトツバヨモギ、オオバノトンボソウ、イヌセンブリなど確認
8月22日(日)	米子市湊山公園	一般から参加者を募った定点の自然観察会 共催：米子市文化振興課
9月25日(土)	倉吉市関金町大滝山	溪流沿いの自然観察 ホンゴウソウ等確認
10月10日(日)	八頭郡八東町遠見山	展望の良さで知られる遠見山と、山麓の珪石産業遺産
12月11日(土)	米子市湊山公園	一般から参加者を募った定点の自然観察会 共催：米子市文化振興課
2月11日(金・祝)	日野郡日南町根雨地内	オシドリ、アオネカズラ等の観察と地域のたたずまいの観察
3月12日(土)	米子市湊山公園	一般から参加者を募った定点の自然観察会 共催：米子市文化振興課

(イ) 鳥取・島根自然観察指導員交流会

- ①月 日 令和3年11月14日(日)
 ②会 場 鳥根県安来市清水寺
 ③概 要 文化財指定を受けている清水寺の社叢林を散策して、シロヤマシダ等の特徴的な自然を見学した

(ウ) 総 会

- ①月 日 令和3年12月11日(土)
 ②会 場 米子ビッグシップ会議室(米子市)

(エ) 資料収集への協力

ミヤマトンビマイ、ヒダボタン

エ 鳥取地域史研究会

(ア) 研究報告書等の編集・発行

鳥取地域史研究第24号発行 2022年2月発行

(イ) 記念講演会

令和4年2月12日(土) 報告者 細田隆博氏 報告内容 鳥取城研究の15年

(ウ) 月例会

令和3年4月10日(土) 報告者 大嶋陽一氏 報告内容「江戸時代鳥取藩の酒づくりについて」

令和3年5月8日(土) 巡見 倉吉市長谷寺

令和3年6月12日(土) 報告者 岡村吉彦氏 報告内容「山名氏の同族連合体制と伯耆山名氏」

令和3年7月10日(土) 報告者 八峠興氏 報告内容「鳥取藩内における瓦の普及について」

令和3年9月12日(土) 巡見 山陰歴史館・旧米子市駅周辺

令和3年10月10日(土) 報告者 山岸遼太郎氏 報告内容「中世因幡国と広元流大江氏」

令和3年11月13日(土) 報告者 伊藤康晴氏 報告内容「芳心院の法華信仰」

令和3年12月11日(土) 報告 中森祥氏 報告内容「鳥取県における文化財防災・防犯への取り組み」

(8月の例会は新型コロナウイルス感染症流行のため休止)

令和4年1月15日(土) 報告 佐々木孝文氏 報告内容「社会観光と文化財保護 戦後文化財行政の成立と変容」

令和4年3月12日(土) 報告者 米谷均氏 報告内容「日本海航路のランドマークとしての伯耆・因幡の山岳について」

オ 鳥取県生物学会

(ア) 会誌の編集・発行

『山陰自然史研究』17号の発行

(イ) 令和3年度《野外観察会》鳥取県生物学会員と歩く生物観察会 in 21世紀の森

①月 日 令和3年5月9日(日)

②会 場 21世紀の森(鳥取市河原町)

③概 要 参加者36名。一般参加者と鳥取県生物学会の会員が一緒に行う観察会。参加者の年齢およびニーズに応じ、また新型コロナウイルス感染対策として2グループに分け、霊石山山頂を目指すグループと21世紀の森の中を散策するグループとに分けて実施した。

(ウ) 令和3年度生物観察会

①月 日 令和3年7月4日(日)

②会 場 大山・鏡ヶ成湿原周辺

③概 要 参加者20名

(エ) 令和3年度研究発表会・講演会

①月 日 令和3年12月4日(土)

②会 場 鳥取県立博物館 講堂

③概 要 一般講演8題

講演会『とつとりの両生類 -カエル・サンショウウオ・イモリ-』

講師：岡田 純氏(NPO法人日本ハンザキ研究所理事長)

カ 鳥取地学会

(ア) 研究報告書等の編集・発行

鳥取地学会誌第25号発行 2021年6月発行

(イ) 第45回 現地研修会

①月 日 令和3年5月30日(日)

②会 場 島根半島加賀浦周辺

③概 要 「中新世火山活動の地質」

(ウ) 第26回総会

- ①月 日 令和3年6月12日(土)
- ②会 場 鳥取県立博物館2階講堂
- ③概 要 ・2020年度事業および会計報告・会計監査報告・会計決算承認
・2021年度事業案および予算案について
・2021年度事業案および予算案承認

(エ) 記念講演会 (鳥取県立博物館と共催・一般公開・聴講無料)

- ①月 日 令和3年6月12日(土)
- ②会 場 鳥取県立博物館2階講堂
- ③概 要 講師：安藤和也氏(鳥取地学会会員/山陰海岸ジオパーク海と大地の自然館総括
専門員兼副館長)
演題：山陰海岸ジオパークの再発見～ジオサイトを楽しむために～

(オ) 研究発表会 (一般公開・聴講無料)

- ①月 日 令和3年6月12日(土)
- ②会 場 鳥取県立博物館2階講堂
- ③概 要 鳥取県の地形・地質に関する研究発表12件(ポスター発表4件、口頭発表8件)

(カ) 第46回現地研修会

- ①月 日 令和3年10月24日(日)
- ②会 場 北栄町・倉吉市・湯梨浜町
- ③概 要 「中部地形めぐりツアー(古の河川、河道をめぐる旅)」

(キ) 年末講演会

- ①月 日 令和3年12月11日(土)
- ②会 場 鳥取市福祉文化会館4階 第1・2会議室
- ③概 要 講師：藤木利之氏(岡山理科大学理学部基礎理学科准教授)
演題：花粉分析から見た東ポリネシア・クック諸島における人類到達時期

8 その他の事業

(1) 資料の貸出

分野	品名	数量	規格・銘柄	貸付期間	貸出先	貸付の目的
自然	鳥獣類（アカゲラほか）	14	剥製	R3. 4. 1～ R4. 3.31	氷ノ山自然ふれあい館“響の森”	常設展示
	地学・生物資料（トクナガムカシブンブクほか）	88	化石剥製 レプリカ 樹脂封入	R3. 4. 1～ R4. 3.31	山陰海岸ジオパーク海と大地の自然館	常設展示
	変形菌類（クモノスホコリほか）	9	拡大模型	R3. 9.11～ R3.11.30	南方熊楠記念館	特別展「熊楠の変形菌」での展示
	コケ植物（アカイチゴケほか）	6	樹脂封入標本	R3.10. 1～ R4. 2.15	ミュージアムパーク茨城県自然博物館	企画展「コケティッシュ 苔ニューワールド」での展示
	キノコ類（オニフスベほか）	一式	樹脂封入標本、乾燥標本、造形物	R3.10. 1～ R3.12. 3	宮崎県総合博物館	特別展「発見！きのこランド」での展示
	ダンクルオステウス	1	頭骨レプリカ	R3.10. 5～ R4. 1.31	きしわだ自然資料館	特別展「きしわだ カミカミ・ルーム」での展示
	キノコ類および変形菌類（オニフスベほか）	一式	樹脂封入標本、乾燥標本、拡大模型、造形物	R3.12. 5～ R4. 2.14	咲くやこの花館	企画展「POPなきのこ展」での展示
	鳥取県内の昆虫標本	3箱	乾燥標本	R4. 2.10～ R4.12.31	鳥取市立明德小学校	児童への教育普及
	ニホンジカ	1	頭骨標本	R4. 3.14～ R4. 3.25	鳥取大学医学部	日本動物学会米子大会公開講演会での展示
人文	碧玉製勾玉など	3件 17点		R3. 4. 1～ R4. 3.31	鳥根県立古代出雲歴史博物館	常設展示室で展示するため
	因幡国庁出土墨書土器（「厨」）など	43点		R3. 4. 1～ R4. 3.31	因幡万葉歴史館	常設展示室で展示するため
	浜坂横穴墓出土須恵器	6点		R3. 4. 1～ R4. 3.31	浜坂小学校	児童の歴史学習のため
	「鳥取県立科学博物館」館旗	1点		R3. 4. 1～ R4. 3.31	国指定重要文化財 仁風閣	仁風閣常設展示への出陳のため
	直浪遺跡、青島遺跡出土品	コンテナ 18箱		R3. 5. 8～ R4. 3.31	鳥取大学地域学部考古学研究室	鳥取大学が実施してきた直浪遺跡出土品整理の参考とするため
	乳文鏡	1		R3. 8.13～ R3. 8.26	八頭町教育委員会	「八頭町の古墳展示会」で展示するため
	等ヶ坪廃寺出土鴟尾	1		R3. 8.20～ R3.12.24	兵庫県立考古博物館	特別展「屋根の上野守り神-鴟尾・鯨-」で展示するため

分野	品名	数量	規格・銘柄	貸付期間	貸出先	貸付の目的
人文	白珊瑚細工	3点		R3. 8.26 ~ R3. 9.30	わらべ館	わらべ館主催企画展「鳥取県！再発見」にて実物展示するため
	法勝寺電車ジオラマ	1点		R3. 9. 1 ~ R3.11. 8	米子市立山陰歴史館	企画展「法勝寺電車の歴史」に展示するため
	坂本龍馬書簡（寄託資料）	1点		R3. 9.27 ~ R3.12.24	高知県立坂本龍馬記念館	特別展「龍馬と北の大地」展で展示するため
	マネキン（トルソタイプ）	1点		R3.10. 2 ~ R3.11.14	北条歴史民俗資料館（北栄みらい伝承館）	特別企画展「齋尾慶勝～戦艦大和の主砲を設計した男～」の資料展示に使用するため
	因幡国庁出土品	17点		R3.10.20 ~ R4. 1. 7	鳥取県埋蔵文化財センター	企画展「因幡の国府」で展示するため
	地域振興券	一括		R3.12. 2 ~ R4. 3.15	鳥取県立公文書館	企画展「昭和の大合併 - 39市町村への再編 -」に出陳するため
	伊福部氏系図 上淀麿寺跡出土壁画複製品等	1点		R4. 3.18 ~ R4. 5.15	古代出雲歴史博物館	企画展「出雲と都を結ぶ道 - 古代山陰道 -」にて展示するため
美術	國領経郎「悠々」他	3	油彩・カンヴァス	R3. 4.12 ~ R3. 6.20	一般社団法人日洋会 理事長 小灘一紀	「第35回記念日洋展」特別展示（会場：国立新美術館）に出品のため
	小早川秋聲「氷雨降る宵」他	7	絹本・著色他	R3. 8. 7 ~ R3. 9.26	京都文化博物館	「小早川秋聲 旅する画家の鎮魂歌」京都展に出品のため
				R3.10. 9 ~ R3.11.28	東京ステーションギャラリー	「小早川秋聲 旅する画家の鎮魂歌」東京展に出品のため
	曾我蕭白「月夜山水図襖」他	2	紙本・墨画	R3.10. 8 ~ R3.11.21	愛知県美術館	「曾我蕭白展」出品のため
	大島松谷「秋溪帰樵図」他	18	絹本・著色	R3. 9.11 ~ R3.10.10	日南町美術館	TMN 連携事業共同企画展「木下翠雨の里帰りと同時代を生きた郷土の日本画家たち」に出品のため
	バーナード・リーチ「扁壺」他	4	陶器	R3. 8.29 ~ R4. 2.28	鳥取民藝美術館	「吉田璋也と民藝を創った人々」展に出品のため

9 学芸員の業績（令和3年度：2021年4月～2022年3月）

業績は、原則、以下の基準に従って分類・掲載した。記載事項については、すべて各学芸員個人の申告による。

■印刷物

【著書・論文】…専門の著書、学会誌やそれに準ずる出版物に公表された原著論文。

【報告書・図録等】…報告書や展覧会図録等において、本人が編集等の中心的役割を担当したもの。

【短報・目録・その他】…上記に該当しない著書、短報、研究ノート、目録等。

【普及的著作】…新聞掲載コラム等、普及的著作物。

■研究発表：学会・研究会における口頭発表、ポスター発表及びそれに準ずるもの。

■博物館事業・その他：

【展示】…展覧会等の開催において、本人が中心的役割を果たしたもの。

【普及的事業】…学芸員講座やその他の普及的活動で、本人が中心的役割を果たしたもの。

尾崎 信一郎 OSAKI, Shinichiro

館長

担当：現代美術

■印刷物

【報告書・図録等】

- 尾崎信一郎（2021）「垣田堅二郎コレクションについて」pp.6-8
『垣田堅二郎コレクション作品図録』 鳥取県立博物館
- 尾崎信一郎（2021）「風景としてのペインタリネス、ふたたび」
『ペインタリネス』展パンフレット ギャラリー白
- 尾崎信一郎（2021）「中井浩史 かたちと脈動」
『中井浩史』展パンフレット ギャラリー2 kw

【会報等】

- 尾崎信一郎（2022）「批評と場所」 美術評論家連盟ホームページ 2022年1月22日
聞き手 芦田彩葵 『美術評論家連盟会報』第22号

【普及的著作】

- 尾崎信一郎（2021）鳥取県立博物館だより：版画コレクションの充実へー受贈記念 垣田堅二郎コレクション展 日本海新聞（鳥取）2021/4/8
- 尾崎信一郎（2021）鳥取県立博物館だより：パリで学んだ二人の画家 日本海新聞（鳥取）2021/12/16
- 尾崎信一郎（2022）鳥取県立博物館だより：新しい革袋には新しい酒を 日本海新聞（鳥取）2022/3/24

川上 靖 KAWAKAMI, Yasushi

博士（農学）

学芸課長

担当：学芸課総括 専門：動物分野

■印刷物

【著書・論文】

- 川上 靖（2021）ヤマトフキバツタ群（バツタ目バツタ科）の地理的変異と分類ー故・加納康嗣氏を偲んでー。
ぱったりぎす 165: 86-91.

【報告書・図録等】

- 川上 靖（2022）おうちで実物資料を観察する『おうちで自然観察』の報告～自然史系博物館の社会的役割を考える～. 第29回全国科学博物館協議会研究発表大会予稿集: 53-57.

【短報・目録・その他】

- 川上 靖・鶴 智之（2021）鳥取県におけるタイワントビナナフシ（ナナフシ目トビナナフシ科）の初記録.
山陰自然史研究 17: 28-29.
- 川上 靖・西 信介・鶴 智之（2021）クツワムシ（バツタ目クツワムシ科）の体色の観察. 山陰自然史研究 17: 30-31.
- 川上 靖・大生唯統（2021）鳥取県東部におけるマツムシモドキ（バツタ目マツムシ科）の記録. 山陰自然史研究 17: 32.

【普及的著作】

- 川上 靖（2021）鳥取県立博物館だより：人と自然の関係を考える. 日本海新聞（鳥取），2021/4/22.
- 川上 靖（2021）鳥取県立博物館だより：ダイセンオサムシ. 日本海新聞（鳥取），2021/5/27.

川上 靖 (2021) 鳥取県立博物館だより：4日に講演会「とつとりの両生類」. 日本海新聞 (鳥取), 2021 / 12 / 2.

川上 靖 (2021) 鳥取県立博物館は開館50周年を迎えます！. 鳥取県立博物館ニュース, 32:7.

■博物館事業・その他

【普及的事業（講師担当のみ）】

2021年 5月 9日 《野外観察会》鳥取県生物学会員と歩く生物観察会 in 21世紀の森 [主査]. 霊石山・21世紀の森 (鳥取市河原町).

2021年 6月16日 《講師》鳥取県立青谷高等学校「青谷学」～勝部川の谷の環境と生きもの～. 鳥取県立青谷高等学校. 場所：鳥取市青谷町不動滝・かちべ伝承館・子守神社など (鳥取市).

2021年 7月26日 《講師》子どもと大人のふれあい事業「昆虫のふしぎ」(小学校低学年). 鳥取市立湖山西公民館. 場所：湖山西公民館 (鳥取市).

2021年 9月26日 《講師》野外観察イベント「トンボ取りレース」. とつとり出合いの森. 場所：とつとり出合いの森 (鳥取市).

【その他】

2021年 (任期：2024年6月30日まで) 希少野生動植物種保存推進員 (環境省).

2021年 鳥取県生物学会「山陰自然史研究」編集委員長.

2021年度 山陰海岸ジオパーク推進協議会事務局「学術部会」委員.

2021年度 中国地方昆虫学会 鳥取県委員

2021年度 鳥取県高等学校文化連盟写真専門部講師・審査員 (鳥取県高等学校文化連盟).

一澤 圭 ICHISAWA, Kei

博士 (学術)

主幹学芸員

学芸課自然担当 担当：動物

■印刷物

【普及的著作】

一澤 圭 (2021) 鳥取県立博物館だより：企画展「クジラとイルカの世界」17日開幕 知られざる魅力紹介. 日本海新聞 (鳥取), 2021 / 7 / 15.

一澤 圭 (2021) 企画展「クジラとイルカの世界」コラム (上) シャチ全身骨格. 読売新聞 (鳥取), 2021 / 7 / 30.

一澤 圭 (2021) 企画展「クジラとイルカの世界」コラム (下) ハンドウイルカ胃袋. 読売新聞 (鳥取), 2021 / 8 / 5.

一澤 圭 (2021) 鳥取県立博物館だより：大きなクジラの小さなごちそう. 日本海新聞 (鳥取), 2021 / 8 / 19.

一澤 圭 (2021) 鳥取県立博物館だより：森のゴキブリ. 日本海新聞 (鳥取), 2021 / 11 / 11.

一澤 圭 (2022) 県立科学博物館から受け継いだもの ～「50年」の前の「25年」～. 鳥取県立博物館ニュース, 33:5.

■博物館事業・その他

【展示】

2021年 7月17日～ 8月29日 企画展「QooDZILLA!! クジラとイルカの世界」. 鳥取県立博物館第1・2特別展示室.

2022年 2月 8日～ 自然の窓「それ、サギじゃない！？ ～水辺にたたずむあしの長い鳥～」. 鳥取県立博物館常設展示室.

【普及的事業（講師担当のみ）】

2021年 5月 9日 《野外観察会》鳥取県生物学会員と歩く生物観察会 in 21世紀の森 [講師役の一部を担当]. 霊石山・21世紀の森 (鳥取市河原町).

2021年 7月24日 《野外観察会》鳥取おやこ劇場「虫博士と一緒に山登り&虫を探して遊ぼう！」. 樗谿 (鳥取市).

2021年 8月 1日 《展示解説》鳥取県読売会「夏休み親子新聞教室」[企画展の解説を担当]. 鳥取県立博物館第1・2特別展示室.

2021年 8月 3日 《野外観察会》どんぐりキッズ「生き物観察会」. 船岡竹林公園 (八頭町).

2021年 8月26日 《展示解説》鳥取県立鳥取養護学校「オンラインによる博物館企画展の見学」. 鳥取県立博物館第1・2特別展示室.

2021年 9月 8日 《出前授業》鳥取県立青谷高校「2年生 青谷学：日置谷の森と森林土壌の生きもの」. 利川神社・清宗院 (鳥取市青谷町).

2021年10月24日 《野外観察会》おちばの中のモンスターをさがそう！ 打吹公園 (倉吉市).

2021年10月29日 《野外観察会》牧場フリースクール まなび～馬「生き物観察会」. 空山ポニー牧場とその周辺 (鳥取市).

2021年11月 6日 《野外観察会》とっとり出合いの森「おちばの中の虫さがし!」。とっとり出合いの森(鳥取市)。
2021年12月 5日 《野外観察会》山陰海岸ジオパーク海と大地の自然館「日光池の謎解き観察会」[野鳥観察の講師を担当]。日光池(鳥取市気高町)。
2021年12月19日 《野外観察会》はじめてのバードウォッチング。湖山池青島(鳥取市)。
2022年 2月 1日 《野外観察会講師》鳥取ルーテル幼稚園「バードウォッチング」。湖山池情報プラザ(鳥取市)。

【その他】

2020年 9月～ 特別天然記念物オオサンショウウオ保護方針検討会(鳥取県文化財局)委員。
2021年12月～ 特別天然記念物オオサンショウウオ調査委員会(鳥取県文化財局)委員。
2021年11月 1日 第65回「日本学生科学賞」鳥取県審査 審査員。読売新聞社鳥取支局(鳥取市)。

田邊 佳紀 TANABE, Yoshiki

博士(理学)

主任学芸員

学芸課自然担当 担当:地学

■印刷物

【著書・論文】

田邊佳紀・齊藤 毅(2021) 鳥取県指定天然記念物「辰巳峠の植物化石産出層」について -その2。花粉化石, 珪藻化石-。鳥取地学会誌, 25, 15-24。
田邊佳紀・清水道代(2022) 鳥取県立博物館に所蔵されている鳥取市佐治町辰巳峠産植物化石コレクション目録。鳥取県立博物館研究報告, 59, 17-36。

【普及的著作】

田邊佳紀(2021-2022) (連載)何でも発見、たのしい観察:日本海新聞日曜版(鳥取)。2020/4-(10回)。
田邊佳紀(2021) 鳥取県立博物館だより:玄武洞の岩石が導いた「地磁気の逆転説」。日本海新聞(鳥取), 2021/6/10。
田邊佳紀(2021) 鳥取県立博物館だより:化石を強化、する。日本海新聞(鳥取), 2021/7/22。
田邊佳紀(2021) 史上最大の動物 シロナガスクジラ。読売新聞(鳥取), 2021/7/28。
田邊佳紀(2021) 鳥取県立博物館だより:硬骨魚類のウロコ。日本海新聞(鳥取), 2021/9/2。

【その他著作】

鳥取地学会化石部(執筆者:田邊佳紀・清水道代)(2021) 2020年度(令和2年度)化石部活動報告。鳥取地学会誌, 25, 65-74。
田邊佳紀(2021) 山名巖先生を偲ぶ。鳥取地学会誌, 25(鳥取), 2020/6/30。

■研究発表

田邊佳紀・鳥取地学会化石部(2021) 令和2年度(2020年度)の発掘で見つかった化石・鉱物。鳥取地学会第26回総会・記念講演会・研究発表会, 鳥取県立博物館, 鳥取市, 2021年6月12日。(ポスター発表)
田邊佳紀・鳥取地学会化石部(2021) 令和2年度化石部活動報告-辰巳峠産大型植物化石を整理して-。鳥取地学会第26回総会・記念講演会・研究発表会, 鳥取県立博物館, 鳥取市, 2021年6月12日。(口頭発表)
田邊佳紀・藪本美孝(2022) 鳥取県国府町宮下産中新世ハゼ目魚類について。日本古生物学会2022年第171回例会(オンライン開催), ホスト校:名古屋大学, 名古屋市, 2022年2月6日。(ポスター発表)
田邊佳紀(2022) 「鳥取地学会化石部」は起爆剤となるか?-博物館と地元団体の連携と活性化を模索する-。全国科学博物館協議会第29回研究発表大会(オンライン開催), 2022年2月18日。(口頭発表)

■博物館事業・その他

【展示】

2021年 9月23日から11月30日 自然の窓「Ancient Fishes 太古の魚類たち」。鳥取県立博物館常設展示室。

【普及的事業(講師担当のみ)】

2021年 5月26日 《講師》青谷学「青谷の地形・地質」。鳥取県立青谷高等学校。
2021年 7月11日 《講師》石の観察会。水ノ山自然ふれあい館主催, 八頭郡若桜町内川原。
2021年 8月 7日 《講師》石の観察会。鳥取砂丘こどもの国主催, 砂丘こどもの園内。
2021年 8月 8日 《自然講座》標本をしらべる会(地学分野担当)。鳥取県立博物館会議室。
2021年 8月27日 《講師》石ころ観察会。特定非営利活動法人ハーモニカレッジ(学び~馬)主催, 湯谷荘前 曳田川。
2021年 9月14日 《講師・オンライン》森の博物館を作ろう!。鳥取県立鳥取養護学校。
2021年 9月26日 《野外観察会》化石をさがせ!。日野郡日南町多里周辺。
2021年10月13日 《講師》立体地図作り。鳥取市立浜坂小学校。
2021年10月15日 《講師》石ころ観察会。特定非営利活動法人ハーモニカレッジ(学び~馬)主催, 河原町

和奈見周辺, 千代川.
2021年10月21日 《講師》川のはたらきと浜村地区の地形・地質. 鳥取市立浜村小学校.
2021年10月28日・30日 《講師》令和3年度鳥取西高等学校「ESD 研修」. 鳥取県立鳥取西高校. 28日事前研修：
鳥取県立博物館2階講堂, 30日成果発表会：ホテルセントパレス倉吉.
2021年11月 7日 《野外観察会》川原の石をしらべよう！. 鳥取市河原町和奈見周辺及び和奈見公民館.
2021年11月17日 《講師》第6学年「大地のつくりと変化」. 米子市立崎津小学校.
2021年11月16日 《講師》植物の陸上進出. 鳥取大学.
2021年12月 2日 《講師》キャリアメッセージ2021. 鳥取大学附属中学校.
2021年12月 9日 《講師》第6学年「大地のつくりと変化」. 鳥取市立大正小学校.
2022年 3月15日 《講師》第1学年「化石からわかること」. 鳥取市立気高中学校.

【その他】

2021年度 鳥取県立博物館研究報告編集長
2021年度 鳥取地学会誌編集委員.
2021年度後期 鳥取大学非常勤講師. 講義「地球科学（新しい地球観の基礎）」[植物の陸上進出]を担当.

鶴 智之 TSURU, Tomoyuki

博士（農学）

学芸員

学芸課自然担当 担当：昆虫

■印刷物

【著書・論文】

Tsuru, T. K. (2021) Revision of the tribe Mordellistenini (Coleoptera: Mordellidae) in Japan. Japanese Journal of Systematic Entomology, monograph series no. 5, (Matsuyama) : 1 - 282.
鶴 智之 (2021) 鳥取県から初記録のミヤモトフタガタカメムシ (カメムシ目) について. 山陰自然史研究 (鳥取), 17, 34 - 35.
鶴 智之・大生唯統 (2021) 鳥取県から初記録のヒメキノコムシ科甲虫2種について. 山陰自然史研究 (鳥取), 17, 36 - 37.
鶴 智之 (2021) 外来種マツヘリカメムシを鳥取市国府町雨滝から追加記録. 山陰自然史研究 (鳥取), 17, 33.
川上 靖・西口信介・鶴 智之 (2021) クツワムシ (直翅目クツワムシ科) の体色の観察. 山陰自然史研究 (鳥取), 17, 30 - 31.
川上 靖・鶴 智之 (2021) 鳥取県におけるタイワントビナナフシ (ナナフシ目トビナナフシ科) の初記録. 山陰自然史研究 (鳥取), 17, 28 - 29.

【普及的著作】

鶴 智之 (2022) 新任学芸員紹介～『昆虫少年』学芸員になる～. 鳥取県立博物館友の会会報, 2022 / 3 / 20.

■博物館事業・その他

【展示】

2021年 2月21日～ 9月22日 自然の窓「チョウの翅が輝く秘密」. 鳥取県立博物館常設展示室.

【普及的事業（講師担当のみ）】

2021年 5月 9日 《野外観察会》鳥取県生物学会員と歩く生物観察会 in 21世紀の森 [講師役の一部を担当].
霊石山・21世紀の森 (鳥取市河原町).
2022年 1月26日 《講師》ハナノミ科甲虫研究の今. 北海道大学総合博物館 昆虫サロン (オンライン開催)

【その他】

2021年度 日本甲虫学会 欧文誌編集委員.
2021年度 鳥取短期大学 非常勤講師. 講義「環境と生物の科学」(全15回)を担当.

茶谷 満 CHAYA, Mitsuru

専門員兼主任学芸員

学芸課 普及担当

印刷物

【普及的著作】

茶谷 満 (2021) コラム：博物館がやってくる！. 初等教育資料 2021年6月号 No.1008 (東京), 2021 / 6 / 15.
茶谷 満 (2022) コラム：『博物館ニュース』の50年. 鳥取県立博物館ニュース No. 33 (鳥取), 2022 / 3 / 25.

■博物館事業・その他

【その他】

- 2021年10月23日 《学芸員派遣》むきばんだ遺跡土曜講座「建築部材から考える弥生の建物」. むきばんだ史跡公園（米子市）.
- 2021年11月 5日 《学芸員派遣》火起こしワークショップ. 空山ポニー牧場（鳥取市）.
- 2021年11月16日 《学芸員派遣》令和3年度学校図書館司書研修会講義2、演習「とっとりデジタルコレクションの活用」. オンライン開催.
- 2021年12月 7日 《学芸員派遣》ハイレベルセミナー「科学がつなぐ古と今－「とっとりデジタルコレクション」の世界」. 鳥取県立鳥取西高等学校（鳥取市）.

清末 幸久 KIYOSUE, Yukihisa

学芸員

学芸課 普及・自然担当 担当：植物

■印刷物

【著書・論文】

Taiju Kitayama, Yukihisa Kiyosue, Jumpei Kozono, Takeai Hanyuda and Masahiro Suzuki (2021) First Record of *Sheathia abscondita* Stancheva, Sheath & M.L. Vis (Batrachospermaceae, Rhodophyta) from Japan. Bull. Natl. Mus. Sci., Ser. B, 47 (4), pp. 175 - 182

【普及的著作】

- 清末幸久 (2021) 鳥取県立博物館だより：いずれアヤマカカキツバタ. 日本海新聞（鳥取）, 2021 / 5 / 13
- 清末幸久 (2021) 鳥取県立博物館だより：根も葉もないアメリカネナシカズラ. 日本海新聞（鳥取）, 2021 / 6 / 17
- 清末幸久 (2021) 鳥取県立博物館だより：芝生管理の大敵 - メリケントキンソウ -. 日本海新聞（鳥取）, 2021 / 10 / 21

■博物館事業・その他

【展示】

- 2021年 3月30日～ 8月5日 「いちごのなま」常設展示室小コーナー
- 2021年 6月 2日～ 6月14日 《出前展示》博物館がやってくる「レッドデータブックとっとり」. 鳥取県立倉吉養護学校
- 2021年 8月 6日～ 9月26日 「木の葉の形や付き方を調べてみよう」常設展示室小コーナー
- 2021年 9月27日～12月12日 「新収蔵注目資料：要注意植物メリケントキンソウと県内初記録ヒダボタン」常設展示室小コーナー
- 2021年 6月 2日～ 6月14日 《出前展示》博物館がやってくる「レッドデータブックとっとり」. 鳥取市立気高中学校
- 2021年12月13日～ 「新年ミニ企画 集まれ虎の尾」常設展示室小コーナー

【普及的事業（講師担当のみ）】

- 2021年 4月25日 《学芸員派遣》馬の山ハイキング～馬の山の野草を満喫. 三区（橋津地区、上橋津地区、赤池地区）合同自治会. 馬の山公園（湯梨浜町橋津）
- 2021年 4月29日 《学芸員派遣》見て触って城山自然ツアー. 自然観察指導員鳥取連絡会, 米子市文化振興課. 米子城跡（米子市）
- 2021年 5月 9日 《野外観察会》鳥取県生物学会員と歩く生物観察会 in 21世紀の森 [講師役の一部を担当]. 鳥取県立博物館, 鳥取県生物学会. 霊石山・21世紀の森（鳥取市河原町）.
- 2021年 5月16日 《学芸員派遣》ハマナス見学会と保護活動. 次世代につなぐボランティア・ハマナス保護の会, 琴浦町赤碕地区公民館. 赤碕地区公民館, ハマナス自生地（琴浦町赤碕）
- 2021年 5月29日 《野外観察会》自然観察さいしょの一步. 鳥取県立博物館, 自然観察指導員鳥取連絡会, 倉吉博物館. 打吹山（倉吉市）
- 2021年 5月30日 《学芸員派遣》藪漕ぎ体験付きミツガシワ湿原観察会. 自然観察指導員鳥取連絡会. 中津北尾根湿原（三朝町・鳥取市鹿野町）
- 2021年 6月27日 《学芸員派遣》廃村を歩こう. 自然観察指導員鳥取連絡会. 鳥取市用瀬町赤波杉森地区.
- 2021年 7月 3日 《野外観察会》スマホで変形菌撮影会 [講師役の一部を担当]. 大山町大山寺地区.
- 2021年 7月18日 《学芸員派遣》森のシンポジウム～西郷地区の植物たち～. いなば西郷むらづくり協議会. 鳥取市西郷地区公民館（鳥取市）.
- 2021年 7月22日 《学芸員派遣》明治地区野外学習講座～もっと知ろうよ明治の自然～「フィールドワーク I 松上」. 鳥取市明治地区公民館. 明治地区松上集落周辺（鳥取市）.
- 2021年 7月30日 《学芸員派遣》子どもと本をつなげる講座 押し花のつくりかたを学ぼう. 鳥取市立気高町図書館.

- 2021年 8月22日 《学芸員派遣》見て触って城山自然ツアー． 自然観察指導員鳥取連絡会，米子市文化振興課． 米子城跡（米子市）．
- 2021年 9月21日 《出前授業》鳥取県立鳥取養護学校「感じよう作ってみよう～タブノキの葉から“ねり”を取り出す」． リモート対応鳥取県立博物館実験室．
- 2021年 9月23日 《出前授業》教員免許状更新研修[講師役の一部を担当]鳥取大学． 鳥取県立博物館常設展示室．
- 2021年 9月25日 《学芸員派遣》大滝山ヒーリング自然観察会． 自然観察指導員鳥取連絡会． 大滝山不動滝（倉吉市関金町）
- 2021年 9月26日 《学芸員派遣》県大会プロジェクト． ボーイスカウト鳥取第1・7団． 樗谿公園散策路（鳥取市）
- 2021年10月 2日 《学芸員派遣》馬の山ハイキング～馬の山の野草を満喫Ⅱ． 三区（橋津地区、上橋津地区、赤池地区）合同自治会． 馬の山公園（湯梨浜町橋津）
- 2021年10月 7日 《学芸員派遣》鳥取で〇〇やってみた！（ケーブル TV 番組収録）． 日本海ケーブルネットワーク株式会社 NCN． 湖山池青島（鳥取市）
- 2021年10月13日 《出前授業》青谷学「長和瀬海岸の植物分布を調査する」． 鳥取県立青谷高等学校． 長和瀬海岸（鳥取市青谷町）
- 2021年10月16日 《野外観察会》きのこを調べる会 [講師役の一部を担当]． 共催：鳥取県立大山自然歴史館． 大山町大山寺地区．
- 2021年10月23日 《学芸員派遣》明治地区野外学習講座～明治地区森林ウォーク． 鳥取市明治地区公民館． 鳥取市安蔵森林公園～鷲峰山登山道．（鳥取市）
- 2021年10月26日 《出前授業》久松山のコマチゴケ分布状況調査． 鳥取県立鳥取西高校． 栗谷神社とその上流（鳥取市）．
- 2021年11月 7日 《野外観察会》あっと、ときめくコケ観察会 [講師役の一部を担当]． かちべ伝承館（鳥取市青谷町）
- 2021年11月 8日 《学芸員派遣》成人教育「秋を楽しむ」． 湯梨浜町中央公民館羽合分館． 馬の山（湯梨浜町）
- 2021年11月16日 《学芸員派遣》ふれあい部会で実施する植物鑑賞会． 勝部地域まちづくり協議会ふれあい部． かちべ伝承館．（鳥取市青谷町）
- 2021年12月11日 《学芸員派遣》見て触って城山自然ツアー． 自然観察指導員鳥取連絡会，米子市文化振興課． 米子城跡（米子市）．
- 2022年 2月18日 《学芸員派遣》隠岐ユネスコ世界ジオパーク ガイドスキルアップ講座（オンライン）．（一社）隠岐ユネスコ世界ジオパーク推進協議会． 在宅勤務
- 2022年 2月19日 《学芸員派遣》オンドリとアオネカズラの観察会． 自然観察指導員鳥取連絡会． 根雨神社等（日野町根雨）
- 2021年 3月12日 《学芸員派遣》見て触って城山自然ツアー． 自然観察指導員鳥取連絡会，米子市文化振興課． 米子城跡（米子市）．

【その他】

- 自然公園指導員（環境省）1984年5月～
- 鳥取県自然観察指導員（鳥取県）1991年～
- 自然観察指導員（公財 日本自然保護協会）2002年～
- 鳥取県外来種検討委員会委員（鳥取県生活環境部）2006年～
- 希少野生動植物種保存推進員（環境省）2015年7月～
- 鳥取市こども科学館運営委員（鳥取市こども科学館）2017～2021年3月
- 鳥取県生物多様性戦略策定委員（鳥取県生活環境部緑豊かな自然課）2019年～
- 鳥取市歴史文化基本構想調査委員（鳥取市教育委員会）2019年3月～
- 千代川の今後を考える学識懇談会（国土交通省中国地方整備局）2020年3月～
- 河川水辺の国勢調査アドバイザー（国土交通省中国地方整備局）2020年3月～

福代 宏 FUKUSHIRO, Hiroshi

主幹学芸員

学芸課 人文担当 担当：民俗

■印刷物

【普及的著作】

- 福代 宏（2021）博物館だより：「ため池における魚伏籠漁」展示．日本海新聞（鳥取），2021/7/8．
- 福代 宏（2022）博物館だより：開館50年目の新春にあたって．日本海新聞（鳥取），2022/1/6．
- 福代 宏（2022）博物館だより：企画展「三蔵法師が伝えたもの 奈良・薬師寺の名品と鳥取・但馬のほとけさま」．日本海新聞（鳥取），2022/3/17．

■博物館事業・その他

【展示】

- 2021年 5月11日～2021年 7月11日 常設展示室歴史の窓「新指定文化財 ため池における魚伏籠漁」．鳥取県立

【普及的事業】

2021年12月19日 《民俗講座》「鳥取県の民話を聞く会」. 鳥取県立博物館 歴史・民俗展示室
2022年 1月16日 《歴史講座》「ぶちゴマを作って回そう!」. 鳥取県立博物館 会議室

■その他

名勝及び史跡三徳山・名勝小鹿溪保存活用計画策定委員会オブサーバー

来見田 博基 KURUMIDA, Hiroki

主任学芸員

学芸課 人文担当 担当：歴史（近世史）

■印刷物

【普及的著作】

来見田博基（2021） 博物館だより：「幕末明治の動乱」講演会と北垣国道の刀公開 日本海新聞（鳥取）
2021 / 8 / 12
来見田博基（2021） 博物館だより：「郷土刀の研ぎ澄まされた美 日本海新聞（鳥取） 2021 / 12 / 9
来見田博基（2022） 博物館だより：幕末の古文書を楽しむ 日本海新聞（鳥取） 2022 / 1 / 27
来見田博基（2022） コラム「近松門左衛門が娯楽化した鳥取藩士の女敵討」イチエムピー・シアターカンパニー
〈現代日本演劇のルーツX〉音楽劇『堀川、波のつづみ』HP 2022 / 3 (<https://hmp-theater.com/blog/note/340/>)

【短報・目録・その他】

来見田博基（2021）「鳥取藩の海防政策と洋学」「洋学史研究事典」洋学史学会編 思文閣出版（京都）.
2021 / 9 / 30 387頁
来見田博基（2021） 企画展「とっとりの乱世 因幡・伯耆からみた戦国時代」展示図録ととりの乱世展実行委員会（鳥取）. 2021 / 10 / 9 分担執筆
来見田博基（2022）「鳥取藩の藩庁日記の成立と展開」史料で読み解く日本史④「近世日記の世界」福田千鶴・藤實久美子編集. ミネルヴァ書房（京都） 2022 / 3 / 31
来見田博基（2022） 資料調査報告書「旧鳥取藩士安達清一郎関係資料目録」鳥取県立博物館2022 / 3 / 31

■博物館事業・その他

【展示】

2021年 7月13日（火）～ 8月11日（水） 常設展示室歴史の窓「トピック展示1 -蔵出し！平岡円四郎の手紙-」
県立博物館 歴史民俗常設展示室
2021年 8月13日（金）～ 9月12日（日） 常設展示室歴史の窓「トピック展示2 衆に打ち勝て！北垣国道の寄贈刀」
県立博物館 歴史民俗常設展示室
2021年10月 9日（土）～11月 7日（日） 企画展「とっとりの乱世 因幡・伯耆からみた戦国時代」県立博物館
特別展示室
2021年11月26日（金）～2022年 1月10日（月） 常設展示室歴史の窓「不滅の刀展関連企画-東照大権現に捧げられた神剣-」.
歴史民俗常設展示室
2022年 3月21日（月）～2022年 4月17日（日） 常設展示室「トピック展示3 明治維新の一级資料 安達清一郎関係文書の世界」
2020年11月27日（土）～12月19日（日） 鳥取県ミュージアム・ネットワーク連携事業「不滅の刀 ～よみがえる伯耆国の赤羽刀～」
北栄みらい伝承館

【普及的事業】

2021年 9月12日（日） 歴史講座「幕末・明治の動乱 -北垣国道と鳥取人脈-」県立博物館
司会進行
2021年12月11日（土） 歴史講座「子どものための日本刀入門」北栄町中央公民館 講堂
2021年12月12日（日） 歴史講座「子どものための日本刀入門」県立博物館
2021年 4月、6月、10月、12月、第1土・日曜日 古文書解説ボランティア 倉吉博物館、旧米子市庁舎（※倉吉博物館、米子市立山陰歴史館との共催事業）
2022年 2月13日・20日（日） 歴史講座「江戸時代の古文書を楽しむ」県立博物館 会議室
2022年 3月21日（月・祝） 鳥取藩明治維新シンポジウム「安達清一郎とその時代」博物館講堂 モデレーター
兼パネリスト

【その他】

2021年 8月31日（火） ふるさと教養大楽③講演会「鳥取藩の参勤交代」について 中ノ郷地区公民館（鳥取市）

2021年11月27日（土） 因伯名刀フォーラム「伯耆における刀剣の展開～刀剣の魅力に迫る」北栄町北条農村環境改善センター大研修室 パネリスト
2021年 7月18日（月）「高校生のための古文書ワークショップ」博物館会議室（県立公文書館との共催）
2021年度 鳥取災害アーカイブズ研究会 委員
2021年度 池田家墓所保存委員会 委員
2021年度 大雲院資料調査委員会 委員
2021年度 西粟倉村智頭往来志戸坂峠越の国史跡指定のための保存調査委員会 委員

大嶋 陽一 OOSHIMA, Yoichi

主任学芸員

学芸課 人文担当 担当：歴史（近世史）

■印刷物

【論文・研究ノート】

大嶋陽一, 四井幸子, 芝田尚子, 松本美佐子, [共著] (2022) 「鳥取藩領因幡国岩井郡大庄屋中島家『御用日記』翻刻 その6」. 鳥取県立博物館研究報告59号.
大嶋陽一 (2022) 「鳥取城の管理と鳥取城絵図について」鳥取城調査研究年報15号.

【普及的著作】

大嶋陽一 (2021) 博物館だより：鳥取の「清酒」の元祖 高砂屋. 日本海新聞（鳥取）, 2021 / 5 / 20.
大嶋陽一 (2021) 博物館だより：新茶の季節にお茶を楽しむ. 日本海新聞（鳥取）, 2021 / 10 / 14.
大嶋陽一 (2022) 博物館だより：厄よけ「角大師」マスクでコロナ退散！. 日本海新聞（鳥取）, 2022 / 1 / 20.
大嶋陽一 (2022) 博物館だより：三蔵法師インドへの取教の旅. 日本海新聞（鳥取）, 2022 / 3 / 31.

■博物館事業・その他

【展示】

2021年 9月14日～2021年11月14日 歴史の窓「池田賞 殿さまがくれた教育賞」. 鳥取県立博物館第1展示室

【普及的事業】

2021年 4月10日 《歴史講座》「江戸時代鳥取藩の酒づくりについて」. 鳥取県立博物館 会議室
2021年 5月1, 2日 古文書解読ボランティア1月例会. 鳥取県立博物館, 倉吉博物館, 米子市立山陰歴史館
2021年 7月3, 4日 古文書解読ボランティア1月例会. 鳥取県立博物館, 倉吉博物館, 米子市立山陰歴史館
2021年 7月18日 《歴史講座》「藩主菩提寺・興禅寺の書画について」. 鳥取県立博物館 講堂
2021年 7月21日 「とちのみ学園 歴史講座」. 兵庫県新温泉町町民センター 会議室
2021年10月31日 《歴史講座》「はじめてのお抹茶体験」. 鳥取県立博物館 会議室
2021年11月6, 7日 古文書解読ボランティア1月例会. 鳥取県立博物館, 倉吉博物館, 米子市立山陰歴史館
2021年11月12日 鳥取大学地域調査プロジェクト講演会「黄檗宗と鳥取藩について」. 鳥取大学
2021年11月28日 《歴史講座》「伯耆往来をあるく（大山口～淀江）」. 鳥取県立博物館 会議室
2022年 1月8, 9日 古文書解読ボランティア1月例会. 鳥取県立博物館, 倉吉博物館, 米子市立山陰歴史館
2022年 1月 8日 伯耆文化研究会1月例会「了春寺の什物について」. 米子市立図書館 研修室
2022年 2月 5日 「琴浦町古文書講座」. まなびタウンとうはく 研修室
2022年 2月 6日 《歴史講座》「厄よけのお守り「角大師」のオリジナルマスクをつくろう」. 鳥取県立博物館 会議室

【その他】

2021年 史跡鳥取城跡附太閤ヶ平石垣等保存修理・整備検討委員
2021年 鳥取大学非常勤講師（博物館資料論）
2021年 公益財団法人鳥取童謡・おもちゃ館評議員
2021年 倉吉市文化財保護審議委員
2021年 鳥取県庭園調査委員会委員

小山 浩和 KOYAMA, Hirokazu

専門員兼学芸員

学芸課 人文担当 担当：考古

■印刷物

【普及的著作】

小山浩和 (2021) 鳥取県立博物館だより：遺跡から出土した弥生のフォーマルシューズ？
日本海新聞（鳥取）, 2021 / 9 / 9
小山浩和 (2022) 博物館だより：もう一面の三角縁神獣鏡. 日本海新聞（鳥取）2022 / 2 / 10

■博物館事業・その他

【展示】

2022年 1月15日～2022年 3月 6日 「弥生の超絶技巧」. 鳥取県立博物館第1・第2特別展示室

【普及的事業】

2022年 2月27日 《歴史講座》「古代の鏡を観察してみようⅡ」. 鳥取県立博物館 会議室

山本 隆一郎 YAMAMOTO, Ryuichiro

学芸員

学芸課 人文担当 担当：歴史（中世史）

■印刷物

【報告書・図録等】

鳥取県立博物館令和3年度企画展図録「とっとりの乱世－因幡・伯耆からみた戦国時代－」

【普及的著作】

山本隆一郎（2021） 博物館だより：因幡・伯耆国の乱世. 日本海新聞（鳥取）, 2021/10/7.

山本隆一郎（2021） 博物館より：秀吉の文書など初公開 企画展「とっとりの乱世－」. 日本海新聞（鳥取）, 2021/10/28.

山本隆一郎（2021） 博物館だより：戦国の世に顕れた勝手権現－三徳山三佛寺の騎馬神像－. 日本海新聞（鳥取）, 2021/11/4.

山本隆一郎（2021） 博物館ニュース：展覧会情報 企画展 とっとりの乱世－因幡・伯耆から見た戦国時代－2021/9/24.

■博物館事業・その他

【展示】

2021年10月 9日～11月 7日 企画展「とっとりの乱世－因幡・伯耆からみた戦国時代－」.
鳥取県立博物館第1・第2展示室

【普及的事業】

・2021年10月17日 《歴史講座》「シンポジウム 因幡・伯耆国の戦国時代史の今」. 鳥取県立博物館

・2021年10月17・24日 《歴史講座》「二つの展覧会で見るとっとりの戦国時代」. 鳥取県立博物館・鳥取市歴史博物館（17日は鳥取市歴史博物館で24日は鳥取県立博物館で開催）

・2021年11月 7日 《歴史講座》「花押のデザイン」. 鳥取県立博物館

・2022年 1月 9日 《歴史講座》「古文書講座「写された文書を解説する」」. 鳥取県立博物館

三浦 努 MIURA, Tsutomu

課長

美術振興課長 担当：近現代美術・工芸

■印刷物

【著書・論文】

三浦 努（2021） ふたつの道と、そのあいだにあるもの. pp.7-11 .In:三浦努〔編〕企画展「東郷青児と前田寛治、ふたつの道」展覧会図録. 鳥取県立博物館, 122 pp.

【報告書・図録等】

三浦 努〔編著〕（2021） 企画展「東郷青児と前田寛治、ふたつの道」展覧会図録. 鳥取県立博物館, 122 pp.

【普及的著作】

三浦 努（2021） 美ありて：光と影 柔らかに浮かぶ白 前田昭博「白瓷面取鉢」. 朝日新聞鳥取版, 2021/6/8.

三浦 努（2021） 博物館だより：定点観測のある生活. 日本海新聞（鳥取）, 2021/6/24.

三浦 努（2021） 「東郷青児と前田寛治、ふたつの道」. 鳥取県立博物館ニュース 2021.NO.32（鳥取県立博物館）

三浦 努（2021） 博物館だより：ミュージアムがコラボレーションすれば. 日本海新聞（鳥取）, 2021/11/18.

三浦 努（2021） 美ありて：第三者の作品 自作に昇華 長谷川利行「婦人像（前田寛治婦人像）」. 朝日新聞鳥取版, 2021/12/21.

三浦 努（2022） 博物館だより：画家ゴッホの魂に迫るドキュメンタリー映画上映. 日本海新聞（鳥取）, 2021/1/13.

■博物館事業・その他

【展示】

2021年 4月10日～ 5月 9日 企画展「受贈記念 垣田堅二郎コレクション展」. 鳥取県立博物館第1・第2特別展示室.

2021年11月20日～12月26日 企画展「コレクション・マリアーージュ：SOMPO 美術館×鳥取県立博物館 東郷青児と前田寛治、ふたつの道」. 鳥取県立博物館第1・第2特別展示室.

【普及的事業】

2021年11月20日、12月 4日、18日 《担当学芸員によるギャラリートーク》「東郷青児と前田寛治、ふたつの道」. 鳥取県立博物館第1・第2特別展示室.

赤井 あずみ AKAI, Azumi

主任学芸員

美術振興課 美術担当 担当：近現代美術・写真

■印刷物

【短報・目録・その他】

赤井あずみ (2022) 高田裕大. pp. 238 - 245 .In:VOCA 展2022現代美術の展望－新しい平面の画家たち, 54 pp.

【普及的著作】

赤井あずみ (2021) キュレーターズノート「マイクロなアート活動とゆるやかなネットワーク、そして鳥取県立美術館のオープンに向けて」. artscape, 2021 / 6 . 15 .

赤井あずみ (2021) 「展示室の扉の向こう側で」. 日本海新聞 (鳥取), 2021 / 9 . 23 .

赤井あずみ (2021) キュレーターズノート「鳥取のアーティスト・イン・レジデンスプログラムについて」. artscape, 2021 / 10 . 15 .

赤井あずみ (2021) 美ありて「前田寛治 物を喰う男」. 朝日新聞 (鳥取), 2021 / 11 . 12 .

赤井あずみ (2022) キュレーターズノート「「コロナ禍によって失われつつある大切なことをアートは甦らせてくれる」か?—奥能登国際芸術祭2020+」. 日本海新聞 (鳥取), 2022 / 2 . 15 .

赤井あずみ (2022) 博物館だより「ミュージアム・サロン：声を交わすことでつくられるものは」. 日本海新聞 (鳥取), 2022 / 3 . 10 .

■博物館事業・その他

【普及的事業】

2021年11月 4日 令和3年度文化庁アーティスト・イン・レジデンスシンポジウム. 京都芸術センターフリースペース

2022年 2月20日 《美術館を考え続けるプロジェクト#02》ミュージアム・サロン13「アートと社会と未来について」. 倉吉パープルタウン

2022年 3月 5日 《美術館を考え続けるプロジェクト#02》ミュージアム・サロン14「アートと社会と未来について」. Gallery Cafe FUKU

【その他】

2021年度 アート・プロジェクト「HOSPITALE」キュレーター/プログラムディレクター.

2021年度 VOCA 展2022推薦委員

友岡 真秀 TOMOOKA, Maho

博士 (美術)

主任学芸員

美術振興課美術担当 担当：西洋美術・彫刻

■印刷物

【著書・論文】

(2021) 友岡真秀「同時代を歴史画として刻むこと」『築山弘毅個展 価値の記憶』PORT ART&DESIGN TSUYAMA, 2021.

【普及的著作】

友岡真秀 (2021) 「博物館だより：庭園としての展覧会」日本海新聞 (鳥取), 2021 / 6 / 3 .

友岡真秀 (2021) 「博物館だより：紙の上にもみる美術家の手の痕跡」日本海新聞 (鳥取), 2021 / 11 / 25 .

友岡真秀 (2021) 「博物館だより：洋画家・安岡信義の作品に心当たりありませんか」日本海新聞 (鳥取), 2022 / 2 / 17 .

友岡真秀 (2022) 「美ありて：安岡信義『読書 (緑陰)』」朝日新聞, 2022 / 2 / 22 .

■博物館事業・その他

【展示】

2021年11月27日～2022年 1月10日 美術テーマ展Ⅲ「線を引かざる日なし／Nulla dies sine linea——鳥取ゆかりの美術家による素描」, 鳥取県立博物館第3特別展示室。

【普及的事業】

2021年 9月26日〔コレクション宅配便〕上小鴨コミュニティーセンター
2021年11月 2日〔コレクション宅配便〕三朝町立三朝小学校 第4学年 多目的室
2021年12月21日〔コレクション宅配便〕鳥取短期大学 芸術2年 アリーナ

山本 亮 YAMAMOTO, Tooru

専門員

美術振興課 担当：教育普及

■印刷物

【普及的著作】

山本 亮 (2021) 博物館だより 普及事業の実践から「県民がつくる」を考える ― 令和7年春開館予定の県立美術館 日本海新聞 (鳥取) 2021/4/1
山本 亮 (2021) 博物館だより 「海」テーマのアニメ上映 日本海新聞 (鳥取) 2021/8/5
山本 亮 (2021) 博物館だより 作家の探求心に触れて、感じて 日本海新聞 (鳥取) 2021/12/23
山本 亮 (2021) 「美ありて」虚像が繋ぐ 表裏の狭間 山本兼文《戒五》朝日新聞 (鳥取) 2021/10/8

■博物館事業・その他

【普及的事業】

2021年 4月18日〔ワークショップ〕カラフルトンネルで遊ぼう！境港市幸神体育館
2021年 5月 1日〔ワークショップ〕巨大な版画でこいのぼりをつくっちゃおう！鳥取県立博物館 会議室
2021年 6月14日〔対話型鑑賞体験講座〕鳥取短期大学・鳥取看護大学
2021年 6月26日〔ワークショップ〕アートの種まきプロジェクト - (美術館建設地の)「定点観測 始めます！」倉吉未来中心
2021年 7月 3日〔ワークショップ〕色水であそぼう！in 倉吉 倉吉未来中心
2021年10月 7日〔ワークショップ〕「線の森に入っちゃおう！」八頭町立船岡小学校
2021年10月16日〔ワークショップ〕初めての「プログラミング」鳥取県立博物館 会議室
2021年10月22日〔ワークショップ〕「不思議な絵の具で描いてみよう！」八頭町立船岡小学校
2021年11月19日〔ワークショップ〕「不思議な絵の具で描いてみよう！」倉吉養護学校
2021年12月15日〔コレクション宅配便〕国立米子工業高等専門学校
2021年12月21日〔コレクション宅配便〕鳥取短期大学・鳥取看護大学
2021年11月 - 12月〔バス招待事業〕県内小学校8校、9件、498名 鳥取県立博物館 展示室他
2022年 2月26日〔ワークショップ〕オリジナルの“表装”で、ミニ掛軸をつくろう！鳥取県立博物館 会議室 展示室

【その他】

2021年 9月24日 美術館ができるまでを伝えるためのフリーペーパー『Pass me! 05』の発行
2022年 3月22日 美術館ができるまでを伝えるためのフリーペーパー『Pass me! 06』の発行

佐藤 真菜 SATO, Mana

専門員

美術振興課 調査担当 担当：教育普及

■印刷物

【普及的著作】

佐藤真菜 (2021) 博物館だより「光の軌跡-瀧澤潔 鳥取県立博物館のためのインスタレーション2021」日本海新聞 (鳥取) 2021/7/29
佐藤真菜 (2021) 博物館だより「瀧澤潔 鳥取県立博物館のためのインスタレーション2021」日本海新聞 (鳥取) 2021/8/26
佐藤真菜 (2021) 博物館だより『「アートが子どもを強くする」とは』日本海新聞 (鳥取) 2022/2/14
佐藤真菜 (2021) 教育美術 No.952 スクールアート風土記「異年齢が関わることで生まれる新たな学びのかたち」2021/10
佐藤真菜 (2021) 読売新聞 美ありて「限られた色彩 深さと優しさ-岡村吉右衛門《梟(緑)》2022/4/5

■博物館事業・その他

【展示】

2021年 7月17日(土)～8月29日(日) シリーズ：美術をめぐる場をつくるⅢ夏休み企画「瀧澤潔 鳥取県立博物館のためのインスタレーション2021」鳥取県立博物館 第3特別展示室

【普及的事業】

- 2021年 4月18日 [ワークショップ]「境港市民交流センタースタートアップ事業」境港市幸神体育館
2021年 5月 1日 [ワークショップ]「巨大な版画でこいのぼりを作っちゃおう！」鳥取県立博物館 会議室
2021年 5月17日 [ファシリテーター養成講座]鳥取短期大学 国際交流学科 1年 鳥取短期大学会議室
2021年 5月29日 [対話型鑑賞ファシリテーター体験講座]鳥取短期大学 国際交流学科 1年 鳥取短期大学内
2021年 6月 5日 [ワークショップ]「らくがきばんざい！」鳥取県立博物館 玄関前
2021年 6月14日 [コレクション宅配便]鳥取短期大学 国際交流学科 1年 鳥取短期大学アリーナ
2021年 6月19日 [ワークショップ]「手びねりでうつつわをつくる その①」鳥取因幡焼 三木健太郎氏アトリエ
2021年 7月 7日 [対話型鑑賞]鳥取市立倉田小学校 第6学年(修学旅行)鳥取県立博物館 会議室
2021年 7月17日 [スペシャルワークショップ]「瀧澤さんをつくる光の空間②」鳥取県立博物館 展示室
2021年 8月25日 [教員研修]「造形活動の意欲を高め、子どもたちの気づきや学びを生かすために大切なこと」(コロナ感染拡大防止のためリモート開催)県立米子養護学校 廊下他
2021年 9月10日 [ワークショップ]「不思議な絵の具で描いてみよう！」県立倉吉養護学校(オンライン)
2021年 9月15日 [ワークショップ]「不思議な絵の具で描いてみよう！」若桜学園 第7学年 美術室
2021年 9月16日 [ワークショップ]郡家西小学校特別支援学級第1～第6学年「ステンシルシートで飾ろう！」鳥取県立博物館 会議室他
2021年 9月25日 [ワークショップ]「手びねりでうつつわをつくる その②」鳥取因幡焼 三木健太郎氏アトリエ
2021年 9月26日 [コレクション宅配便]上小鴨コミュニティーセンター
2021年 9月29日 [Walk View で対話型鑑賞授業]「絵の中に入ってみよう！」若桜学園 第7学年 美術室
2021年10月 7日 [ワークショップ]「線の森に入っちゃおう！」八頭町立船岡小学校 第2学年 体育館
2021年10月12日 [コレクション宅配便]境港市立第二中学校 多目的室
2021年10月22日 [ワークショップ]「不思議な絵の具で描いてみよう！」船岡小学校 第4学年 図工室
2021年10月30日 [研修講座]あなたもファシリテーターに①「初めての対話型鑑賞」鳥取県立博物館 展示室
2021年11月 2日 [コレクション宅配便]三朝町立三朝小学校 第4学年 多目的室
2021年11月 6日 [研修講座]あなたもファシリテーターに②「対話型鑑賞勉強会」鳥取県立博物館 展示室
2021年11月18日 [コレクション宅配便]伯耆町立岸本中学校 第3学年 武道館
2021年11月25日 [教員研修]「教育センター連携 全教科/対話的で深い学び」鳥取県立博物館 展示室
2021年11月～12月 [バス招待]県内小学校8校、9件、498名 鳥取県立博物館 展示室
2021年12月 8日 [対話型鑑賞ファシリテーター体験講座]鳥取短期大学 国際交流学科 1年 鳥取県立博物館展示室
2021年12月14日 [アーティストとつくりよう]「手びねりでお茶碗をつくりよう！」鳥取市立浜村小学校 教室
2021年12月15日 [コレクション宅配便]国立米子工業高等専門学校 図書館
2021年12月21日 [コレクション宅配便]鳥取短期大学 芸術2年 アリーナ
2021年12月22日 [ワークショップ]「コラージュで制作してみよう」鳥取市教育センターすなはま
2022年 3月 8日 [アーティストとつくりよう]「手びねりでお茶碗-作品渡し」鳥取市立浜村小学校 教室
2022年 3月14日 [Walk View で鑑賞授業]「佐品との対話～見る・入る・知る」鳥大附属中学校 第2学年 多目的室

【その他】

- 2021年 4月22日 文化芸術活動支援補助金審査 県庁
2021年 9月 8日 鳥取県美術展 洋画部門 審査 鳥取県立博物館 展示室
2021年10月 8日 [鳥取県未来科学の夢絵画展] 審査 鳥取県産業振興機構
2020年10月14日 [鳥取県緑化運動・育樹運動ポスター原画] 審査 日の丸産業株式会社

外村 文 TONOMURA, Aya

専門員

美術振興課 調査担当 担当：教育普及

■印刷物

【普及的著書】

- 外村 文 (2021) 博物館だより：春の「版」まつり！ 日本海新聞(鳥取) 2021/4/15
外村 文 (2021) 博物館だより：アートと出会う・自分と出会う 日本海新聞(鳥取) 2021/7/10
外村 文 (2021) 博物館だより：博物館と教室をオンラインでつなぐ 日本海新聞(鳥取) 2021/9/30

外村 文 (2021) 美ありて：儂い一夜の命一瞬の輝き 橋本興家《月下美人 花連作の内》朝日新聞
2021/9/3

■博物館事業・その他

【普及的事業】

- 2021年 4月18日 [ワークショップ]「境港市交流センタースタートアップ事業」境港市幸神体育館
2021年 5月 1日 [ワークショップ]「巨大な版画でこいのぼりを作っちゃおう！」鳥取県立博物館 会議室
2021年 5月29日 [対話型鑑賞ファシリテーター体験講座] 鳥取短期大学 国際交流学科 1年 鳥取短期大学
内
2021年 6月 5日 [ワークショップ]「らくがきばんざい！」鳥取県立博物館 玄関前
2021年 7月 7日 [対話型鑑賞] 鳥取市立倉田小学校 第6学年(修学旅行) 鳥取県立博物館 会議室
2021年 8月25日 [教員研修]「造形活動の意欲を高め、子どもたちの気づきや学びを生かすために大切なこと」
(コロナ感染拡大防止のためリモート開催) 県立米子養護学校 廊下他
2021年 9月10日 [ワークショップ]「不思議な絵の具で描いてみよう！」県立倉吉養護学校(オンライン)
2021年 9月15日 [ワークショップ]「不思議な絵の具で描いてみよう！」若桜学園 第7学年 美術室
2021年 9月16日 [ワークショップ]「ステンシルシートで飾ろう！」郡家西小学校 特別支援学級第1～第6
学年 鳥取県立博物館 会議室他
2021年 9月29日 [Walk Viewで対話型鑑賞授業]「絵の中に入ってみよう！」若桜学園 第7学年 美術室
2021年10月 7日 [ワークショップ]「線の森に入っちゃおう！」八頭町立船岡小学校 第2学年 体育館
2021年10月12日 [コレクション宅配便] 境港市立第二中学校 多目的室
2021年10月22日 [ワークショップ]「不思議な絵の具で描いてみよう！」八頭町立船岡小学校 第4学年 図
工室
2021年11月 2日 [コレクション宅配便] 三朝町立三朝小学校 第4学年 多目的室
2021年11月18日 [コレクション宅配便] 伯耆町立岸本中学校 第3学年 武道館
2021年11月25日 [教員研修]「県教育センター連携 全教科/対話的による深い学び」鳥取県立博物館 展示
室他
2021年12月 8日 [対話型鑑賞ファシリテーター体験講座] 鳥取短期大学 国際交流学科 1年 鳥取県立博物
館展示室
2021年11月～12月 [バス招待] 県内小学校8校、9件、498名 鳥取県立博物館 展示室
2021年12月15日 [コレクション宅配便] 国立米子工業高等専門学校 図書館
2021年12月21日 [コレクション宅配便] 鳥取短期大学 芸術 2年 アリーナ
2021年12月22日 [ワークショップ]「コラージュで制作してみよう」鳥取市教育センターすなはま

【その他】

- 2021年 7月14日 [校内授業研究会] 指導助言 八頭町立八頭中学校
2021年 8月17日 [県教育センター教職員研修(中学校美術)] 指導助言 鳥取県立福祉人材センター
2021年10月29日 [鳥取県ジュニア県展] 審査 鳥取県立倉吉体育文化会館

山田 修平 YAMADA, Shuhei

学芸員

美術振興課 調査担当 担当：近世美術・近代日本画

■印刷物

【著書・論文】

山田修平(2021) 秋聲と「郷土」山陰 一九一八年の山陰旅行を起点として. pp.167-173. In:『小早川秋聲
旅する画家の鎮魂歌』求龍堂, pp.231

【普及的著作】

- 山田修平(2021) 博物館だより：ならべて くらべて - 画家の意図を読み解く. 日本海新聞(鳥取)2021/4/29
山田修平(2021) 美ありて：不思議な陰影「因幡の鯉」. 朝日新聞(鳥取)2021/7/9
山田修平(2021) 博物館だより：木下翠雨と同時代の画家たち. 日本海新聞(鳥取)2021/9/16
山田修平(2021) 展覧会情報：企画展 小早川秋聲- 旅する画家の鎮魂歌-. 鳥取県立博物館ニュース, No. 32
山田修平(2022) 巻頭 Art：異色の戦争画《國之楯》を描いた画家の生涯. さんいんキラリ 冬春号, 2022
No.51, グリーンフィールズ
山田修平(2022) 博物館だより：《國之楯》を描いた画家の前半生. 日本海新聞(鳥取), 2022/2/3
山田修平(2022) 博物館だより：「壽白き裏日本の郷土」山陰と小早川秋聲. 日本海新聞(鳥取), 2022/3/3

■博物館事業・その他

【展示】

2021年 4月17日～ 5月12日 鳥取県立博物館美術部門テーマ展「ならべて くらべて - 近世絵画・近現代日本

画を中心に－」。鳥取県立博物館 第3特別展示室。
2021年 9月11日～10月10日 鳥取県ミュージアムネットワーク連携事業 共同企画展「木下翠雨の里帰りと同時代を生きる郷土の日本画家たち」。日南町立美術館。
2022年 2月11日～ 3月21日 企画展「小早川秋聲 旅する画家の鎮魂歌」。鳥取県立博物館 第1・第2特別展示室。

【普及的事業】

2021年 5月 8日 《鳥取県立博物館美術部門テーマ展「ならべて くらべて -近世絵画・近現代日本画を中心に-》ギャラリートーク「日本美術鑑賞入門」。鳥取県立博物館 第3特別展示室
2021年 9月11日 《鳥取県ミュージアムネットワーク連携事業 共同企画展「木下翠雨の里帰りと同時代の郷土の日本画家たち》》ギャラリートーク in 日南町美術館。日南町美術館
2022年 2月12日 《企画展「小早川秋聲 旅する画家の鎮魂歌》》ギャラリートーク（前期展示編）。鳥取県立博物館 第1・第2特別展示室
2022年 3月 5日 《企画展「小早川秋聲 旅する画家の鎮魂歌》》スペシャルアートツアー「小早川秋聲ゆかりの地を巡る in 奥日野」。鳥取県立博物館 第1・第2. 特別展示室
2022年 3月12日 《企画展「小早川秋聲 旅する画家の鎮魂歌》》特別講演会①「小早川秋聲の尋ね求めたもの」講師：松竹京子氏（小早川秋聲研究家）。鳥取県立博物館講堂
2022年 3月13日 《企画展「小早川秋聲 旅する画家の鎮魂歌》》ギャラリートーク（後期展示編）。鳥取県立博物館講堂
2022年 3月12日 《企画展「小早川秋聲 旅する画家の鎮魂歌》》特別講演会②「小早川秋聲の画業と《國之楯》」講師：植田彩芳子氏（京都府京都文化博物館学芸員）。鳥取県立博物館講堂

◎ 附 録

1 沿 革

昭和22年4月1日	鳥取県立公民館規程の制定により鳥取県立鳥取図書館内に鳥取県立公民館が併置され、図書部、科学部、集会部がおかれる。 科学部は「科学研究館」として運営。
昭和24年7月1日	鳥取県立公民館規程が廃止され、鳥取県立科学館設置条例に基づき「鳥取県立科学館」が設置される。
昭和24年7月23日	仁風閣に移転。物理、電気、化学、地学、生物の5部門からなる指導研究室を設置。
昭和27年7月1日	昭和27年7月博物館法の施行により、同法に基づく博物館相当施設として文部大臣の指定を受ける。
昭和29年7月1日	登録博物館となる。
昭和29年7月1日	鳥取県立科学博物館規程の制定により「鳥取県立科学博物館」と改称。
昭和30年5月	考古指導研究室設置。
昭和30年7月	教育研究所等の転出により仁風閣を全館使用。
昭和31年7月1日	鳥取県立科学博物館に庶務係及び指導調査係を設置。
昭和38年3月31日	理工学部門（物理、電気、化学）の廃止。
昭和38年4月1日	民俗部門の設置により生物、地学、考古、民俗の4部門となる。
昭和39年9月6日	文化センター建設調査費を計上し、施設構想を検討。
昭和43年9月10日	文化センター敷地について、鳥取市公設運動場と二の丸公園を充てることで知事と鳥取市長が合意。
昭和44年4月2日	文化施設の建設促進のため、県に鳥取県立文化施設促進協議会を設置。
昭和44年5月30日	株式会社日建設計に建設構想図の作成を依頼。
昭和45年9月15日	鳥取県立博物館の実施設計完了。
昭和45年10月20日	建設工事着工（建設費総額 11億2,904万6千円）。
昭和46年4月1日	鳥取県立科学博物館に美術係を設置。
昭和47年4月1日	鳥取県立科学博物館を「鳥取県立博物館」と改称、組織も、管理課（庶務係、設備係）、学芸課（学芸係、美術係、史料係）と二課制に拡充。
昭和47年4月1日	西本真一 県立鳥取東高等学校長が 館長に就任。
昭和47年5月31日	建設工事竣工。
昭和47年10月1日	鳥取県立博物館竣工式、開館式挙行。
昭和48年	仁風閣を鳥取市に委譲。
昭和50年4月1日	木代彰 県教育長が館長に就任。
昭和51年12月14日	西尾優 県教育長が館長事務取扱。
昭和52年4月1日	前田壽男 県教育次長が館長に就任。
昭和56年4月1日	山根幸恵 県立鳥取西工業高等学校長が館長に就任。
昭和58年4月1日	河田晃 県立鳥取西工業高等学校長が館長に就任。
昭和58年4月1日	学芸課の係を再編成し、自然係、美術係、人文係とする。
昭和58年4月1日	考古・民俗展示室を歴史・民俗展示室に改編。
昭和60年4月1日	松本兵衛 県立鳥取図書館長が館長に就任。
昭和60年6月11日	近代美術展示室を開設。
昭和60年11月3日	皇太子殿下・同妃殿下が、第21回全国身体障害者スポーツ大会行啓の際当館を御視察。
昭和61年6月8日	中国河北省友好訪日団（河北省長ほか5名）来館視察。
昭和62年4月1日	長石肇 県教育次長が館長に就任。
平成4年4月1日	國岡靖夫 県立倉吉東高等学校長が館長に就任。

平成5年11月15日	文化課に県立美術館基本構想検討委員会を設置。
平成6年6月8日	鳥取県立博物館改修計画策定委員会を設置。
平成8年3月28日	鳥取県立博物館の改修について教育長へ提言。
平成9年4月1日	西垣幸信 県立鳥取盲学校長が館長に就任。
平成10年6月16日	中国河北省博物館友好交流団(李吉樹館長ほか4名)が来館。 鳥取県立博物館において、河北省博物館と「友好交流館締結協定書」に調印。
平成10年8月7日～11日	第22回全国高等学校総合文化祭(美術・工芸部門)開催。
平成11年2月8日	熱源機器改修工事完成(平成10年6月着工)。
平成12年9月12日	中国河北省博物館友好交流団(李宏傑副館長ほか5名)が来館。
平成13年4月1日	渡瀬由章 県立鳥取農業高等学校長が館長に就任。
平成13年10月4日	バリアフリー工事着工。
平成14年4月1日	機構改革により美術振興課設置。(文化課・美術館整備調査室及び学芸課美術係の組織再編)
平成14年4月10日	バリアフリー工事完成。 ①玄関アプローチ手すり及び屋内階段の両方に手すり設置 ②喫茶室出入口及び屋内段差をスロープに改修 ③休憩室内手洗い改修(車イス対応) ④身障者用便所を多目的便所に改修(折りたたみシート、オストメイト設置) ⑤視覚障害者誘導用床材設置(玄関アプローチ→正面玄関入口→ホール) ⑥玄関先及び駐車場入口の側溝改修 ⑦エレベーター(身障者対応)及び段差解消リフト設置(2台) ⑧車イス用駐車場整備(駐車場の区画整備) ⑨既設スロープ出隅部面取り ⑩園路出入口段差解消(スロープに改修)及び園路(砂利道)を透水性真砂土に改修
平成14年4月25日	音声誘導設置及びパトランプ設置完成。
平成14年10月13日～27日	第17回国民文化祭・とっとり2002「美術展(日本画・洋画)」開催。
平成14年11月2日	開館30周年記念事業実施。
平成15年3月16日	高円宮妃殿下が故高円宮さま「素顔の一瞬」(仁風閣)鳥取展の際御来館、御視察。
平成15年4月1日	谷口博繁 国民文化祭推進局長が館長に就任。
平成16年4月1日	管理課を総務課に改称。
平成17年4月1日	本庁化となる。併せて、学芸課、美術振興課の係を廃し、担当制となる。
平成18年4月1日	三田清人 文化観光局長が館長に就任。
平成18年4月1日	山陰海岸学習館及び遠山正瑛資料室が新たに附置される。
平成19年7月	久松山、建物及びお堀をイメージしたロゴ・マークを作成。
平成21年4月1日	森谷邦彦 県立県民文化会館館長が館長に就任。
平成21年4月1日	開館時間延長を始める。
平成21年10月	山陰海岸学習館リニューアル整備の着工。
平成22年4月1日	運転監視及び設備保全業務の外部委託開始に伴い、設備係を2名削減する。
平成22年4月24日	山陰海岸学習館リニューアルオープン。
平成22年9月12日	ロシアアルセイニエフ名称沿海地方博物館と「友好交流及び協力に関する協定」を締結。
平成22年12月10日	韓国江原道国立春川博物館と「友好交流及び協力に関する協定」を締結。
平成23年7月	博物館カフェリニューアルオープン。(株式会社グラン・クリエ工房(カフェ・ダール・ミュゼ))
平成23年12月1日	韓国江原道国立春川博物館と「職員相互派遣に関する合意書」を締結。
平成24年3月	山陰海岸学習館屋外トイレ棟増築。 山陰海岸学習館ハートフル駐車場の屋根及び玄関までの通路上屋設置。

平成24年4月1日	山内有明 県立鳥取工業高等学校長が館長に就任。
平成25年1月14日	山陰海岸学習館で3D映像「大地と海の物語」上映開始。
平成25年2月2日	開館40周年記念事業実施。
平成25年10月9日	秋篠宮同妃両殿下が平成25年度全国都市緑化祭の際山陰海岸学習館御来館、御視察。
平成26年1月	山陰海岸学習館屋外倉庫新築。
平成26年3月4日	山陰海岸学習館で3D映像「神秘と生命(いのち)の物語」上映開始。
平成26年3月17日	「山陰海岸学習館の在り方について」の報告書を教育長に提言。
平成26年4月1日	大場尚志 東京本部長が館長に就任。
平成26年6月	山陰海岸学習館E V充電器設置。
平成26年6月27日	鳥取県立博物館現状・課題検討委員会を設置。
平成26年11月1日～2日	秋篠宮妃殿下、佳子内親王殿下が第14回全国障がい者芸術・文化祭とつとり大会の際御来館
平成27年12月	山陰海岸学習館屋上防水他工事完成。
平成27年1月	県立博物館第3展示室改修工事完成。
平成27年2月	県立博物館1階休憩コーナー造作改修工事、1階喫茶室ガラス取替え工事完成。
平成27年3月	鳥取県立博物館劣化診断・改修計画策定業務完了。
平成27年3月26日	「山陰海岸学習館の機能充実に向けた対策基本計画」策定
平成27年4月7日	「鳥取県立博物館現状・課題検討結果報告書」を教育長に提言。
平成27年6月26日	博物館等地方独立行政法人制度研究会を設置。
平成27年7月1日	総務課に「美術館整備推進担当」を設置。
平成27年7月17日	鳥取県美術館整備基本構想検討委員会を設置。
平成28年2月2日	山陰海岸学習館でダイオウイカ標本の展示公開。
平成28年2月17日	鳥取県立美術館整備基本構想における建設候補地について、鳥取県立美術館候補地評価等専門委員による現地調査及び条件適合性の評価を開始。
平成28年3月29日	「山陰海岸学習館の展示更新等の計画」策定。
平成28年4月1日	山陰海岸学習館を生活環境部に移管。山陰海岸ジオパーク海と大地の自然館として、新生岩美町立渚交流館と一体的な運営を開始。
平成28年4月1日	行政財産使用許可期間満了によるカフェ事業者公募により、株式会社グラン・クリュ食工房(カフェ・ダール・ミュゼ)が引き続き選定され、営業開始。
平成28年10月	美術館整備に関する県民意識調査を実施。
平成28年12月	外壁等改修工事完成。
平成29年1月	美術館の建設場所に関する県民意識調査を実施。
平成29年3月3日	県教育委員会において鳥取県立美術館整備基本構想を決定。
平成29年3月	県議会において、建設場所(倉吉市宮ラグビー場)を含む基本構想を基にした基本計画策定及びPFI手法導入可能性調査等の実施経費予算が議決。
平成29年4月1日	田中規靖 県教育委員会次長が館長に就任。
平成29年4月1日	総務課美術館整備推進担当を総務課から切り離し、「美術館整備準備室」を設置。
平成29年8月	鳥取県美術館整備基本計画策定アドバイザー委員会を設置。
平成30年3月	鳥取県立美術館整備基本計画(中間まとめ)を策定。
平成30年7月	県教育委員会において鳥取県立美術館整備基本計画を策定。
平成30年9月14日	鳥取県立博物館開館50周年記念事業検討プロジェクトチーム設置。
平成30年11月20日	鳥取県教育委員会公募型プロポーザル方式受注者選定等審査会(美術館整備運営事業)を設置。
平成31年3月19日	鳥取県立美術館(仮称)整備運営事業実施方針の策定、公表。
令和元年7月4日	鳥取県立美術館の設置等に関する条例の制定。
令和元年7月17日	鳥取県立美術館整備運営事業の特定事業の選定、公表。
令和2年3月	鳥取県立美術館整備運営事業者との事業契約の締結及び指定管理者の指定。

令和2年3月31日	美術館整備準備室を廃止。
令和2年4月1日	(倉吉未来中心内に美術館整備局美術館整備課を新設)
令和3年4月1日	尾崎信一郎 副館長が館長に就任。
令和3年4月1日	行政財産使用許可期間満了によるカフェ事業者公募により、株式会社グラン・クリュ食工房(カフェ・ダール・ミュゼ)が引き続き選定され、営業開始。
令和3年12月26日	文化財保護法第53条の規定に基づく公開承認施設として承認。
令和4年2月	外灯取替工事完成。

2 施設の概要

(1) 鳥取県立博物館

〈規模〉

構造 鉄筋コンクリート造 地下1階、地上2階、一部3階

面積 敷地面積 14,228㎡

建築面積 3,576㎡

延床面積 9,699㎡

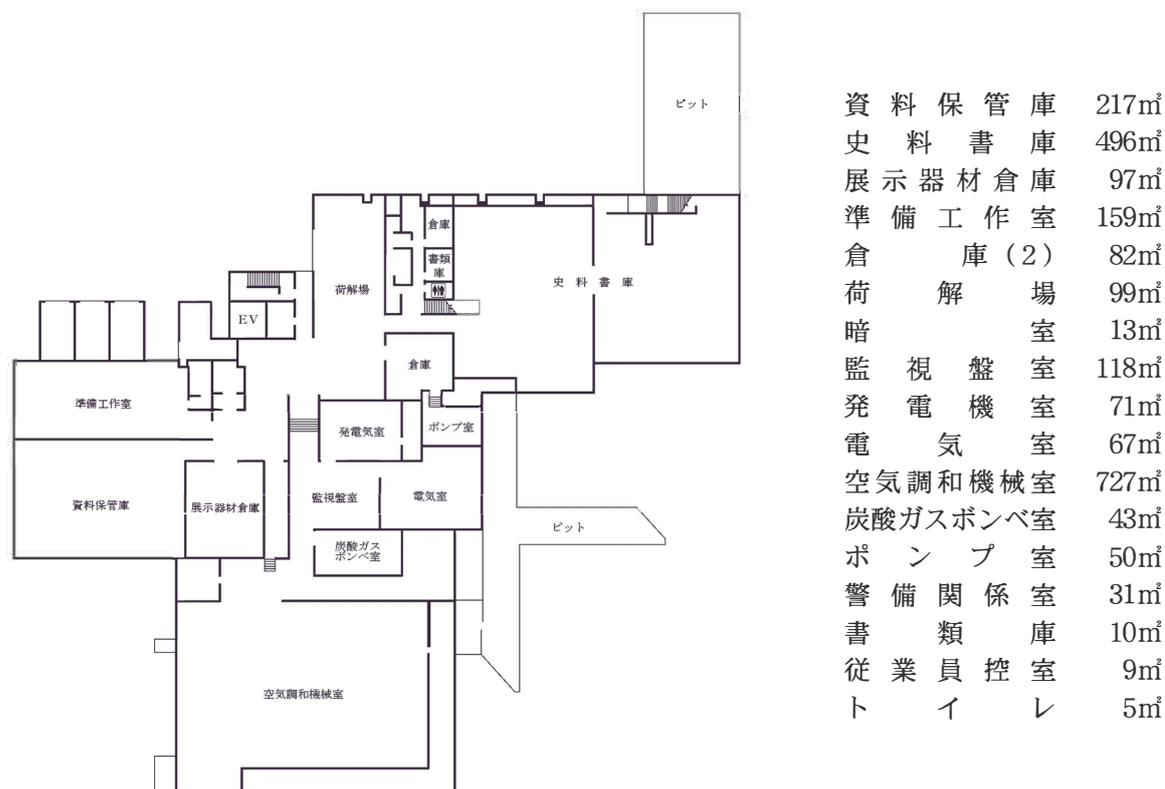
地階 2,668㎡ 1階 3,623㎡ 2階 2,606㎡ 3階 706㎡

屋上階 58㎡ 屋外倉庫(別棟) 38㎡

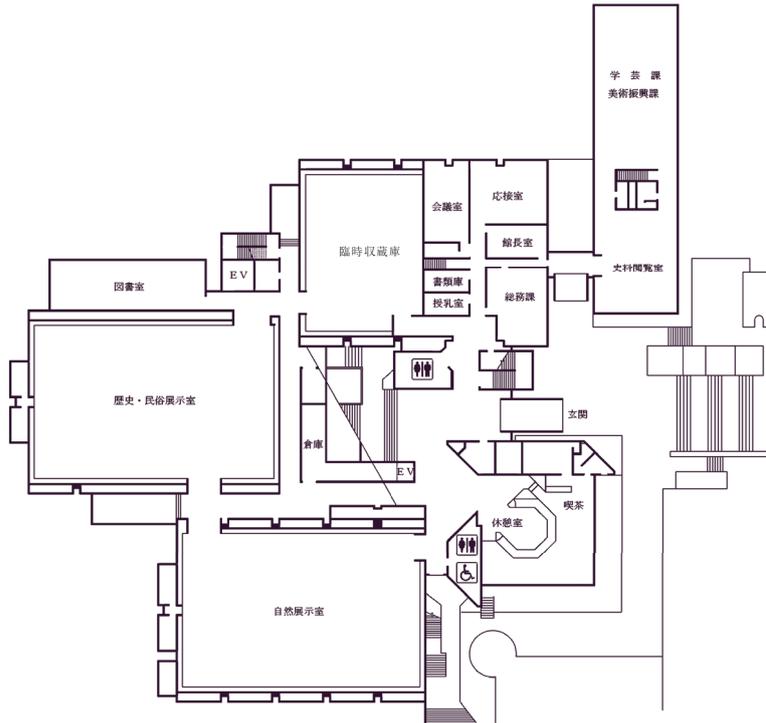
〈主要設備〉

- ① 空気調和設備(温湿度調整)
- ② 収蔵庫、常設・特別展示室、炭酸ガス消火設備 50kgボンベ 112本
- ③ 予備発電設備 6,600V・250KVA
- ④ エレベーター設備 人荷用：定員 59名、積載荷重 3,900kg、1基
乗用：定員 11名、積載荷重 750kg、1基

地階平面図

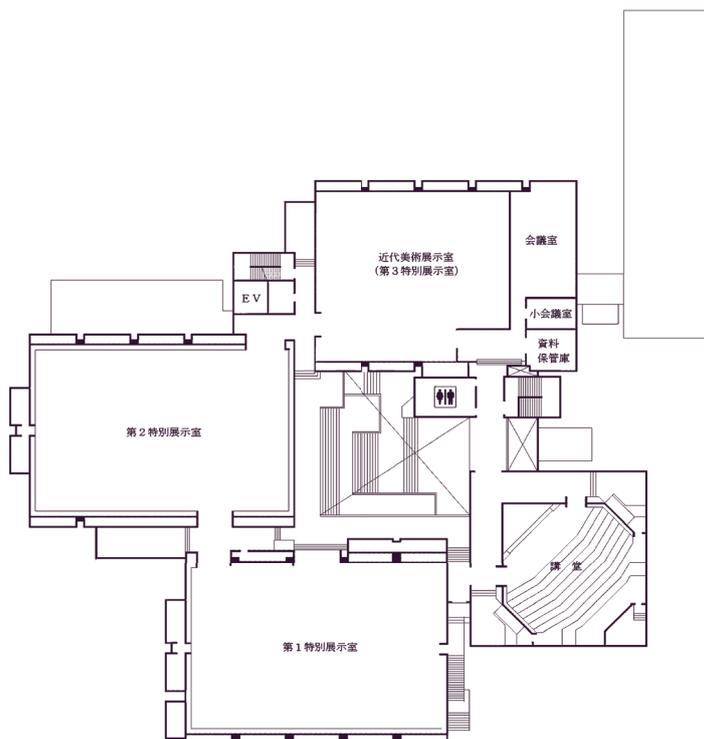


1階平面図



自然展示室	515㎡
歴史・民俗展示室	515㎡
臨時収蔵庫	260㎡
喫茶・休憩室	182㎡
休憩室(2)	66㎡
応接室	60㎡
館長室	26㎡
総務課	68㎡
学芸・美術振興課	170㎡
史料閲覧室	111㎡
図書室	108㎡
会議室	50㎡
書類庫	10㎡
授乳室	14㎡
倉庫(階段下)	110㎡
展示室倉庫(2)	40㎡
トイレ(2)	49㎡

2階平面図



第1特別展示室	515㎡
第2特別展示室	515㎡
近代美術展示室 (第3特別展示室)	374㎡
講堂・映写室	206㎡
会議室・小会議室	107㎡
資料保管庫	22㎡
展示室倉庫(2)	40㎡
休憩室(2)	66㎡
トイレ	30㎡

3階平面図



収 蔵 庫 258㎡

資 料 保 管 庫 172㎡

予 備 資 料 室 60㎡

3 昭和47年度～令和3年度利用統計

年度	区分	常設展			特別展			別展			普及活動		研究相談	小計	許可利用		合計
		小・中学生	高校生	一般	計	展覧会名	開館日数	小・中学生	高校生	一般	計	館内			館外	展示室	
昭和47年度 (148日)	個人	16,804	4,231	44,662	65,697	開館記念	22										
	団体	23,831	4,714	6,947	35,492	郷土美術名作展 (10.1～10.22)	22	(28,563)	(6,437)	(28,213)	1,686	83	32,954	1,431	34,385		
	計	40,635	8,945	51,609	101,189					(63,213)							
昭和48年度 (306日)	個人	10,083	2,109	23,891	36,083	第4回 日展 (4.7～4.29)	23	9,072	6,148	15,126	30,346						
	団体	14,289	214	5,137	19,640	日本伝統工芸秀作展 (5.8～5.21)	14	964	309	3,953	5,226						
	計	24,372	2,323	29,028	55,723	郷土の美術展 } 世界の蝶展 } (9.30～10.21) 計	22	5,792	1,464	4,751	12,007	1,700	608	58,311	4,009	62,320	169,181
昭和49年度 (307日)	個人	8,858	1,539	21,225	31,622	前田寛治とその仲間展 (4.28～5.19)	22	2,804	1,631	3,666	8,101						
	団体	12,967	582	5,283	18,832	人類の進化と旧石器展 (7.28～8.26)	30	4,341	831	5,018	10,190						
	計	21,825	2,121	26,508	50,454	日本近世の美術工芸展 (10.13～11.4) 計	23	3,360	1,732	5,747	10,839	2,855	621	56,738	3,603	60,341	144,650
昭和50年度 (310日)	個人	8,594	1,430	22,815	32,839	郷土名刀展 (5.11～6.1)	22	745	255	3,092	4,092						
	団体	11,246	1,287	5,362	17,895	鳥取の明治風俗展 (8.2～8.31)	30	2,783	407	4,951	8,141						
	計	19,840	2,717	28,177	50,734	鉄斎展 (10.18～11.9) 計	23	2,902	1,171	5,774	9,847	2,975	755	23,212	2,904	26,116	103,643
昭和51年度 (311日)	個人	7,097	1,088	18,097	26,282	世界の貝展 (4.16～5.30)	45	11,047	1,932	10,369	23,348						
	団体	10,102	274	7,157	17,533	松方コレクション展 (10.9～11.7)	30	15,804	10,202	26,290	52,296	2,231	618	83,822	4,803	88,625	212,031
	計	17,199	1,362	25,254	43,815			26,851	12,134	36,659	75,644						

年度	区分	常設展			特展			別展				普及活動			研究相談		許可利用		合計
		小・中学生	高校生	一般	計	開館日数	展覧会名	小・中学生	高校生	一般	計	館内	館外	展示室	講堂	小計	展示室	講堂	
昭和52年度 (314日)	個人	6,633	1,072	21,001	28,706	21	第8回日展 (4.29～5.19) 文化庁買上	6,219	2,557	13,035	21,811	人	人	人	人	人	人	人	人
	団体	9,983	1,443	5,606	17,032	22	優秀美術作品展 (8.6～8.26)	1,338	339	3,454	5,131	973	984	7,594	5,425	101,701	13,019	114,720	
	計	16,616	2,515	26,607	45,738	30	失われた生物展 (10.8～11.6)	16,233	1,604	7,746	25,583	4,500	52,525	1,481	1,481	82,664	6,600	44,214	126,878
昭和53年度 (312日)	個人	6,885	1,062	22,959	30,906	23	近代日本画名作展 (4.29～5.21)	4,064	1,519	6,585	12,168	人	人	人	人	人	人	人	人
	団体	11,454	1,974	6,629	20,057	29	世界の現代陶芸展 (7.20～8.17)	782	360	2,091	3,233	2,008	1,150	37,614	6,600	82,664	6,600	44,214	126,878
	計	18,339	3,036	29,588	50,963	30	縄文の文化展 (10.7～11.5)	6,793	1,085	3,839	11,717	2,964	27,118	1,425	1,425	94,044	7,918	73,321	167,365
昭和54年度 (312日)	個人	6,676	924	25,049	32,649	23	山陰の仏教美術展 (4.28～5.20)	2,741	671	5,636	9,048	人	人	人	人	人	人	人	人
	団体	10,412	1,331	7,607	19,350	23	科学者レオナルド・ダ・ビンチ展 (8.4～8.26)	4,459	656	5,380	10,495	775	4,624	65,403	7,918	94,044	65,403	7,918	167,365
	計	17,088	2,255	32,656	51,999	15	日本海100万年展 (10.6～11.4)	1,130	455	2,171	3,756	17,074	37,442	1,482	1,482	77,969	4,729	37,086	115,055
昭和55年度 (309日)	個人	7,768	919	22,776	31,463	30	日本の人形文化展 (4.26～5.25)	2,504	442	3,980	6,926	人	人	人	人	人	人	人	人
	団体	10,135	2,927	4,970	18,032	23	第11回日展 (6.14～7.6)	2,390	742	9,170	12,302	850	456	32,357	4,729	77,969	32,357	4,729	115,055
	計	17,903	3,846	27,746	49,495	22	関西洋画の名作展 (10.18～11.9)	2,970	495	3,063	6,528	7,864	25,756	1,412	1,412	77,969	4,729	37,086	115,055
昭和56年度 (309日)	個人	10,674	959	26,525	38,158	23	近世の衣裳美術展 (4.25～5.17)	960	537	3,566	5,063	人	人	人	人	人	人	人	人
	団体	13,210	1,885	5,831	20,926	16	鳥取県1000年展 (9.12～9.27・10.4～ 10.11・10.21～10.28)	(7,393) 20,346	(352) 552	(7,696) 12,049	(15,441) 32,947	800	1,012	30,606	4,000	110,019	30,606	4,000	144,625
	計	23,884	2,844	32,356	59,084	21	日本の美術展 (10.25～11.15)	4,315	961	4,246	9,522	25,621	47,532	1,591	1,591	110,019	30,606	4,000	144,625

年度	区分	常設展			特展			別展			普及活動			研究相談	小計	許可利用			合計
		小・中学生	高校生	一般	計	展覧会名	開催日数	小・中学生	高校生	一般	計	館内	館外			展示室	講義室	計	
昭和57年度 (297日)	個人	7,142	625	20,152	27,919	生きてゐる化石展 (4.28～5.23)	26	10,117	583	7,731	18,431	人	人	人	人	人	人	人	
	団体	7,078	1,058	4,180	12,316	藩政時代の写生画と文人画展 (8.7～8.29)	23	655	70	3,542	4,267	879	551	73,884	5,850	32,610	106,494		
	計	14,220	1,683	24,332	40,235	内外美術名作展 (10.1～10.17)	17	14,177	1,147	15,543	30,867								
昭和58年度 (298日)	個人	4,641	450	15,817	20,908	世界の児童画展 (4.29～5.29)	27	7,120	130	3,106	10,356								
	団体	7,914	1,332	3,783	13,029	地球のふしぎ展 (7.16～8.21)	32	3,966	218	3,921	8,105	559	3,656	63,316	5,980	26,166	89,482		
	計	12,555	1,782	19,600	33,937	辻晋堂展 (9.23～10.23)	27	14,015	763	9,450	24,228								
昭和59年度 (306日)	個人	5,134	578	17,227	22,939	はにわ展 (4.28～5.27)	27	7,519	292	3,266	11,077								
	団体	5,878	646	3,953	10,477	京の染展 (7.7～7.29)	20	231	278	1,592	2,101	848	2,785	59,884	6,435	18,071	77,955		
	計	11,012	1,224	21,180	33,416	近代日本美術の巨匠展 (10.6～11.4)	26	3,997	284	4,319	8,600								
昭和60年度 (301日)	個人	4,957	642	21,486	27,085	神々の美術展 (4.27～5.26)	27	1,412	197	3,206	4,815								
	団体	5,594	853	4,344	10,791	昆虫の世界展 (7.26～8.25)	27	6,238	146	6,083	12,467	935	2,820	60,030	5,240	34,013	94,043		
	計	10,551	1,495	25,830	37,876	計		7,650	343	9,289	17,282								
昭和61年度 (303日)	個人	5,550	621	22,631	28,802	山陰の大名展 (4.26～5.25)	27	4,035	465	7,386	11,886								
	団体	6,166	939	5,332	12,437	日本近代洋画の歩み展 (10.7～11.3)	26	2,961	756	4,724	8,441	1,449	4,501	68,727	6,020	41,399	110,126		
	計	11,716	1,560	27,963	41,239	計		6,996	1,221	12,110	20,327								

年度	区分	常設展			特展			別展			普及活動			研究相談	小計	許可利用		合計
		小・中学生	高校生	一般	計	開館日数	展覧会名	小・中学生	高校生	一般	計	館内	館外			展示室	講堂・会議室	
昭和62年度 (305日)	個人	4,960	562	23,181	28,703	27	狩野派の名宝展 (4.25～5.24)	1,568	611	6,695	8,874	人	人	人	人	人	人	人
	団体	7,335	954	9,091	17,380	26	恐竜と鳥獣の歴史展 (8.1～8.30)	8,306	258	9,813	18,377	1,766	1,064 (761)	21,757 (4,959)	8,936	30,693 (4,959)	30,693 (4,959)	114,205 (5,720)
	計	12,295	1,516	32,272	46,083	18	開港への序曲展 (9.6～9.23)	2,393	142	3,612	6,147							
昭和63年度 (301日)	個人	7,976	750	30,344	39,070	26	近代版画のあけぼの展 (4.23～5.22)	1,579	42	2,166	3,787	人	人	人	人	人	人	人
	団体	5,583	841	8,091	14,515	28	くらしを支える匠の世界展 (10.7～11.6)	3,126	120	3,140	6,386	1,347	6,228 (6,071)	33,827 (1,952)	9,178	43,005 (1,952)	43,005 (1,952)	115,547 (8,023)
	計	13,559	1,591	38,435	53,585		計	4,705	162	5,306	10,173							
平成元年度 (306日)	個人	5,303	702	27,696	33,701	28	山陰の海展 (7.28～8.27)	2,954	155	4,757	7,866	人	人	人	人	人	人	人
	団体	8,720	807	9,123	18,650	27	現代美術の創造者たち展 (10.10～11.9)	2,142	87	2,728	4,957	1,263	14,942 (14,834)	28,743 (1,664)	11,010	39,753 (1,664)	39,753 (1,664)	122,326 (16,498)
	計	14,023	1,509	36,819	52,351		計	5,096	242	7,485	12,823							
平成2年度 (304日)	個人	5,011	700	25,818	31,529	21	濱田台児展 (4.28～5.20)	615	77	3,626	4,318	人	人	人	人	人	人	人
	団体	6,002	677	6,722	13,401	28	車弥呼の時代をさぐる展 (7.27～8.26)	2,886	244	5,743	8,873	1,592	7,462 (7,265)	36,522 (3,100)	9,224	45,746 (3,100)	45,746 (3,100)	122,169 (10,365)
	計	11,013	1,377	32,540	44,930	27	石橋美術館名品展 (10.5～11.4)	2,445	129	5,547	8,121	450	21,312					
平成3年度 (305日)	個人	4,534	702	27,667	32,903	28	マンモスと人類の時代展 (7.26～8.25)	7,495	356	10,470	18,321	人	人	人	人	人	人	人
	団体	6,790	1,106	7,139	15,035	28	谷文晁とその周辺の画家たち展 (10.5～11.4)	1,306	13	3,278	4,597	1,354	6,161 (5,888)	45,397	9,744	55,141	134,800 (5,888)	
	計	11,324	1,808	34,806	47,938		計	8,801	369	13,748	22,918							

年度	区分	常設展			特別展			普及活動			研究相談	小計	許可利用			合計	
		小・中学生	高校生	一般	計	展覧会名	開催日数	小・中学生	高校生	一般			計	館内	館外		展示室
平成4年度 (298日)	個人	4,832	627	27,314	人	まつり・獅子と龍 (7.24～8.23)	28	1,096	90	2,847	4,033	人	人	人	人	人	
	団体	5,757	992	6,020	人	近代の日本画 (10.9～11.8)	28	1,096	35	3,882	5,013	1,238	3,698 (3,550)	45,683	8,910	54,593	
	計	10,589	1,619	33,334	人	計		2,192	125	6,729	9,046						115,277 (3,550)
					人												
平成5年度 (303日)	個人	4,836	679	26,943	人	大海獣 (7.30～8.29)	28	3,858	233	6,625	10,716						
	団体	6,276	628	5,710	人	工芸美術の華 (10.9～11.8)	28	665	12	2,257	2,934	1,101	5,616 (5,415)	43,970	6,905	50,875	
	計	11,112	1,307	32,653	人	計		4,523	245	8,882	13,650						117,338 (5,415)
					人												
平成6年度 (307日)	個人	3,343	477	20,296	人	水木しげると日本の妖怪 (4.23～5.22)	28	3,816	241	8,558	12,615						
	団体	7,193	224	4,701	人	明治維新と鳥取 (10.7～11.6)	28	2,418	43	3,913	6,374	829	2,305 (2,180)	31,633	4,767	36,400	
	計	10,536	701	24,997	人	計		6,234	284	12,471	18,989						95,619 (2,180)
					人												
平成7年度 (305日)	個人	3,010	480	20,626	人	生命40億年のあゆみ (7.28～8.27)	28	4,669	204	6,929	11,802						
	団体	3,607	364	4,582	人	生涯100年記念・里見勝蔵 (10.6～11.5)	28	74	40	1,546	1,660	931	1,626 (1,466)	28,764	4,425	33,189	
	計	6,617	844	25,208	人	計		4,743	244	8,475	13,462						83,257 (1,466)
					人												
平成8年度 (311日)	個人	3,646	431	20,677	人	大國主と大黒天 (4.26～5.26)	28	305	31	3,210	3,546						
	団体	4,532	792	2,541	人	中西国の画家たち展 (6.8～6.30)	20	54	94	1,967	2,115	1,393 (1,115)	7,774 (7,607)	25,915	3,694	29,609	
	計	8,178	1,223	23,218	人	大唐王朝の華 (7.14～8.18)	33	359	63	4,043	4,465						86,329 (1,115)
					人	前田寛治 (9.29～11.4)	32	342	34	3,692	4,068						7,607
				人	計		1,060	222	12,912	14,194							

年度	区分	常設展			県展	特 別			展 覧			普及活動		研究 相談	小 計	許 可 利 用		合 計
		小・中学生 個人	中学生 団体	高校生 計		一般	計	展覧 日数	小・中学生	高校生	一般	計	館内			館外	展示室 人	
平成9年度 (318日)	個人			人		31	1,686	97	3,052	4,835			人	人	人	人	人	人
	2,889	430	19,934	23,253	救おう！日本の野生生物 (7.24～8.24)	26	47	27	4,176	4,250	1,541 (205)	9,109 (8,767)	48,595	3,423	52,018	113,382 (205) (8,767)		
	3,495	219	2,273	5,987	柴石・応挙と土方稲嶺展 (9.28～10.26)	26	449	115	5,547	6,111								
	計	6,384	649	22,207	29,240		2,182	239	12,775	15,196								
平成10年度 (305日)	個人			人		29	733	233	3,260	4,226								
	4,824	499	19,948	25,271	天 狗 と 山 伏 (10.3～11.3)	27	164	148	3,171	3,483	1,385 (149)	4,918 (4,717)	36,098	3,445	39,543	93,800 (149) (4,717)		
	3,663	1,416	2,962	8,041	戦 後 日 本 画 の 歩 み (11.14～12.13)		897	381	6,431	7,709								
	計	8,487	1,915	22,910	33,312													
平成11年度 (308日)	個人			人		30	4,673	132	8,324	13,129								
	2,829	301	17,234	20,364	かむ・さす・かぶれる (7.23～8.22)	28	25	12	2,157	2,194	1,337 (278)	15,007 (14,762)	42,667	4,110	46,777	111,965 (278) (14,762)		
	3,370	703	2,827	6,900	民芸運動と岡村吉右衛門 (10.1～10.31)		4,698	144	10,481	15,323								
	計	6,199	1,004	20,061	27,264													
平成12年度 (312日)	個人			人		29	1,351	140	4,690	6,181								
	2,971	313	15,778	19,062	む き ば ん だ (7.25～8.23)	27	71	140	2,889	3,100	2,878 (198)	13,039 (12,838)	29,526	3,471	32,997	90,942 (198) (12,838)		
	3,136	958	3,540	7,634	現 代 中 国 の 美 術 (11.3～12.3)		1,422	280	7,579	9,281								
	計	6,107	1,271	19,318	26,696													
平成13年度 (312日)	個人			人		28	1,642	51	3,342	5,035								
	4,322	704	27,622	32,648	トリピー森の大冒険 (7.25～8.22)	29	382	101	3,101	3,584	2,073 (180)	11,773 (11,566)	49,917	3,321	53,238	120,869 (180) (11,566)		
	2,976	651	3,411	7,038	現 代 美 術 へ の 招 待 (10.2～11.2)		2,024	152	6,443	8,619								
	計	7,298	1,355	31,033	39,686													

区分 年度	常設展				特展				別展				普及活動				研究相談		許可利用		合計
	幼児	小中学生	高校生	学生	一般	計	幼児	小中学生	高校生	学生	一般	計	館内	館外	人	人	展示室	講堂 会議室	人	人	
平成26年度 (331日)	個人	2,344	3,988	592	1,239	19,169	60	325	295	217	3,147	4,044									
	団体	176	2,524	523	28	1,327	169	230	95	59	2,353	2,906									
	計	2,520	6,512	1,115	1,267	20,496	1,468	3,198	265	633	6,162	11,726	2,263	8,537	485	66,504	14,193	1,541	15,734	82,238	
													[481]			[481]					[481]
平成27年度 (336日)	個人	5,486	8,541	889	1,095	32,320	92	432	584	157	5,439	6,704									
	団体	156	1,799	564	57	1,288	6,198	8,978	525	550	14,253	30,504									
	計	5,642	10,340	1,453	1,152	33,608	29	412	52	135	3,556	4,184	2,727	6,972	437	109,839	24,809	2,497	27,306	137,145	
													[757]			[757]					[757]
平成28年度 (331日)	個人	2,208	4,431	504	714	19,406	54	168	67	265	2,932	3,486									
	団体	173	1,987	281	218	1,660	1,602	4,259	172	-	7,327	13,360									
	計	2,381	6,418	785	932	21,066	87	747	407	192	2,889	4,322	2,157	7,653	552	66,311	22,433	998	23,431	89,742	
													[443]			[443]					[443]
平成29年度 (330日)	個人	3,044	4,294	751	932	20,628	78	208	59	173	5,519	6,037									
	団体	236	1,778	294	38	1,769	2,276	3,493	233	392	6,124	12,518									
	計	3,280	6,072	1,045	970	22,397	63	598	29	-	3,315	4,005	3,092	5,897	597	74,564	22,736	1,740	24,476	99,040	
													[627]			[627]					[627]

区分 年度	常設展				特別展				普及活動				許可利用		合計							
	幼児		小学生		中学生		高校生		一般		計		館内	館外		研究 相談	小計	展示室	講堂 会議室	計		
	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体									個人	団体
平成30年度 (328日)	1,927	206	3,376	501	658	15,447	21,909	37	80	53	239	2,423	2,593	2,593	5,358	436	56,670	36,253	2,711	38,964	95,634	[799]
	2,133	213	5,033	636	690	17,358	25,850	34	826	154	88	130	1,194	1,676	2,717	436	56,670	36,253	2,711	38,964	95,634	[799]
令和元年年度 (329日)	1,822	330	3,646	419	745	20,096	26,728	237	474	504	153	303	5,105	8,841	2,927	351	65,068	12,811	2,607	15,418	80,486	[546]
	2,152	215	5,241	475	790	22,579	31,237	39	427	27	31	59	2,051	2,498	7,280	351	65,068	12,811	2,607	15,418	80,486	[546]
令和2年度 (305日)	2,299	168	4,227	527	950	21,114	29,117	145	349	86	275	5	6,845	10,455	2,790	215	77,286	13,544	500	14,044	91,330	[261]
	2,467	246	5,618	701	981	22,870	32,637	48	246	235	315	-	1,459	1,988	2,790	215	77,286	13,544	500	14,044	91,330	[261]
令和3年度 (321日)	3,055	189	4,627	626	818	16,167	25,293	47	270	92	422	33	1,536	1,978	1,790	155	61,452	29,978	1,512	31,490	92,942	[273]
	3,244	324	6,525	1,008	820	17,982	29,579	2165	3,438	422	209	-	7,376	13,401	1,790	155	61,452	29,978	1,512	31,490	92,942	[273]

- (1) 普及活動・館内欄の〔 〕は、常設展・企画展におけるギャラリートーク参加者数(内数)であり、同欄においては外数、館外欄の()は巡回展入場者数で内数
- (2) 許可利用・展示室欄の()は共催展入場者数で内数
- (3) 平成19年度から「特別展」を「企画展」に名称変更
- (4) 令和2年度企画展「こんにちには変形菌!」の学生5名は学校団体による入場者数であり、その他の学生は一般へ計上
- (5) 平成28年度から令和2年度までの企画展に係る、高校生・学生の「-」は一般へ計上
- (6) 令和3年度企画展「クジラとイルカの世界」「とつとりの乱世」「東郷青児と前田寛治」「小早川秋聲」に係る、学生の「-」は一般へ計上

4 昭和47年度～平成18年度催物展（企画展）開催状況

年度	展覧会名	期 間	会 場	摘 要
S47	鳥取県の民俗年中行事写真展	S48. 3. 3～S48. 3.25	第2展示室	
48	博物館美術資料館蔵品展	S48. 7.31～S48. 8.19	第3展示室	
49	日 本 の 野 鳥 展	S49. 5.21～S49. 6. 9	〃	
	大 工 道 具 展	S50. 3.15～S50. 3.30	〃	
50	日 本 の 野 鳥 展	S50. 4.26～S50. 5. 9	〃	
	美 術 収 蔵 品 展	S50. 6.17～S50. 7.13	〃	
	空から見た郷土写真展	S50. 9.13～S50. 9.24	第2展示室	
	島 田 元 旦 展	S51. 2.24～S51. 3.21	第3展示室	
	因 伯 の 古 絵 図 展	S51. 3.27～S51. 4.11	〃	
51	郷土に伝わる仏画展	S51. 6.22～S51. 7.11	〃	
	博物館資料館蔵品展	S51. 7.27～S51. 8.18	〃	
	発掘展因伯の古代を掘る	S51. 8.24～S51. 9.12	〃	
	失われた漁具展	S51.11.14～S51.11.28	〃	
	公募科学写真展	S52. 3.13～S52. 3.27	第2展示室	
52	日本列島の野鳥展	S52. 5.28～S52. 6.19	第3展示室	
	冬の民具展	S52.11.12～S52.11.27	〃	
53	山陰海岸の生物展	S53. 5.27～S53. 6.18	〃	
	美術資料館蔵品展	S53. 6.22～S53. 7. 9	第1展示室 第3展示室	
	秋のキノコ展	S53.11.11～S53.12. 3	第3展示室	
	民俗行事写真展	S54. 3.10～S54. 3.25	〃	
54	発掘資料展 一秋里遺跡を掘る一	S54. 6. 1～S54. 6.15	〃	
	古文書展と古地図展	S54. 6.23～S54. 7. 8	〃	
	石谷美術コレクション展	S55. 1. 8～S55. 1.27	第1展示室 第2展示室 第3展示室	
	空からみた郷土写真展	S55. 3. 1～S55. 3.16	第2展示室	
	アインシュタイン 生誕100年記念写真展	S55. 3. 1～S55. 3.16	第3展示室	京都ドイツ文化センター共 催、鳥取大学協賛
55	古文書展～因・伯の木綿～	S55. 7.13～S55. 7.20	〃	
	自然資料展	S55. 8. 2～S55. 8.31	〃	
	旧鳥取駅資料展	S56. 3. 7～S56. 3.22	〃	
56	シカゴ・ランドフォールプレス版画展 ～現代アメリカの版画～	S56. 6.16～S56. 6.28	〃	
57	自然資料展	S57. 7.17～S57. 7.31	〃	
	館蔵美術資料展	S57.11. 3～S57.11.23	第1展示室	
	鳥 取 城	S58. 3.20～S58. 4. 3	第3展示室	
58	前 田 寛 治 ～油彩と素描～	S58. 4. 9～S58. 6.26	〃	
	堀 家 資 料 ～儒家堀家をめぐる人々～	S58.11. 1～S58.11.20	〃	
59	生 駒 標 本 展	S59. 8. 7～S59. 8.30	〃	
	空から見た郷土写真展	S60. 3. 1～S60. 3.17	第2展示室	
60	近世のやきものとぬりもの展	S60. 6.18～S60. 6.30	第1展示室	
	中 島 菜 刀 展	S60. 9. 3～S60. 9.16	第1展示室 第3展示室	

年度	展覧会名	期 間	会 場	摘要
61	自 然 資 料 展	S61. 8. 1 ~ S61. 8.28	第2展示室	
62	因 伯 の 古 地 図 展	S62. 3.28 ~ S62. 4.19	第1展示室	
	考 古 資 料 展 ～発掘された古代の情報～	S62.10.21 ~ S62.11.15	第3展示室	
	尾 崎 悌 之 助 遺 作 展	S62.10.31 ~ S62.11.11	第1展示室 第2展示室	
63	自 然 標 本 展 ～夏休みに学ぶ自然のいろいろ～	S63. 7.27 ~ S63. 8.21	第2展示室	
	君 野 コ レ ク シ ョ ン 展	S63. 8. 7 ~ S63. 8.21	第1展示室 第3展示室	
	第31回日本伝統工芸中国支部展	S63. 9.18 ~ S63. 9.25	第3展示室	日本工芸会中国支部ほか 共催
	絵 馬 と 信 仰 ～鳥取県の絵馬～	S63.11.15 ~ S63.12. 4	〃	
H1	橋 本 興 家 版 画 展	H 1. 3.11 ~ H 1. 4.16	第1展示室 第3展示室	
	オ ラ ン ダ 現 代 美 術 展	H 1. 4.23 ~ H 1. 5. 7	第2展示室	オランダ・トットリ現代 美術交流展実行委員会ほ か共催
	因・伯と但馬の襖絵	H 1. 7. 8 ~ H 1. 7.30	第3展示室	
	空から見た郷土のすがた展	H 1.11.16 ~ H 1.12.13	第2展示室	
2	第33回日本伝統工芸中国支部展	H 2. 9.22 ~ H 2. 9.30	第3展示室	日本工芸会中国支部ほか 共催
	川と池の自然のくらし	H 2.11.23 ~ H 2.12.16	第2展示室	
3	山地の自然のくらし	H 3.12. 4 ~ H 4. 1.19	〃	
4	身近な鳥・珍しい鳥	H 4. 5. 2 ~ H 4. 5.17	第1展示室	
	池 田 光 伸 展	H 4. 7. 1 ~ H 4. 7.12	第3展示室	
	第35回日本伝統工芸中国支部展	H 4. 7. 2 ~ H 4. 7. 8	第1展示室	日本工芸会中国支部ほか 共催
	海岸地域の自然とくらし	H 4.11.19 ~ H 4.12.13	第3展示室	
	安富コレクション展Ⅰ ～江戸時代の絵画～	H 5. 2.13 ~ H 5. 3. 7	〃	
5	夭折の画家・前田寛治と 異色の彫刻家・辻晋堂	H 5. 4.25 ~ H 5. 5.30	第1展示室 第2展示室	
	画家 伊谷賢蔵と尾崎悌之助	H 5.12.16 ~ H 6. 1.23	第1展示室	
	安富コレクション展Ⅱ ～考古資料・工芸資料の美～	H 6. 2.15 ~ H 6. 3.13	〃	
6	空から見た郷土のすがた	H 6. 6.14 ~ H 6. 7. 3	第2展示室	
	鳥 たち の 世 界	H 6. 7.22 ~ H 6. 8.21	第1展示室	
	山本兼文遺作展 ～描き・彫り・刻み続けた半世紀～	H 6. 8. 2 ~ H 6. 8.15	第2展示室 第3展示室	
	安富コレクション展Ⅲ ～書と人物～	H 7. 2.14 ~ H 7. 3.12	第1展示室	
7	～信仰の造形～郷土に伝わる仏画展～	H 7. 4.22 ~ H 7. 5.21	第3展示室	
	因 伯 の 古 地 図	H 7. 4.28 ~ H 7. 5.21	第1展示室	
	戦後50年・戦争と美術	H 7. 7.20 ~ H 7. 8.20	第3展示室	
	安富コレクション総合展	H 8. 2.10 ~ H 8. 3.10	第1展示室	
8	山陰海岸とカニ ～カニと一緒に記念写真～	H 8. 7.19 ~ H 8. 8.25	第3展示室	

年度	展覧会名	期 間	会 場	摘 要
9	鳥取東照宮の宝物	H 9. 3.27～H 9. 4.20	第1展示室	
	絵図と郷土でみる鳥取城	H10. 2.13～H10. 3.15	〃	
10	岡村吉右衛門コレクション展 — アジアの染織 —	H10. 4.18～H10. 5.17	〃	
	ロストワールド 太古の生きもの	H10. 7. 2～H10. 8. 1	〃	
11	空から見た郷土のすがた	H11. 4.16～H11. 5.16	第2展示室	
	鳥取県民の明治・大正・昭和	H11.11.12～H11.12.23	第1展示室	
	河北省の文物と人々の暮らし	H12. 3.10～H12. 4.16	〃	
12	河北省の文物と人々の暮らし	H12. 3.10～H12. 4.16	〃	
	ふしぎ大陸 南極展	H12. 4.21～H12. 5.21	第2展示室	
	城下町鳥取の絵図	H12. 9. 9～H12.10.26	第3展示室	
13	絵はがきで綴る鳥取	H13. 4.27～H13. 5.27	第2展示室	入場者数 15,089 名
	ピカソ銅版画展	H13.11.16～H13.12. 9	〃	
14	すばる望遠鏡 — 宇宙を探る新しい眼 —	H14. 4.20～H14. 5.19	第3展示室	入場者数 4,270 名
	数学と遊ぼう — 形の数のワンダーランド —	H14.12.12～H15. 1.19	第2展示室	入場者数 4,754 名
	高知県立美術館ベストセレクション シャガール版画展～愛の賛歌～	H15. 3.15～H15. 4.13	第1展示室 第2展示室	入場者数 5,409 名
15	因伯の古代寺院	H15. 4.26～H15. 5.25	第1展示室	入場者数 4,532 名
	現代の表現 鳥取 vol.1 4Rooms — 4つの同時代的感性 —	H15.12.17～H16. 1.11	第2展示室	入場者数 1,173 名
	富山県立近代美術館 所蔵ルオー版画展	H16. 2.28～H16. 3.28	第1展示室 第2展示室	入場者数 3,018 名
16	発見しよう! 自然のふしぎ	H16. 7.17～H16. 8.25	第1展示室	入場者数 5,794 名
	空から見た郷土のすがた	H16. 7.17～H16. 8.25	第2展示室	〃
	現代の表現 鳥取 vol.2 平久弥・池本喜巳	H16.11.21～H16.12.19	〃	入場者数 3,967 名
	郷土作家展 版画の誌 長谷川富三郎	H16.12.23～H17. 1.23	〃	入場者数 2,513 名
	共同企画展 三重奏 鳥取県立博物館・倉吉博物館・ 米子市美術館のコレクションで つくる展覧会	H17. 2. 5～H17. 2.27	第1展示室	入場者数 1,364 名
	丸沼芸術の森所蔵 アンドリュウ・ワイエス水彩素描展	H17. 3.12～H17. 4.17	第1展示室 第2展示室	入場者数 8,216 名
17	鳥取の山岳信仰	H17.10. 7～H17.11. 6	第1展示室	入場者数 5,432 名
	現代の表現 鳥取 vol.3 嶋田悦子・福井貞子	H17.10. 8～H17.11. 6	第2展示室	入場者数 5,379 名
	郷土作家展 異景 — 八橋誠滋／渡里彰造の世界 —	H18. 2. 7～H18. 2.26	第1展示室	入場者数 915 名
18	遠い海	H18. 7.15～H18. 8.27	〃	入場者数 20,378 名
	郷土作家展 海と空と 角護・石谷孝二	H19. 3. 3～H19. 3.18	第2展示室	入場者数 1,072 名

※1 平成15年度から「企画展」に名称変更

※2 平成19年度から従前の「企画展」を廃止

5 条例・規則

○鳥取県立博物館の設置及び管理に関する条例（昭和47年7月7日鳥取県条例第29号）

（目的）

第1条 この条例は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第1項及び博物館法（昭和26年法律第285号）第18条の規定に基づき、鳥取県立博物館の設置及びその管理に関する事項について定めることを目的とする。

（設置）

第2条 県民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため、鳥取県立博物館（以下「博物館」という。）を鳥取市に設置する。

（開館時間）

第3条 博物館の開館時間は、午前9時から午後5時まで（教育委員会があらかじめ指定する日においては、午前9時から午後7時まで）とする。

2 教育委員会は、前項の規定により指定した日を掲示その他適当な方法により公表しなければならない。

3 教育委員会は、特に必要があると認めるときは、臨時に第1項の開館時間を変更することができる。

4 教育委員会は、前項の規定により開館時間を変更するときは、あらかじめその旨を掲示しなければならない。

（休館日）

第4条 博物館の休館日は、次のとおりとする。

（1）月曜日（その日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下「休日」という。）である場合は、その翌日（その日が休日でない場合に限る。））

（2）休日の翌日（その日が日曜日、土曜日又は休日でない場合に限る。）

（3）12月29日から翌年の1月3日までの日

2 教育委員会は、特に必要があると認めるときは、前項の規定にかかわらず、臨時に休館し、又は休館日に開館することができる。

3 教育委員会は、前項の規定により臨時に休館し、又は休館日に開館するときは、あらかじめその旨を掲示しなければならない。

（利用の許可）

第5条 博物館を利用しようとする者は、教育委員会規則で定めるところにより、教育委員会の許可を受けなければならない。

2 教育委員会は、その利用（展示室、講堂又は会議室に係るものに限る。）が次の各号のいずれかに該当する場合は、前項の許可をしないことができる。

（1）公の秩序を乱し、又は善良の風俗を害するおそれがあると認められるとき。

（2）博物館の施設又は博物館資料を毀損し、若しくは汚損し、又はそのおそれがあると認められるとき。

（3）暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団の利益になると認められるとき。

（行為の制限等）

第6条 博物館においては、次の行為をしてはならない。

（1）博物館の施設又は博物館資料を毀損し、若しくは汚損し、又はそのおそれのある行為をすること。

（2）許可を受けずに博物館資料を模写し、又は撮影すること。

（3）所定の場所以外の場所において喫煙し、又は飲食をすること。

- (4) 許可を受けないで物品を販売すること。
 - (5) 他人に迷惑を及ぼし、又はそのおそれのある行為をすること。
 - (6) 前各号に掲げるもののほか、教育委員会が定める行為
- 2 教育委員会は、前項の規定に違反し、又はそのおそれのある者に対しては、博物館への入館を拒み、又は博物館からの退去を命ずることができる。

(措置命令)

第7条 教育委員会は、博物館の適正な管理を図るため必要があると認めるときは、博物館の利用の許可を受けた者(以下「利用者」という。)その他の博物館を使用する者に対し、必要な措置を命ずることができる。

(許可の取消し)

第8条 教育委員会は、利用者が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、第5条第1項又は第6条第1項第2号若しくは第4号の許可を取り消すことができる。

- (1) この条例若しくはこの条例に基づく教育委員会規則又はこれらの規定に基づく処分に違反したとき。
- (2) 前条の命令に従わないとき。
- (3) 許可の条件に違反したとき。
- (4) 詐欺その他不正の行為により許可を受けたとき。
- (5) 前各号に掲げるもののほか、博物館の管理上支障がある行為をし、又はそのおそれのあるとき。

(使用料の徴収)

第9条 博物館の利用については、別表に定めるところにより、使用料を徴収する。

(使用料の減免)

第10条 知事は、特別の理由があるときは、規則で定めるところにより、使用料を減免することができる。

(教育委員会規則への委任)

第11条 この条例に定めるもののほか、博物館の管理に関する事項は、教育委員会規則で定める。

(以下附則省略)

別表(第9条関係)

1 通常展示の入館料

区 分	金 額
個人(一般人に限る。)	1人1回につき 180円
団体(一般人の団体であって20人以上のものに限る。)	1人1回につき 150円

2 特別展示(博物館が主催して行う特別の企画による展示をいう。)の入館料

展示に要する経費を勘案して教育委員会が別に定める額

3 展示室等使用料

区 分	金 額
第1展示室	1日につき 13,300円 半日につき 6,650円
第2展示室	1日につき 13,300円 半日につき 6,650円
第3展示室	1日につき 10,380円 半日につき 5,190円
講 堂	1日につき 5,320円 半日につき 2,660円
会 議 室	1時間につき 270円

備考

- 1 この表中「1日」とは午前9時から午後5時までをいい、「半日」とは午前9時から午後1時まで又は午後1時から午後5時までをいう。
- 2 午後5時を超えて展示室又は講堂を利用するときは、この表に定める使用料の額に、1時間につき次の表の左欄に掲げる区分に応じてそれぞれ同表の右欄に掲げる額の使用料を加算する。この場合において、利用時間が1時間未満であるとき、又は利用時間に1時間未満の端数があるときは、1時間として計算するものとする。

区 分	金 額
第1展示室	1時間につき 1,660円
第2展示室	1時間につき 1,660円
第3展示室	1時間につき 1,300円
講 堂	1時間につき 660円

- 3 暖房又は冷房をしたときは、この表に定める使用料（備考2により加算した使用料を含む。）の額に当該額の2割に相当する額を加算する。

○鳥取県立博物館協議会に関する条例（昭和33年4月1日鳥取県条例第16号）

（設置）

第1条 博物館法（昭和26年法律第285号）第22条の規定に基き、鳥取県立博物館に鳥取県立博物館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

（定数）

第2条 協議会の委員（以下「委員」という。）の定数は、15人以内とする。

（任命の基準）

第3条 委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から任命する。

（任期）

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（雑則）

第5条 この条例に定めるもののほか、協議会に関し必要な事項は、協議会が定める。

（以下附則省略）

○鳥取県立博物館の管理運営に関する規則（昭和47年9月29日鳥取県教育委員会規則第7号）

（趣旨）

第1条 この規則は、鳥取県立博物館の設置及び管理に関する条例（昭和47年鳥取県条例第29号。以下「条例」という。）第2条の規定により設置された鳥取県立博物館（以下「博物館」という。）の管理運営に関し必要な事項を定めるものとする。

（内部組織及び分掌事務）

第2条 博物館に、総務課、美術館整備準備室、学芸課及び美術振興課を置く。

2 各課の分掌事務は、次のとおりとする。

総務課

- （1）博物館の施設の管理に関すること。
- （2）博物館協議会に関すること。

- (3) 庶務に関すること。
- (4) その他他課の所掌に属しないこと。

美術館整備準備室

県立美術館の整備に関すること。

学芸課

- (1) 博物館資料（美術関係の資料を除く。次号及び第3号において同じ。）の収集、保管及び展示に関すること。
- (2) 博物館資料の利用の指導、助言及び普及に関すること。
- (3) 博物館資料の調査研究に関すること。
- (4) その他博物館の事業に関すること（美術振興課の所掌に属するものを除く。）。

美術振興課

- (1) 県立美術館の整備に係る調査に関すること。
- (2) 美術関係の資料の収集、保管及び展示に関すること。
- (3) 美術関係の資料の利用の指導、助言及び普及に関すること。
- (4) 美術関係の資料の調査研究に関すること。
- (5) その他美術関係の博物館の事業に関すること。

(職制)

第3条 博物館に館長を、課に課長を、室に室長を置く。

- 2 館長又は課長の職務を補佐し、これらの者に事故があるときにその職務を代行させるため必要があると認めるときは、博物館に副館長を、課に課長補佐を置くことができる。

(職員の種類)

第4条 博物館の職員（臨時的任用職員及び非常勤職員を除く。以下同じ。）の種類は、事務職員及び技術職員とする。

(職員の職)

第5条 博物館の職員の職は、別表のとおりとする。

(職員の分担事務)

第6条 職員の分担事務は、館長が定め、教育長に報告しなければならない。

(利用の申込み等)

第7条 博物館の展示室、講堂及び会議室（以下「展示室等」という。）を利用しようとする者は、様式第1号による利用申込書を教育委員会に提出しなければならない。

- 2 博物館に入館して博物館資料を観覧しようとする者の利用の申込みについては、教育委員会が別に定めるところによる。
- 3 教育委員会は、博物館の利用の許可をしたときは、展示室等を利用する者に対しては様式第2号により通知し、博物館に入館して博物館資料を観覧する者（一般人に限る。）に対しては様式第3号による入館券を交付するものとする。

(許可申請)

第8条 条例第6条第1項第2号の許可を受けようとする者は、様式第4号による許可申請書を教育委員会に提出しなければならない。

- 2 条例第6条第1項第4号の許可を受けようとする者は、様式第5号による許可申請書を教育委員会に提出しなければならない。

(使用料の減免)

第9条 博物館の使用料の減免を受けようとする者は、様式第6号による減免申請書を教育委員会に提出しなければならない。ただし、教育委員会が別に定める場合は、この限りでない。

(委任)

第10条 この規則に定めるもののほか、博物館の管理運営に関し必要な事項は、教育委員会の承認を得て、館長が別に定める。

(以下附則及び様式省略)

別表 (第5条関係)

- 1 事務職員又は技術職員をもって充てる職
館長・副館長・課長・室長・課長補佐・係長
- 2 事務職員をもって充てる職
主事
- 3 技術職員をもって充てる職
主幹学芸員・主任学芸員・学芸員・学芸員補・専門員・機械技師・電気技師・自動車整備士・運転士

○県立学校の授業料等及び社会教育施設の使用料の減免に関する規則 (抄)

(昭和52年3月30日鳥取県規則第15号)

(目的)

第1条 この規則は、鳥取県立学校(以下「県立学校」という。)の授業料(通信制の課程にあつては、受講料。以下同じ。)、入学金及び入学選抜手数料(以下「授業料等」という。)並びに鳥取県立博物館及び鳥取県立青少年社会教育施設(以下「社会教育施設」という。)の使用料の減免に関し必要な事項を定めることを目的とする。

(授業料等及び使用料の減免)

第2条 県立学校の授業料等及び社会教育施設の使用料の減免は、次の表の中欄に掲げる授業料等又は使用料について行うものとし、当該授業料等又は使用料の減免を行うことができる場合は、それぞれ同表の右欄に定める事由に該当する場合とする。

区 分	授業料等又は使用料	減 免 事 由
鳥取県立博物館	通常展示の入館料及び特別展示の入館料	1 幼児、児童、生徒又は学生(以下「学生等」という。)の引率者が教育課程に基づく教育活動として観覧するとき。 2 身体障害者手帳の交付を受けた者、療育手帳の交付を受けた者、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた者、障害福祉サービス受給者証の交付を受けた者その他知事が定める基準に該当する心身に障がい有する者(以下「障がい者」という。)及びその介護者が観覧するとき。 3 難病の患者に対する医療等に関する法律(平成26年法律第50号)第7条第4項の規定による医療受給者証の交付を受けた者(以下「難病患者」という。)及びその介護者が観覧するとき。 4 70歳以上の者が観覧するとき。 5 介護保険法(平成9年法律第123号)の規定による要介護認定又は要支援認定を受けた者(以下「要介護者等」という。)及びその介護者が観覧するとき。 6 その他教育、学術及び文化の振興を図るため知事が特に必要があると認めるとき。
	通常展示の入館料	特別展示その他入場料又はこれに類するものを徴収する展示を観覧する者が当該利用の日に通常展示を観覧するとき。

鳥取県立博物館	展示室等使用料 (冷房若しくは暖房をしたとき、又は照明をしたときに加算すべき部分を除く。)	<ol style="list-style-type: none"> 1 芸術文化団体が芸術又は文化の振興のために行う公演、展示、講演、講習等のための催し(実費を超える額の入場料又はこれに類するものを徴収しないものに限る。)のために利用するとき。 2 社会教育団体が社会教育活動として行う講習会、講演会、展示会その他の集会等(実費を超える額の入場料又はこれに類するものを徴収しないものに限る。)のために利用するとき。 3 障がい者の社会参加を促進すると認められるとき。 4 難病患者の社会参加を促進すると認められるとき。 5 70歳以上の者の社会参加を促進すると認められるとき。 6 要介護者等の社会参加を促進すると認められるとき。 7 その他教育、学術及び文化の振興を図るため知事が特に必要があると認めたととき。
	展示室等使用料	<p>学校教育法(昭和22年法律第26号)第1条に規定する学校、同法第124条に規定する専修学校、同法第55条第1項の規定により指定された技能教育のための施設若しくは児童福祉法(昭和22年法律第164号)第7条第1項に規定する保育所若しくは幼保連携型認定こども園又は教育に関する活動を行う団体であって知事が別に定める基準に該当するもの(以下「学校等」という。)が、学生等が行う公演、学生等の作品の展示等の文化芸術に関する行事(学年(これに相当するものとして知事が別に定めるものを含む。)単位以上の規模で行うこと、実費を超える額の入場料又はこれに類するものを徴収しないことその他の知事が別に定める要件に該当するものに限る。)のために利用するとき。</p>

(減免の申請手続等)

第3条 県立学校の授業料等及び社会教育施設の使用料の減免の申請手続その他必要な事項は、別に定める。

(以下附則省略)

鳥取県立博物館年報

令和3年度 No. 50

令和4年11月 発行

鳥取県立博物館

〒680-0011 鳥取市東町二丁目124

TEL (0857) 26-8042

FAX (0857) 26-8041

印刷 有限会社 蛍光社
